

経費番号	10	事業概要	会費			
使途種別	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費	・05_会議費 ・10_人件費
内容	北日本政経懇話会					
経費明細	総記の内容*	金額(円)*	備 考			
	北日本政経懇話会 会費	27,000	平成29年4月~6月分			
	《合 計》	27,000	/			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 4 月 18 日  
 決裁 平成 29 年 4 月 21 日  
 処理 平成 29 年 4 月 24 日

(参考)

政務活動費対象事業実績報告書

報告日\* 平成29年2月13日

報告者\* 宮本光明

2858		会費	
01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
		04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
北日本政経懇話会			
北日本政経懇話会 会費		27,000	平成29年1月~3月分
《合 計》		27,000	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
29-02-13		*54,000	セイコカ化

收受 平成 29 年 2 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 2 月 27 日  
 処理 平成 29 年 2 月 28 日

# 請求書

平成 29年 1月 17日

富山県議会議員  
宮本 光明 様

北日本政経懇話会  
会長

〒930-0094  
富山市安住町2番4号  
北日本新聞社経営企画部  
TEL076(445)3528  
FAX076(444)9180

平成 29年 上期会費として、下記のご請求額を貴社の指定口座から 平成 29年  
2月 13日(月)に引き落とします。よろしくお願ひ申し上げます。

請求金額 54,000円

摘要	金額
平成29年上期会費(平成29年1月-6月) 9,000円×6カ月	54,000円
合計54,000円	
備考 会費(1カ月9,000円)は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

②⑧ 1~3 27000

②⑨ 4~6 27000

経費種別	//	事業概要	政経文化懇話会会費		
使途等	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	富山新聞政経文化懇話会				
内容	実行の内容	金額(円)	備 考		
内容	富山新聞政経文化懇話会会費	45,000	29.4~12月分		
内容	《合 計》	45,000			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 4 月 18 日  
 決裁 平成 29 年 4 月 21 日  
 処理 平成 29 年 4 月 24 日

(参考)

政務活動費対象事業実績報告書

報告日\* 平成29年1月17日

報告者\* 宮本光明

2696	政経文化懇話会会費
01_調査研究費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
富山新聞政経文化懇話会	
富山新聞政経文化懇話会会費	15,000 29.1~3月分
《合計》	15,000

《領収書貼付枠》 (1)

※内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。

北陸銀行 キャッシュカードサービス  
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の詳細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	課本番号	処理番号	日付										
お振込	001	4921	29-01-17										
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱番号										
			119										
<table border="1"> <tr> <td>万円</td> <td>千円</td> <td>百円</td> <td>十円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>007</td> <td>000</td> <td>000</td> <td>000</td> <td>000</td> </tr> </table>				万円	千円	百円	十円	円	007	000	000	000	000
万円	千円	百円	十円	円									
007	000	000	000	000									
時刻	ご利用手数料 (預金使等を含む)	お取引金額											
14:02	¥486 円	¥60,000 円											
おつり	お取引後残高												
¥9,514 円	円												

お領収書は、通帳へ記入されるまで大切に保管してください。  
お振込の領収書は、お取引完了後、お振込先へ送付いたします。

手数料のうち振込手数料 ¥486  
000034

トヤマシッパフンセイケイフンカコソフカイ 様  
ミヤモト ミツアキ 様  
電話番号 076-458-1235

裏面もあわせてご覧ください。

收受 平成 29 年 2 月 2 日  
決裁 平成 29 年 2 月 6 日  
処理 平成 29 年 2 月 6 日

平成 29 年 1 月 16 日

# 請 求 書

富山県議会議員 宮本 光明 様

富山市大手町 5 番 3 号  
富山新聞政経文化懇話会  
代表者

金 60,000 円

日頃より、富山新聞政経文化懇話会に対し格別のご協力を賜り、厚く御礼申しあげます。  
さて、平成 29 年会費を上記の通りご請求申し上げます。つきましては、平成 29 年 2 月 28 日 (火) までに下記口座に納入いただきますようお願い申し上げます。

口座名義 富山新聞政経文化懇話会

取扱金融機関

■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■  
■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■  
■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■  
■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■  
■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■

※尚、本請求書と行き違いでお支払いの節は、失礼をご容赦下さいますようお願い致します。

(連絡先) 富山新聞政経文化懇話会事務局 電話 076-491-8126

整理番号	42	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	4月分		
上記事業に属した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	北日本新聞	3,072	/
	日本経済新聞	3,670	/
	聖教新聞	1,934	/
	公明新聞	1,887	/
	富山新聞	3,072	/
《合計》*	13,635	/	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2017年4月分 領収証 発証No00003144-201704-1

宮本 光明 様

領 柄	部 数	金 額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

大杉3387  
合計金額  
**¥6,742**  
(消費税込み)



岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

毎度ご購読有難うございます  
上記金額正に領収致しませう  
年 月 日 領収

北日本新聞



收受 平成 29 年 4 月 28 日  
決裁 平成 29 年 5 月 8 日  
処理 平成 29 年 5 月 9 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年4月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価税込	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年4月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価税込	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価税込	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-12809(031)-2

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-32769(031)

領収証

17年 04月分 17年4月26日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

富山センター 八尾販売所

富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



新規購読者の紹介で5千円分のギフトカード進呈。  
『お友達紹介キャンペーン』実施中です。



報告者\* 宮本光明

整理番号	43	事業概要	電話代			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
並記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	電話料	2,569	2分の1の按分 4月分 /			
	《合計》	2,569				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を電話料金等払込受領証に付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行、郵便局でお支払いの場合は、左欄の紙をお出しください。上記以外のお支払いの場合は取り扱いません。

電話料金等払込受領証  
西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2017年 4月ご請求分

金額(円)  
¥5,139-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

領収日附印  
出納  
29.4.18  
八幡  
1-2

収入印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 29 年 4 月 28 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 8 日  
 処理 平成 29 年 5 月 9 日

宮本光明後援会及び宮本光明の事務所経費按分について

下記の事務所経費を後援会活動経費と宮本光明の政務調査活動にかかる経費を最大2分に1に按分し宮本光明後援会へ支払うものとする。

・事務所借上料・電気料金・電話料金・コピー経費・インターネット接続料

後援会事務所 富山市八尾町大杉3387  
電話(076)454-5071番  
FAX(076)454-6919番

宮本光明後援会  
宮本光明

富山市八尾町平沢08/  
宮本光明

報告者\* 宮本光明

整理番号	44	事業概要	ガス代								
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容											
事業費に要した総費	経費の内容	金額(円)	備考								
	ガス代	1,133	2分の1の按分 4月分 /								
	《合計》	1,133									
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)											

收受 平成 29 年 4 月 28 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 8 日  
 処理 平成 29 年 5 月 9 日

# 領 収 書

収 印  
入 紙

宮本光明 殿

金 額				¥	2	2	6	7	円
--------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し ガス代

上記金額正に領収致しました。

平成 29 年 4 月 25 日

分 類	金 額	備 考
現 <input checked="" type="checkbox"/> 金	¥ 2,267	
小 切 手		
手 形		
当 座 振 込		
相 殺		
合 計	¥ 2,267	

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 大 内 石 油

TEL 076(455) 1 1 2 8



整理番号	45	事業概要	事務所賃借料		
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	年間契約に基づく				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	4月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生		
	《合計》	25,000			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 4 月 28 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 8 日  
 処理 平成 29 年 5 月 9 日

大杉

# 領 収 書

富山県富山市八尾町角間20-1  
光明後援会事務所様

¥ 50,000. 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
浄化槽清掃料 4月分 家賃代  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

上記正に領収いたしました

平成29年4月25日



富山県富山市八尾町角間20-1

(有) 八尾衛生

電話 (076) 454-2487番

報告者\* 宮本光明

整理番号	46	事業概要	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に用いた経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電気料	4,782	2分の1の按分
	(合計)	4,782	

《領収書貼付

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社		
平成 年 月 日	金額		円
29 4		9 5 6 4	
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会	消費税等相当額(再掲) 円	708
お支払期日	5月22日	精算額(再掲) 円	

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。  
ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額(円)	消費税等相当額(再掲) (円)
2.11	9564	708
合計	9564	708

北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を納付しました。  
052439  
領収日 印  
17.4.28  
ローソン  
5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
(お客さま控)2485

收受 平成 29 年 4 月 28 日  
決裁 平成 29 年 5 月 8 日  
処理 平成 29 年 5 月 9 日

整理番号	47	事業概要	インターネット接続料		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した総費	経費の内容	金額(円)	備考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 4月27日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	(合計)	3,747			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 4 月 28 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 8 日  
 処理 平成 29 年 5 月 9 日





整理番号	48	事業概要	賃金
経費項目	10_人件費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	4月賃金	42,500	
	《合計》	42,500	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

宮本光明 様

No. \_\_\_\_\_

★ ￥42,500.-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等( %)

但 4月分賃金

29年4月26日 上記正に領収いたしました

収入印紙

收受 平成 29 年 4 月 28 日

決裁 平成 29 年 5 月 8 日

処理 平成 29 年 5 月 9 日

勤 務 実 績 表

平成29年4月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	土			17	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
2	日			18	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
3	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	19	水	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5
4	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6	20	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6
5	水	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5	21	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7
6	木			22	土		
7	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7	23	日		
8	土			24	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
9	日			25	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
10	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	26	水	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5
11	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6	27	木		
12	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	28	金	9 : 00 ~ 15 : 00	5
13	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	29	土		
14	金	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5	30	日		
15	土						
16	日						
		小 計	56			小 計	53
						合 計	109

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

# 雇 用 契 約 書

宮本光明後援会 代表 宮本光明 (以下、「甲」と言う。) と [REDACTED] (以下「乙」と言う。)  
とは以下の条件に基づき雇用契約を締結する。

- (1) : 雇用期間 : 平成 27 年 5 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで 11 ヶ月とする。  
ただし、双方が希望するときは自動的に更新される。
- (2) : 就業場所 : 富山市八尾町大杉 3387 宮本光明後援会事務所
- (3) : 職務内容 : 宮本光明県議会議員の政務調査活動及び宮本光明後援会活動の諸事務。
- (4) : 就業時間 : 午前 9 時から午後 5 時までとし、この間 1 時間の休憩を与える。
- (5) : 休 日 : 原則、土曜日・日曜日及び祝祭日。
- (6) : 賃 金 : (月額) 85,000 円
- (7) : そ の 他 : 本契約に規定されていない事項については甲、乙双方の協議により定める。

平成 27 年 5 月 1 日

甲 所在地 富山市八尾町大杉 3387

氏 名 宮本光明

乙 現住所 [REDACTED]

氏 名 [REDACTED]

経理番号	260	事業概要	新聞代
使用項目	07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容			
記事等に要した経費	記事の内容	金額(円)	備考
	日刊 しんぶん赤旗	3,497	/
	しんぶん赤旗 日曜版	823	/
	日刊紙 郵送料	1,410	/
	《合計》	5,730	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

宮本 光明 様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

日本共産党発行の  
**しんぶん赤旗**  
領収書


5,730 円

2017 年 4 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
TEL.076-441-3001


領収日 / 投者



收受 平成 29 年 5 月 24 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 29 日  
 処理 平成 29 年 5 月 30 日

整理番号	261	事業概要	水道代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務所費 ・ 10_人件費	
内容	水道料	3,834	2分の1の按分
	合計	3,834	

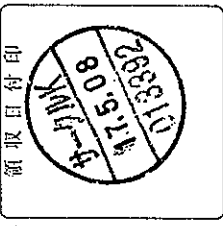
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

  
 平成 29 年度 富山市水道料金等  
 納入通知書 兼 領収書  
 お客様番号 XXXXXXXXXX  
 使用者 宮本光明後援会事務所 様  
 納入者 宮本光明後援会事務所 様  
 発行日 平成 29 年 5 月 1 日  
 納期限 平成 29 年 5 月 15 日  
 給水装置場所 富山市八尾町大杉 3387

使用期間	平成29. 2. 5~平成29. 4. 3
口径	13 mm 用途 営業用
上水道使用水量	30 m <sup>3</sup>
下水道使用水量	30 m <sup>3</sup>
し尿くみ取り日・量	月 日 月 日 月 日

平成29年 4月請求分

水道料	3,348円
内消費税	248円
下水道使用料	4,320円
内消費税	320円
し尿くみ取り手数料	0円
内消費税	0円
合計金額	7,668円
内消費税	568円



富山市上下水道事業管理  
 富山市上下水道局  
 出納・収納取扱金庫管理  
 及びコンビニでは取入印帳不要  
 口座番号 00720-5-960609  
 加入者名 富山市上下水道事業管理署 (お客様さま控)


收受 平成 29 年 5 月 24 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 29 日  
 処理 平成 29 年 5 月 30 日

整理番号	271	事業概要	電話代
見込項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			

経費の内容	金額(円)	備考
電話料	2,640	2分の1の按分・5月分
(合計)	2,640	

《領収書貼付枠》 (原則、領収

書。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

通常払込料金 振替払込請求書兼 受領証(金融機関控) 

加入者負担

口座番号 00170-4-903062

加入者名 NTTファイナンス株式会社

金額 5,280 円

お客様番号 [REDACTED]

2017年 5月ご請求分 5月25日

(住所等非表示払込書)

ご請求先住所氏名 宮本光明後援会 様

金融機関用取締連絡先

TEL 0120-29-05-17  
874-569 杉原郵便局

備考 (32126)  
N94290001

この受領証は、大切に保管してください。(金融機関-CVS店舗保管)

收受 平成 29年 5月 29日  
 決裁 平成 29年 5月 29日  
 処理 平成 29年 5月 30日

整理番号	272	事業概要	インターネット接続料			
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費	・05_会議費 ・10_人件費
内容						
上記に 記載した 品目	仕費の内容	金額(円)	備考			
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 5月29日引落			
	メールアドレス追加	129				
	デジタルスタンダード	1,728				
	インターネットセット割引	-540				
	《合計》	3,747				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 5 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 5 月 29 日  
 処理 平成 29 年 5 月 30 日





342		新聞代
07_資料購入費	01_調査研究費    02_研修費    03_広聴広報費    04_要請陳情等活動費    05_会議費 06_資料作成費    07_資料購入費    08_事務所費    09_事務費    10_人件費	

品名	金額(円)	備考
北日本新聞	3072	5月分 /
日本経済新聞	3670	" /
聖教新聞	1934	" /
公明新聞	1887	" /
読売新聞	3093	4月分 /
富山新聞	3072	5月分 /
しんぶん赤旗	5730	" /
<b>《合 計》</b>	<b>22458</b>	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2017年5月分 領収証 発証No 00003144-201705-1

**宮本 光明 様**


大杉3387

品名	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

**¥6,742**  
(消費税込み)

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正しく領収致しました

**岡本新聞店**  
八尾町福島4-162  
454-3391

 **北日本新聞**

領収印

收受 平成 29 年 6 月 1 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 6 日  
 処理 平成 29 年 6 月 6 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年5月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年5月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-12809(031)-1



販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-32769(031)



読売新聞 領収書

区域003-B 金戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様

八尾町大杉3387

29年 4月分

銘柄	部数	金額
1 読売新聞朝刊	1	3,093
2		
3		
合計		3,093円

◇左記の通り領収しました  
領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

YC 八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609

YC 大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

17年 05月分 / 17年 5月 29日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売 (株)

富山センター 八尾販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

宮本 光明 様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410



日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

領収書

5,730 円

2017 年 5 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山地区委員会

TEL 076-441-3001

領収日

扱者

整理番号	343	事業概要	ガス代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考
	ガス代	1,130	2分の1の按分 5月分
	(合計)	1,130	

〒939-2303  
富山市八尾町大杉3387

領 収 書

NO.5300116-00176-0176

H29年5月25日

宮本 光明 様

お客様コード 5-530011-32461

¥ 2,260 円

上記の金額正に領収致しました。

ガス代

内 訳	1 現金	¥2260	円
	2 小切手		円
	3 振込		円
	4 手形		円
	期日	年 月 日	
5 相殺		円	
調整	7	円	



担当者印なきものは無効です。

締切日 入金予定日 回収方法  
2017- 5-20 持参

前月繰越高	当月お買上高 件数	金額	当月御請求高
	0	1 2267	2267

株式会社大内石油

大杉SS  
TEL(076)455-1128

000

收受 平成 29 年 6 月 1 日  
決裁 平成 29 年 6 月 6 日  
処理 平成 29 年 6 月 6 日

整理番号	344	事業概要	事務所賃借料			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	年間契約に基づく					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考			
	5月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生			
	合 計	25,000				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 6 月 1 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 6 日  
 処理 平成 29 年 6 月 6 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

# 領 収 書

宮本光明後援会事務所様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
浄化槽清掃料 5月分家賃代  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

上記正に領収いたしました

平成29年5月25日



富山県富山市八尾町角間20-1

(有) 八尾 衛 生

電話 (076) 454-2487番

経理番号	345	事業概要	賃金			
使途項目	10_人件費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	5月賃金	42,500	[Redacted]			
		合計	42,500			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

\* ¥42,500 -

内 訳

現金 \_\_\_\_\_

小切手 /

手形 /

消費税額等( %)

但 5月分賃金

29年5月25日 上記正に領収いたしました

収入印紙

[Redacted]

[Redacted]



收受 平成 29 年 6 月 1 日

決裁 平成 29 年 6 月 6 日

処理 平成 29 年 6 月 6 日



勤 務 実 績 表

平成29年5月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	月	9 : 00 ~ 16 : 00	6	17	水		
2	火	9 : 00 ~ 12 : 00	3	18	木	9 : 00 ~ 12 : 00	3
3	水			19	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7
4	木			20	土		
5	金			21	日		
6	土			22	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
7	日			23	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
8	月	9 : 00 ~ 16 : 00	6	24	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
9	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7	25	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
10	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	26	金		
11	木			27	土		
12	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7	28	日		
13	土			29	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
14	日			30	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
15	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	31	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
16	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7				
		小 計	50			小 計	59
						合 計	109

月額	85,000円
負担割合	
( 5 割)	42,500 円
( 5 割)	42,500 円

整理番号	358	事業概要	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電気代	4,739	2分の1の按分
	《合計》	4,739	

《領収書貼付》

付しきれない場合は、別紙に整理すること。

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社						
平成 年 月 日	29	5	金額				円
						9 4 7 9	
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会					消費税等相当額(再掲) 円	702
お支払期日	6月21日					積算額(再掲) 円	

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。  
ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

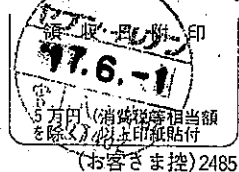
お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	9479	702
合計	9479	702

北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を領収いたしました。



收受 平成 29 年 6 月 5 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 6 日  
 処理 平成 29 年 6 月 6 日

整理番号	405	事業概要*	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容					
上記事業に要した費用	経費の内容*	金額(円)*		備考	
	読売新聞	3,093			
	(合計)	3,093			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

 読売新聞 領収書 区域003-B 全戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町天杉3387

29年 5月分

銘 柄	部 数	金 額	◇左記の通り領収しました
1 読売新聞朝刊	1	3,093	
2			
3			
合 計		3,093円	領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

YC 八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
YC 大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



※裏面もあわせて内容を  
お読みください。

收受 平成 29 年 6 月 13 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 13 日  
 処理 平成 29 年 6 月 14 日

整理番号	406	事業概要	「富山県人」購読料								
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容	「富山県人」年間購読料7,000円（平成29年7月～平成30年6月）										
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考								
	富山県人購読料	5,250	29/7～30/3	9ヶ月	株式会社富山県人社						
	《合計》*	5,250									

《領収書貼付枠》（原則、領収

書と。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	007405	通商振替 預金加入 者負担
加入者名	株式会社 富山県人社	
金額	7000	
依頼人	〒939-2451 おなまえ 富山市八尾町平沢381 宮本 光明 様	
料金	日 附 印 29-06-05 杉原郵便局	
備考	(32126) N94180013	

29.7～30.3 9ヶ月 5250  
30.4～30.6 3ヶ月 1750

收受 平成 29 年 6 月 13 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 13 日  
 処理 平成 29 年 6 月 14 日

この受領証は、大切に保管してください。

整理番号	432	事業概要*	県政報告・活動報告 時局講演会 郵送代		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費			
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	郵送料	64,641	2,088通 郵メール2分の1の按分		
	《合計》*	64,641	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 6 月 16 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 19 日  
 処理 平成 29 年 6 月 20 日

(重ならないように貼付すること。)

振替払込請求書 兼受領証	
00180	3 901196
日本郵便株式会社	
千 百 十 万 千 百 十 円	
1 2 9 2 8 2	
939-2451 富山県富山市八尾町 平沢381	
宮本 光明 様	
日 附 印	
29-06-14 杉原郵便局	
(32126 ) N94220001	

X 切り取りなおしでお出しください。

この受領証は、大切に保管してください。

- (ご注意)
- ※お取り扱いしますの  
で、汚れたり、しわ、曲げたりしな  
いでください。
  - この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵  
便局の払込機能付きATMでもご  
利用いただけます。
  - この払込書を、ゆうちょ銀行又は  
郵便局の渉外員にお預けになると  
きは、引換えに預り証を必ずお受  
け取りください。
  - ご依頼人様からご提出いただきま  
した払込書に記載されたおとこ、  
おなまえ等は、加入者様に通知す  
る場合があります。
  - この受領証は、払込みの証拠とな  
るものですから大切に保管してく  
ださい。

## 後納郵便物等 取扱票(お客様用)

宮本 光明	様
2001026818-000002- 0000000001-000001	
[後納引受] 1 ゆうメール特別	
061	50g 県内 1,914通
	¥116,754
2 ゆうメール特別	
072	150g 県外 174通
	¥12,528
<b>合計</b>	<b>¥129,282</b>

〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2

取扱日時：2017年 5月29日 12:55  
担当：[REDACTED]  
発行No. 170529K0108 端341039115  
連絡先：富山西郵便局  
TEL:076-427-1580

取扱局	2001-320100
後納承認局	2001-320010
後納お取引番号	0001471798

この控は領収書ではありません。  
各料金明細、合計は実際の請求と  
異なることがあります。



宮本光明県政報告会・後援会全体総会

# 「時局講演会」

日時 **7月1日(土)**

午後4時～ 県政報告会・全体総会  
5時～ 講演会  
6時30分～ 懇親会 (会費1,500円)

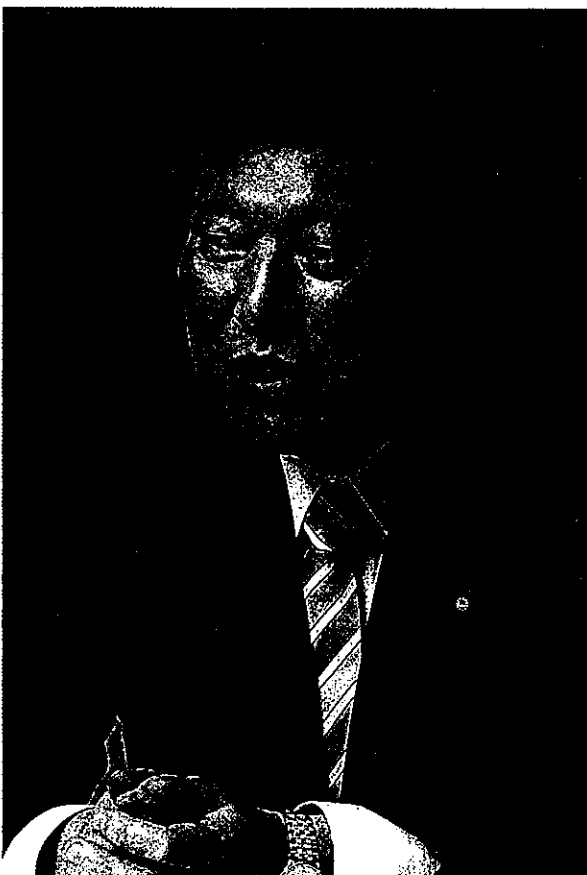
会場 **八尾コミュニティセンター**

■講師

衆議院議員 **石破 茂 先生**

■演題

『憲法改正と安全保障について』



## 衆議院議員 石破 茂 氏プロフィール

- ・昭和32年2月4日 鳥取県生まれ。
- ・昭和54年3月慶応義塾大学法学部法律学部卒業。
- ・昭和54年4月、三井銀行（三井住友銀行）入行。
- ・昭和61年7月、全国最年少議員として衆議院議員初当選。
- ・内閣では、農林水産政務次官、農林水産総括政務次官・防衛庁副長官、防衛庁長官を経て、平成19年に防衛大臣。
- ・国会では、規制緩和特別委員長、運輸常任委員長、自民党では過疎対策特別委員長、安全保障調査会長、高齢者特別委員長、総合農政調査会長代行等を歴任。
- ・趣味は、料理、読書、遠泳

\*終了後懇親会を予定しております。隣近所お誘い合わせの上、乗り合わせにてご来場くださり、飲酒運転されぬようお願いいたします。

主催 富山県議会議員 宮本光明・宮本光明後援会

整理番号	433	事業概要	電話代
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電話料	2,562	2分の1の按分 6月分
	《合計》	2,562	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を電話料金等払込受領証に貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行郵便局で支払った場合は、左欄の受取人欄に貼付してください。

電話料金等払込受領証  
西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2017年 6月ご請求分  
金額(円)  
¥5,124-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

印  
052439  
17.6.15  
ローソン  
富山八尾店

収入印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 29 年 6 月 16 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 19 日  
 処理 平成 29 年 6 月 20 日



整理番号	539	事業概要	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	富山新聞	3,072			
	聖教新聞	1,934			
	公明新聞	1,887			
	《合計》	6,893	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 6 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 30 日  
 処理 平成 29 年 7 月 3 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

17年 06月分 17年6月26日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 八尾販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年6月分 領収日 月 日

領収金額 **¥1,934** ☆

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年6月分 領収日 月 日

領収金額 **¥1,887**

品名	定価(税込)	部数	金額

## その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-12809(031)

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-32769(031)

540	事務所賃借料・ガス代	
08_事務所費	01_調査研究費	02_研修費
	06_資料作成費	07_資料購入費
	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
	08_事務所費	09_事務費
	05_会議費	10_人件費
事務所賃借料は、年間契約に基づく		
6月事務所賃借料	25,000	(有) 八尾衛生 /
ガス代	1,065	2分の1の按分 6月分 /
	26,065	/
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

收受 平成 29 年 6 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 30 日  
 処理 平成 29 年 7 月 3 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

## 領 収 書

宮本光明後援会事務所様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
 浄化槽清掃料 6月分家賃代  
 浄化槽維持管理料 6  
 消 費 税

上記正に領収いたしました

29年 6月 26日

富山県富山市八尾町角間20-1  
**(有) 八尾衛生**  
 電話 (076) 454-2487番

〒939-2303 富山市八尾町大杉3387

### 領 収 書

NO.5300116-00173-0173

H29年6月26日

宮本 光明 様

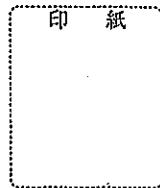
お客様コード 5-530011-32461

¥ 2130 円

上記の金額正に領収致しました。

6月ガス代

内訳	1 現金	¥2,130	円
	2 小切手		円
	3 振込		円
	4 手形		円
	5 相殺		円
調整		7	円



締切日 入金予定日 回収方法  
2017-6-20 持参

前月繰越高	当月お買上高 件数	金額	当月御請求高
0	1	2137	2137

株式会社大内石油

大杉SS  
TEL(076)455-1128



担当者印なきものは無効です。

整理番号	541	事業概要	インターネット接続料		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容					
上記事業費に該当する	格別の内容	金額(円)	備考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 6月27日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	《合計》*	3,747	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

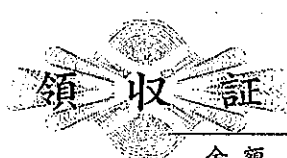
收受 平成 29 年 6 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 30 日  
 処理 平成 29 年 7 月 3 日



報告者\* 宮本光明

整理番号	542	事業概要	賃金		
使途項目	10_人件費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	名費の内容	金額(円)	備考		
	6月賃金	42,500	[REDACTED]		
		合計	42,500		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

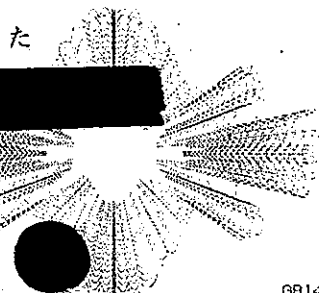
金額 ¥42,500

但 6月賃金  
29年6月26日 上記正に領収いたしました

内 訳 [REDACTED]

税抜金額 [REDACTED]

消費税額(%) [REDACTED]



GR1417

收受 平成 29 年 6 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 6 月 30 日  
 処理 平成 29 年 7 月 3 日

勤 務 実 績 表

平成29年6月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6	17	土		
2	金	9 : 00 ~ 12 : 00	3	18	日		
3	土			19	月		
4	日			20	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
5	月	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5	21	水	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5
6	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7	22	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
7	水	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5	23	金		
8	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	24	土		
9	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7	25	日		
10	土			26	月	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5
11	日			27	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
12	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	28	水	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5
13	火	9 : 00 ~ 12 : 00	3	29	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6
14	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	30	金	9 : 00 ~ 16 : 00	6
15	木	9 : 00 ~ 15 : 00	5				
16	金	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5				
		小 計	65.5			小 計	44.5
						合 計	110

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円



整理番号	596	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 08_事務所費
		03_広聴広報費 09_事務費	04_要請陳情等活動費 05_会議費 10_人件費
内容	6月分		

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3,072	/
	日本経済新聞	3,670	/
	日刊 しんぶん赤旗	3,497	/
	しんぶん赤旗 日曜版	823	/
	日刊紙 郵送料	1,410	/
	《合計》	12,472	/

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2017年6月分 領収証 発証No.00003144-201706-1  
宮本 光明 様

大杉3387

品名	数量	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

合計金額  
**¥6,742**  
(消費税込み)

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

領収印

北日本新聞

收受 平成 29 年 7 月 3 日  
決裁 平成 29 年 7 月 4 日  
処理 平成 29 年 7 月 4 日

宮本 光明

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410



日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

領収書

5,730 円

2017 年 6 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山地区委員会

TEL 076-441-3001

領収日

投書

経理番号	597	事業別費	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	給費の内容	金額(円)	備考
	電気料	4,636	2分の1の按分 6月分
	(合計)	4,636	

《領収書貼付》

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電気料金振込依頼書兼領収書

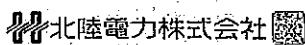
受取人	北陸電力株式会社			
平成 29 年 6 月	金額			9 2 7 3 円
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会			消費税等相当額(再掲) 円 686
お支払期日	7月21日			積算額(再掲) 円

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額(円)	消費税等相当額(再掲)(円)
211	9273	686
合計	9273	686



北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を領収書に記入しました。

領収書  
5万円未満の消費税等相当額を除く  
177,628  
(お客さま控)2485

收受 平成 29 年 7 月 3 日  
決裁 平成 29 年 7 月 4 日  
処理 平成 29 年 7 月 4 日

整理番号	651	事業概要	時局講演会		
使途項目	02_研修費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	時局講演会会場費				
上記事業に該当した金額	経費の内容	金額(円)	備考		
	時局講演会会場費	50,845	1/2按分		
	(合 計)	50,845			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 7 月 6 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 7 日  
 処理 平成 29 年 7 月 7 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領 収 書

NO. 096

平成 29 年 7 月 5 日

納入者住所

氏名

**宮本光明**

様

¥101,690

ただし、富山市八尾コミュニティセンター  
使用料として

内訳 ホール、催事場(全) 催事場(控え室)

研修室(A) 研修室

7月1日

富山市八尾コミュニティセンター 29.7.5

金銭分任出納員



宮本光明県政報告会・後援会全体総会

# 「時局講演会」



日時 **7月1日(土)**

午後4時～ 県政報告会・全体総会  
5時～ 講演会  
6時30分～ 懇親会 (会費1,500円)

会場 **八尾コミュニティセンター**

■講師

衆議院議員 **石破 茂 先生**

■演題

『憲法改正と安全保障について』



## 衆議院議員 石破 茂 氏プロフィール

- ・昭和32年2月4日 鳥取県生まれ。
- ・昭和54年3月慶応義塾大学法学部法律学部卒業。
- ・昭和54年4月、三井銀行（三井住友銀行）入行。
- ・昭和61年7月、全国最年少議員として衆議院議員初当選。
- ・内閣では、農林水産政務次官、農林水産総括政務次官・防衛庁副長官、防衛庁長官を経て、平成19年に防衛大臣。
- ・国会では、規制緩和特別委員長、運輸常任委員長、自民党では過疎対策特別委員長、安全保障調査会長、高齢者特別委員長、総合農政調査会長代行等を歴任。
- ・趣味は、料理、読書、遠泳

\*終了後懇親会を予定しております。隣近所お誘い合わせの上、乗り合わせにてご来場くださり、飲酒運転されぬようお願いいたします。

管理番号	652	事業概要	水道代
使用項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記の通り記入していただくこと	経費の内容	金額(円)	備考
	水道料	3,834	2分の1の按分
	合計	3,834	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を数し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

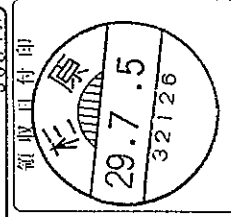

 平成29年度 富山市水道料金等  
 納入通知書兼領収書  
 お客さま番号   
 使用所 宮本光明後援会事務所 様  
 納入所 宮本光明後援会事務所 様  
 発行日 平成29年7月3日  
 納期限 平成29年7月18日

給水装置場所  
 富山市八尾町大杉  
 3387

使用期間	平成29.4.4~平成29.6.3
口径	13mm 川邊 営業用
上水道使用水量	30m <sup>3</sup>
下水道使用水量	30m <sup>3</sup>
し尿くみ取り日・量	月 日 月 日 月 日

平成29年6月請求分

水道料金	3,348円
内訳費	(248円)
下水道使用料	4,320円
内訳費	(320円)
し尿くみ取り手数料	0円
内訳費	(0円)
合計金額	7,668円
内訳費	(568円)



領収書貼付印  
 29.7.5  
 32126

富山市上下水道事業管理センター  
 富山市上下水道局  
 出納・収納取扱金庫係  
 及びコンビニでは取入印線不要  
 取納代行会社  
 株式会社システム  
 00720-5-960619  
 富山市上下水道事業管理センター  
 (お客さま様)

收受 平成 29 年 7 月 6 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 7 日  
 処理 平成 29 年 7 月 7 日

整理番号	717	事業概要*	新聞購読代		
使途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備 考		
	日本教育新聞代	8,100	2017年 4~6月分	株式会社 日本教育新聞社 /	
	《合 計》*	8,100			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

収受 平成 29 年 7 月 18 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 20 日  
 処理 平成 29 年 7 月 20 日



(参考)

政務活動費対象事業実績報告書

報告日\* 平成29年1月10日

報告者\* 宮本光明

2697	新聞購読代	
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費
日本教育新聞代	8,100	2017年 1~3月分
	8,100	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

收受 平成 29 年 2 月 2 日  
 決裁 平成 29 年 2 月 6 日  
 処理 平成 29 年 2 月 6 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。

001508 196500

**日本教育新聞社**

金額 16200

振込先 銀行 支店 347080

依頼人 宮本 光明

料 金 円 17,110

備 考 013392

(ゆうちょ銀行)

CVS 収納用収入印紙貼付欄

(お客様控え)

請 求 書

2017年 1月 6日

宮本 光明

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。  
 下記の通りご請求申し上げます。  
 ※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 **日本教育新聞社**

代表取締役社長 幹長

東京都港区虎ノ門 8  
 電話 03 (03) 3571-7777

《お支払い先》  
 ・振替払込 00150-8-196500  
 ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店  
 普通預金 2835213  
 ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,200 円	読者コード	XXXXXXXXXX	請求書番号	0003926610
-------	----------	-------	------------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				16,200 円	2016/07-2016/12
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2017/01-2017/06
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2017/01-2017/06

整理番号	719	事業概要	新聞代			
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考		
	読売新聞	3,093				
	(合計)	3,093				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



読売新聞 領収書

区域003-B 全戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

29年 6月分

銘	柄	部数	金額	左記の通り領収しました
1	読売新聞朝刊	1	3,093	
2				
3				
合計			3,093円	領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

Y◎八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
Y◎大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

收受 平成 29年 7月 19日  
 決裁 平成 29年 7月 20日  
 処理 平成 29年 7月 20日

整理番号	720	事業概要	新聞代		
使金項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容					
調正 科目 別 明細	経費の内容	金額(円)	備考		
	日本教育新聞社	16,200	2017年7月~12月分		
	《合計》	16,200			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 7 月 19 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 20 日  
 処理 平成 29 年 7 月 20 日

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。	口座番号	001508	196500	CVS 収納用 収入印紙 貼付欄
	加入者名	日本教育新聞社		
金額	16200		円	支店
振込先	銀行			
ご依頼人	おなまえ 347080			(お客様控)
料金	宮本 光明			
備考	料金 円		日附印	

(ゆうちょ銀行)

請求書

2017年 7月 5日

宮本 光明

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。  
下記の通りご請求申し上げます。  
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 林 幹長

東京都港区虎ノ門 1-8-1  
電話 03 (03) 5561-7777

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店 普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,200 円	読者コード		請求書番号	0003994187
(内税) 【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。					
	品名	部数	期間	金額	備考
前回請求額				16,200 円	2017/01-2017/06
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2017/07-2017/12
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2017/07-2017/12

整理番号	721	事業概要	電話代		
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	電話料	2,593	2分の1の按分 7月分		
	《合計》	2,593			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、電話料金等払込受領証を貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行郵便局でお支払いの場合は、前面2枚をお出しください。上記以外でお支払いの場合は切り取らなくてください。(金融機関・CVS用)→お客様

西日本ご利用分
ご請求先氏名 宮本光明後援会 様
お客様番号 [REDACTED]
2017年 7月ご請求分
金額(円) ¥5,187-
受取人 NTTファイナンス株式会社
お問合せ先 (無料) 0800-3335550
領収日附印 検収③ 052439 17.7.18 ローソン 富山八尾店 収入印紙貼付欄

收受 平成 29 年 7 月 19 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 20 日  
 処理 平成 29 年 7 月 20 日

754		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費		
平成29年5月29日	から	山村振興議員連盟 県外視察（島根県）			
平成29年5月31日	まで	(内容)		(備考)	
島根県		邑南町定住促進課・商工観光課 島根県中山間地地域研究センター 飯南高等学校 島根県庁（暮らし推進課 教育委員会）  取組みについて、意見交換			
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料	6,600円 15,100円	21,700
タクシー			食事代	1,500円×2、 2,000円×1	5,000
航空機		60,390	会費		
自家用車	@37 × km =	0	貸切バス代		17,280
リース車	@18 × km =	0			
有料道		1,069			
駐車場			計		105,439
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成29年7月18日

# 領 収 証

No. 17981

富山県護国小学校振興会 殿

平成 29 年 7 月 18 日

¥ 1,660,960-

(税込)

但し 鳥取県視察費用として

上記の金額正に領収致しました



**叶 ニューエクスプレス**  
 本 社 富山県奥田新町1番1号 (ポルファートとやま)  
TEL (076) 441-2071 FAX (076) 431-2735  
 ファボーレ店  高岡大和店  金沢営業所  
 名古屋支店  東京支店



H27.8. 2×50×100 ㊞



平成29年7月4日

富山県議会山村振興議員連盟 様

(株)ニューシブチ  
富山市奥田新田3番5号  
TEL(076)447-8000

## 請 求 書

「島根県内視察」旅行に係った費用を、下記の通りご請求いたします。

旅行日 平成29年5月29日(月)～5月31日(水)  
人 数 15名様

ご請求金額 金1,660,960円

項 目	内 容	単 価	数 量	合 計	備 考
航空券代	富山⇒羽田⇒広島、米子⇒羽田⇒富山	60,390	15名	905,850	団体券利用
貸切バス代	3日間利用	259,200	1台	259,200	
有料道路代		16,030	1台	16,030	
宿泊ホテル代	三次グランドホテル 1泊(朝食1回付)	6,600	15名	99,000	
"	皆生シーサイドホテル 1泊(夕食1回付)	15,270	14名	213,780	
食事代	5/29 昼食 (邑南町)	2,700	15名	40,500	
"	5/29 夕食 (三次市)	5,940	15名	89,100	
"	5/30 昼食 (掛合町)	2,500	15名	37,500	
総合計				1,660,960	

H29山村振興議員連盟県外視察(5月29日～5月31日) 決算

H29.7

政務活動費	自己負担額	個人合計	会派計	繰越負担合計
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
90,334	6,140	96,474	1,325,715	
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
1,566,480	94,480	1,660,960	0	0
			1,660,960	

参加者	会派	交通費			ホテル			食事代			掛合の星(5/30昼食)	自己負担額	
		飛行機	貸切バス代等	有料道路	三ツクラホテル(5/29:1泊朝食)	岩生リゾートホテル(5/30:1泊朝食+夕食)	AJIKURA(5/29昼食)	むらたけ総本家(5/29夕食)	政治活動費(実費)	政治活動費(実費)			政治活動費(実費)
1 鹿熊会長	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
2 宮本副会長	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
3 篠岡事務局長	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
4 大野議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
5 米原議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
6 中川議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
7 龜山議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
8 山崎議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
9 浅岡議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
10 齋藤議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
11 横山議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
12 山辺議員	自民	60,390	17,280	1,064	6,600			1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
13 島村議員	社民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
14 澤谷議員	社民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
15 吉田議員	公明	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000
小計		905,850	0	259,200	16,030	0	211,400	2,380	22,500	30,000	59,100	22,500	15,000
合計		905,850	0	259,200	16,030	0	213,780	40,500	89,100	37,500			

# 富山県議会山村振興議員連盟県外視察 参加者名簿

5/29～5/31 島根県

役職名	議員名	会派	備考
会長	かくま まさかず 鹿熊 正一	自由民主党	
副会長	みやもと みつあき 宮本 光明	自由民主党	
理事	おおの ひさよし 大野 久芳	自由民主党	
〃	よねはら しげる 米原 蕃	自由民主党	
事務局長	しのおか ていろう 筱岡 貞郎	自由民主党	
監事	なかがわ ただあき 中川 忠昭	自由民主党	
会員	しまむら すすむ 島村 進	社民・無所属議員会	
〃	さわたに きよし 澤谷 清	社民・無所属議員会	
〃	かめやま あきら 亀山 彰	自由民主党	
〃	やまざきむねよし 山崎 宗良	自由民主党	
〃	よしだ つとむ 吉田 勉	公明党	
〃	あさおかひろひこ 浅岡 弘彦	自由民主党	
〃	ぎやくしふじお 瘡師富士夫	自由民主党	
〃	よこやま さかえ 横山 栄	自由民主党	
〃	やまべ みつぐ 山辺 美嗣	自由民主党	30日帰富

計15名

# 山村振興議員連盟 島根県視察日程(案)

H29.4.24

## 第1日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
5月 29日 (月)	富山空港		7:10		ANA312
	羽田空港	8:15	9:35		ANA675
	広島空港	11:00			借上バス
	(昼食)				
	邑南町定住促進課(まち・ひと・しごと創生戦略推進室)、商工観光課 邑南町矢上6000	14:00	16:00	・日本一の子育て村構想・地方創生の取組み ・A級グルメ構想について	借上バス
	(宿舎)三次グランドホテル 広島県三次市十日市南1-10-1 Tel:0824-63-3111	17:00			徒歩1分
	(夕食)むらたけ総本家 三次市十日市東6-1-8 Tel:0824-63-0666	18:30			

## 第2日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
5月 30日 (火)	宿舎		8:30		借上バス
	島根県中山間地域研究センター 飯南町上来島1207	9:30	11:00	中山間地域の地域振興対策の研究	↓
	飯南高等学校 飯南町野萱800	11:00	11:45	・しまね留学生への支援 ・町と連携した特徴的な教育活動・取組み	↓
	(昼食)				↓
	島根県庁 島根県議事堂 松江市殿町1	14:00	15:30		↓
	しまね暮らし推進課	(14:00)	(14:45)	定住促進の取組 (県、ふるさとしまね定住財団の取組)	
	教育委員会(教育指導課、学校企画課)	(14:45)	(15:30)	・今後の県立高校の在り方検討委員会 ・しまね留学	
	(宿舎)皆生シーサイドホテル 鳥取県米子市皆生温泉3-4-3 Tel:0859-34-2222	17:30			↓
(夕食)ホテル内宴会場	18:30				

## 第3日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
5月 31日 (水)	宿舎		6:15		借上バス
	米子空港	6:45	7:20		ANA382
	羽田空港	8:40	9:40		ANA315
	富山空港	10:40			



## 山村振興議員連盟県外視察報告書

日 程 平成 29 年 5 月 29 日（月）～5 月 31 日（水）

場 所 里山イタリアン「AJIKURA」

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上 3123-4  
島根県邑南町役場

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上 6000  
島根県中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島 1207  
島根県立飯南高等学校

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野萱 800  
島根県庁

〒690-8501 島根県松江市殿町 1 番地

主 催 富山県議会 山村振興議員連盟

同行者 鹿熊議員、宮本議員、大野議員、米原議員、山辺議員、横山議員、  
筱岡議員、中川議員、吉田議員、瘡師議員、亀山議員、澤谷議員、  
山崎議員、島村議員、浅岡議員

### 行程

1 日目 5 月 29 日

富山空港に集合

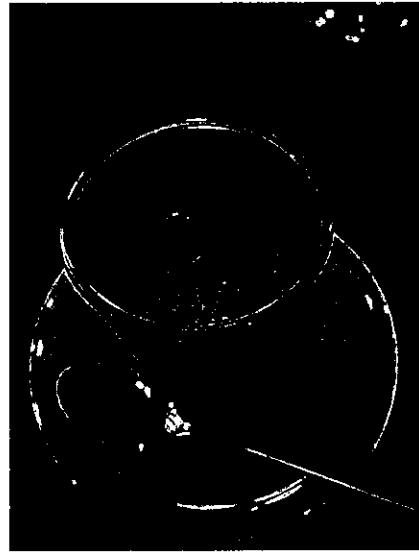
富山空港から羽田空港へ移動

羽田空港から広島空港へ移動

空港から借上バスにて移動し昼食

#### 【里山イタリアン AJIKURA】

昼食は地元邑南町の「A 級グルメのまちづくり」として有名なイタリアンレストランの里山イタリアン「AJIKURA」で地元産素材の料理を食しながら現地視察を開始した。



その後、邑南町役場に借上バスにて移動

【邑南町役場】

邑南町の「日本一の子育て村構想」や「地方創生の取り組み」の報告を受けた。人口減少と少子高齢化に対する危機感を持ち、平成23年度から「持続可能なまちづくり」を目指し、

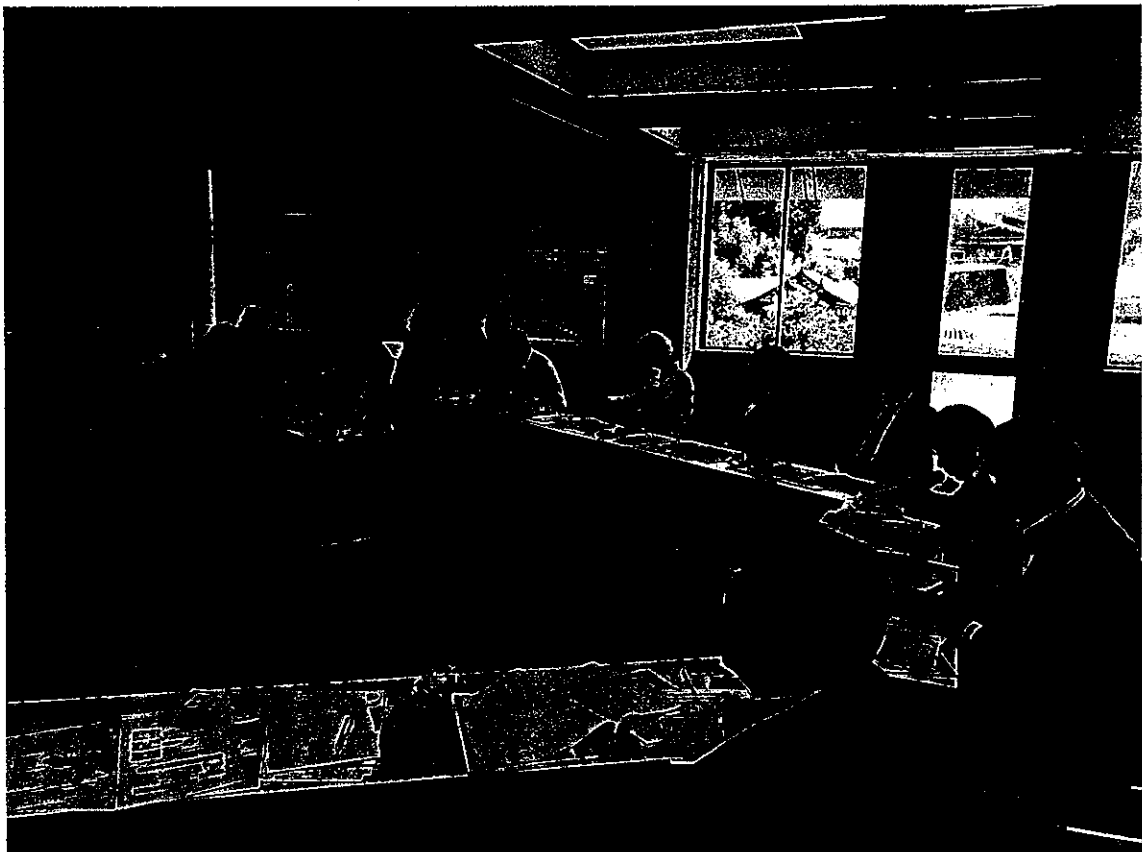
### ① 攻めの A 級グルメ構想

昼食をとった「イタリアンレストラン AJIKURA」を代表とし、石見牛や石見ワインなど地元食材を使用したアイデア料理を提供する A 級グルメによるまちづくりが進められている。平成 27 年度までの観光入り込み客は 92 万人、UIJ ターン者数は 240 人を達成している。

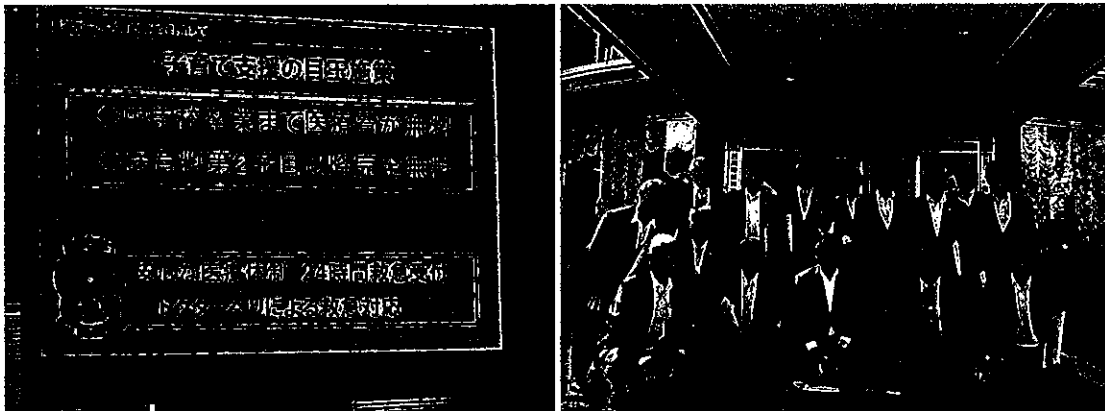
### ② 守りの「日本一の子育て村」

日本一の子育て村を目指し、きめ細かな移住者に対するケア等による人口増施策を進めている。「日本一の子育て」に関しては、公立邑智病院の小児科、産婦人科の常勤により安心して出産・子育て出来る環境づくりや、中学 3 年生までの児童の医療費の現物給付、第 2 子以降の保育料の無償化、第 1 子の保育料の国基準の 6 割設定をしている。これらの取り組みにより、平成 27 年度の合計特殊出生率は 2.46、出生数は 70 人を確保した。

ここで注目する点は、財源は全て過疎債でまかなっているところであった。







邑南町役場から借上バスにて宿泊所へ移動

宿泊所 「三次グランドホテル」 広島県三次市十日市 1-10-1

2日目 5月30日

宿泊所から「島根県中山間地域研究センター」へ借上バスにて移動。

「島根県中山間地域研究センター」

対応者 嶋田 所長

有田昭一郎 主任研究員

嶋田所長から、全国で唯一の中山間地域を総合的・専門的に研究する同センターの設立経緯やセンター運営の基本的な方針等について説明を受けた。

同センターは、平成7年に、当時の澄田知事が過疎化の進行や農林業の生産活動の停滞等に危機感を持ち、農林産物の生産や地域住民の生活の場であり、国土保全などの多面的機能を担う中山間地域の再生のため、総合的な中山間地域対策の展開を図るため「中山間地域研究センター」の整備を表明した事に始まり、平成10年4月に約60億円を投じて「島根県中山間地域研究センター」が発足した。

同センターの活動の基本として、①総合的な中山間地域対策の展開として、地域振興対策の研究、農業、畜産、林業が一体となった技術開発、森林・林業に関する研究などを総合的に実施するとともに、これらの研究成果を活かした各種研修や地域づくり支援事業の展開。②持続的な社会システムづくりの推

進として、研究成果の普及・定着、それを活かした各種研修や地域の特色ある取り組みの支援を行い、21世紀の持続可能な活力ある中山間地域の社会づくりを推進しているとの説明があった。



また、有田昭一郎主任研究員からは、島根県地域振興部の中にある「中山間地域研究センター」の具体的活動内容について報告を受けた。

同センターは、正規職員42名、嘱託・臨時等を合わせた77名体制で運営されており、地域研究支援部門として「中山間地域支援スタッフ・地域研究スタッフ」が小さな拠点づくり支援として県内19市町村の地域住民組織への技術的支援や支援ノウハウの開発・スキルアップ研修会の開催などを行い、持続可能な地域づくりの支援を行っている。また農林技術部門では、中山間地域の売れるものづくり、放牧による耕作放棄地対策、特用林産物の栽培研究、野生鳥獣類の効果的な被害対策の開発・実証、森林の保護育成、木材利用の推進などが実施されている。

特に有田氏からは、『島根県の小さな拠点づくりの推進体制、中山間地域対策プロジェクトチーム』の活動の紹介があった。それは、「安心して暮らし続けられる地域の仕組みづくり」を目指す小さな拠点づくり運動である。

県内には 236 公民館エリアがあるが、平成 25 年度～27 年度で 52 の支援地区を設け、平成 28 年度～31 年度までで 150 地区で小さな拠点づくりの支援を行うとの事であった。支援スタッフが月 1 回程度現場へ行き、地域の課題を整理し、課題解決のための目標設定やアドバイスなどを丁寧に行い支援する活動により、それぞれの地域に合った持続可能な地域づくりを目指す運動が報告された。

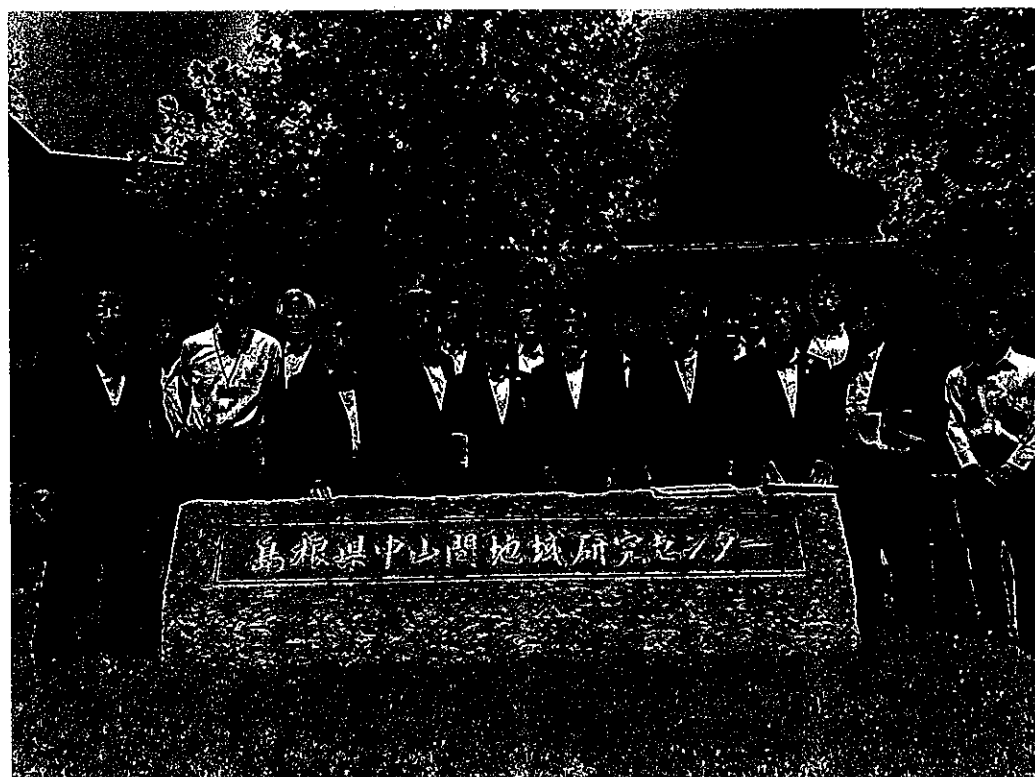


イノシシの生態観察を兼ねてジビエとして育成してるイノシシ園

視察全体を通じた感想としては、人口減少、少子高齢化の中で、どう地域社会を守っていくのか、島根県の強い危機感と持続可能な地域づくりへの決意が感じられた。金も人もかけ、住民と共に進もうとする島根県の気概を、私たちも見習わねばと感じた。



島根県中山間地域研究センターのエントランス



中山間地域研究センターから借上バスにて島根県立飯南高等学校に移動。

【島根県立飯南高等学校】

対応者 秦 学校長

学校の現況としては、島根県立飯南高等学校は、島根県でも広島県境近い中国山地を背負う中山間地域である。町全体の2つの中学校すべての卒業生数でも、飯南高等学校の一学年の定80名より少ない40名前後であり、3学年合わせた生徒数は現在も半数近くは、他市町から入学している。

学校の取り組みとしては、公立高校での全国一の学生寮多い島根県で、3分の1の生徒が男女ほぼ同じように入寮している特色ある高校である。県外性のほぼ全員がホストファミリー活動、宿泊も体験している。

また、昨年度は、14名が国公立大へ進学しているなど、進学校という面もあり、部活動では、報道部が全国大会常連校で優勝したこともあります。スキー部、ハンドボール部は、全国あるいは中国大会の常連校でもある。

生徒の通学修学対策として、バス定期助成や、近隣中学校よりスクールバスの運行もおこなっている。

町外中学校（県外が多い）からの生徒が多く、寄宿舍（月根尾寮）を運営し、支援として、町から寮費月額1万円補助、自己負担月3万円、ただし欠食分は返金するなど、県外に住んでいる意欲ある中学生を「しまね留学生」募集している。

平成10年に公立高校ながら文部省中高一貫教育研究指定校になり、町内からの入学率が伸びたそうである。

また、教育活動後援会があり、資金面での後援を町内中学出身上位者給付金制度を導入している。

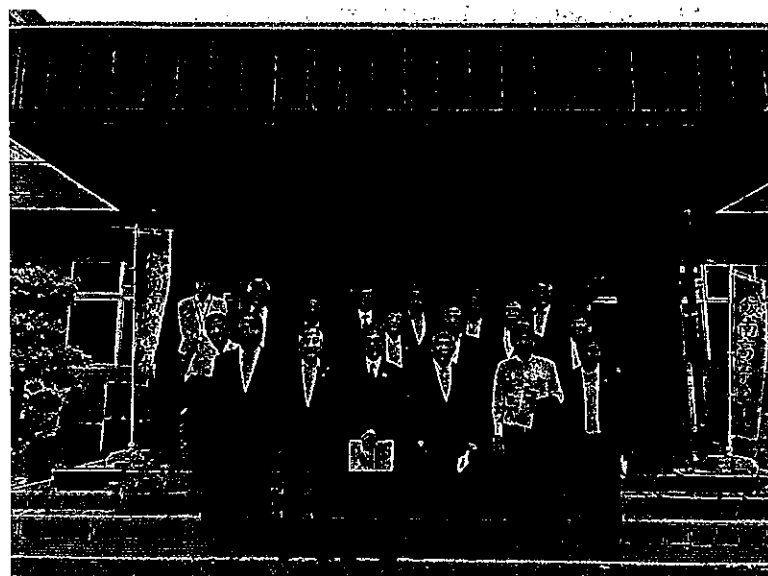
キラリ！ドリームアップ推進協議会事業の中に、特色ある教育の推進のひとつ、生命地域学では、課題研究を提案だけでなく、六次産業化・商品化・予算付けまでおこなっている。生命地域ラボとして、地域住民との交流会・ボランティア活動・保育所訪問・介護実習などもおこなっている。学力向上に町営の学習指導もおこなっている。

離島中山間地域高校の活性化・活性化事業として、県主導の支援事業県内8校に選ばれて、高校の魅力を高めながら、高校入学者の確保、地域に根ざした

高校づくりを推進し、地域の活性化を図る町と高校からなる団体へ交付金が、少なくとも9年間支給されている。

生徒数確保2学級維持し、保小中高一貫教育の中核としての、中高一貫教育・中高の連携している。なかでも、T.T.授業は、高校から中学へ、中学から高校へと教師が参加し、教科の連携活動をしている。部活動・学園祭など相互交流教科外連携も行われている。目を見張るのは、月1回の高校長と2中学校長で構成する校長会を開いていることである。小規模校の特色である少人数・習熟度別指導で、教育力向上による生徒確保、活力ある2学級づくりに取り組んでいる。

中山間地域として地域に密着した特色のある高校、町への定住化対策を、町づくりの柱として、バックアップ支援体制がとられている。



島根県立飯南高等学校から借上バスにて島根県庁に移動。

#### 【島根県庁】

島根県の現状としては、県土のうち中山間地が 9 割を占め、人口の 46%が中山間地域で暮らしている。人口のピーク時は(昭和 30 年)92.9 万人で、H26 年の人口は 69.7 万人で、▲23.2 万人(▲25%)になっている。詳細としては、出雲圏域は▲3.4 万人(▲7%)、石見圏域は▲17.4 万人(▲46%)、隠岐圏域は▲2.4 万人(▲53%)であり、過疎という言葉が発祥したのが島根県でもあり、20 年間にわたり過疎対策を積み重ねた過疎先進県と言える。

定住促進を目的に、総工費 60 億円で中山間地域交流センターを設置し、

【島根県人口ビジョン】を策定して、2040 年までに合計特殊出生率 2.07 と社会移動の均衡を目指している。

また、【島根県総合戦略】を策定して、

基本目標 1 しごとづくりとしごとを支える人づくり

基本目標 2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

基本目標 3 しまねに定着、回帰・流入するひとの流づくり

基本目標 4 地域の特性を活かした安心して暮らせるしまねづくり

としている。

また、【島根県定住施策の特徴】は、早い時期から取り組んでおり、平成 4 年に定住財団を設立し、県、市町村、財団を一体化して定住支援員を全市町村に配置し、事業を一体化して行っている。

そして、定住、若年者県内就職、地域づくりの 3 本柱で、移住者だけでなく県内の人材流出阻止や地域づくりにも着目し、県や市町村は、海士町、小規模多機能自治組織、中山間地域研究センター等のユニークな取り組みをしている。

【島根の強み】は、定住対策予算を充実させ、「オールしまね」で取り組み、定住と若年者県内就職と地域づくりの三本柱の施策である。

また、【小さな拠点づくり】としては、

#### ① 住民主導の取り組みの推進

公民館等の拠点施設で、高齢者のサロン開設(=見守り)

#### ② 生活機能の確保

旧店舗を改修し、小規模の地域運営スーパーを開設。

#### ③ 生活交通の確保

自治会メンバーがボランティアで運転手を担い、地域内を移動する自治会輸送。

#### ④ 地域産業の振興

地域の特産品を産直市で販売。

これらは、行政でできることは各自治体で行い、現場でできることは、「ふるさと島根定住財団」が主に担当している。

一番重要なことは、島根に関する関係性をつないでおく事であり、「人材誘致コーディネーター」を設置している。そして、「しまコトアカデミー」を開催して、関係人口セミナーを東京で7回開き、5期の卒業生が施策・提案しており、参加者の3割が立案した事を島根で施策としていく予定である。例えば、島根で農業をやりたいという案は、就農につなげ、長期体験3か月から1年、月12万の生活費支給している。

また、無料職業紹介として、「くらしまネット」を開設した。

教育魅力化の取組としては、資金調達をクラウドファンディングにし、成長拡散を段階的に実行している。

シングルペアレントには、介護職を斡旋している。

また、海士町では、観光協会が人を雇用し、必要な所へ人材派遣している。

中山間地域対策としては、県の人口減少のほとんどが中山間地域であり、条例制定した。また同時に、中山間地域活性化計画を策定した。小さな拠点をつくり、公民館エリア機能を無理やり一か所に集約するのではなく、地域公共交通でつないでいる。

教育委員会との取り組みは、人材育成であり子供の頃からの教育としての人材育成を行なっている。

【県立高校あり方検討委員会】は、配置・規模・社会的役割など進むべき方向と再編成に関する基本的な考え方を集約し、学校は教育単独でなく、地域振興の中に位置づけている。「島根留学」という学びの環境と地域を守るという違う本質を融合し、教育環境に魅力を感じて、地元の生徒が集まってきている。また、高校を起点として地域と高校を活性化させ、地域とかかわり、生徒一人一人の個人の役割を確保させている。現状は、プラスのスパイラルの状況で、地域と学校を結ぶ職員をコーディネーターとして自治体の財源で確保し、県か



ら指示はせず、地域資源を生かすという方向性を与えている。

県外生募集セミナーは、大阪市、名古屋市、東京都内で開いており、また、地元の小中学校での島根の魅力化の取組を促進している。



鳥取県との質疑応答

鹿熊県議

Q:県立高校の総数は何校か？

A:全日制は34校で、離島と中山間地域で、高校が一つしかない町は8校、23校が中山間地域指定高校されている。

また、県立高校の学級数は、都市部最大は8学級で、平均は3.8学級である。23校が学生寮を所有している。

Q:島根県の高校再編検討会では、1学年2学級ある高校を維持させ、1学年1学級は廃校の方針なのか？

A:議論はそういう雰囲気で行われている。教育委員会として議論の際にお願いしている事が2点ある。小さな拠点づくりの一環や、移住定住対策を含めた、単に学校教育だけではなく、地方創生や地方活性化の観点で色々考えて頂きたいとお願いし、その方向で議論が進んでいる。

#### 中川県議

Q:若年人口が減少する中、若年人口の維持という観点で、小・中・高・保育所を含めて教育の無料化を考えておられるが、これは県外から呼び込むための戦略なのか？

A:小中学生は、親も一緒に移住が必要になるので難しいが、離島の隠岐では、「島留学」として小中学生の生徒を移住対象とした生徒の受け入れ募集をしている。生徒と保護者も共に移住するケースもあるので、取り組みとしてはありだと思う。地域が望めば、その取り組みを地域の強みとして県が支援する形になるが、用途について細かく制限することはない。

Q:その財源はどうするのか？

A:実際は市町村側が起債されるケースがある。1/2 負担なのでそれを前提に考えている。

Q:これは市町村側からの要望でされているのか？

A:これはまちまちである。県立高校と地域の話になるので、取り組みにくい地域もある。離島は三年間の教育で学力のばらつきをまとめるのが難しいので、選択肢を広げたいということもあり、地域によって異なる取組となる。

#### 米原県議

Q:島根県内で私立高校はどれだけあるか？

A:10校である。

#### 瘡師県議

Q:島根県は県外留学が多いと思うが、甲子園の強豪校が県外留学を受け入れている高校が多い事にヒントを得たのか？

A:高校野球の選手に県外留学性が多いのは事実だが、私立だから留学が多いわけではない。

#### 米原県議

Q:私立高校の生徒の減少状況はどうなっているのか？先ほどまで説明された対策は県立高校のみの対策なのか？

A:私立高校も県外からの留学生を取り入れている。特に部活動の生徒を多く取り入れている。ちなみに今年度も約半数の生徒が県外からの留学生になっている。

#### 鹿熊県議

Q:小さな拠点づくりや移住定住対策に力を入れると共に、高校の魅力化活性化と不即不離で、かつ一体的に議論されていて非常に重要な所だと思うが、どうか？

A:教育の魅力化を議論する際に、県の定住部局と協同し、話し合いながら組み立てている。定住施策に重点を置きながら、教育の魅力化はどうあるべきかを慎重に議論している。UI ターンフェアでも定住部局の協力を得て、その一部に学校教育のブースを設けている。そもそも人口減少が激しい島根県の中で、これをどう解消するかという大きな観点を持ちながら、施策がどう絡み合っていくかを考えて実行している。小さな拠点づくりの中でも、住民同士が話し合いながら決めていくので、教育の魅力化についても、住民が高校を残したいのかという意思を持つ時には、まずそこを議論していただいて、定住と中山間支援とを施策に反映することが重要である。このことを施策の中心として構築している。

Q:高校教育である以上は、議論の中で小規模校において教育の質を担保する事が大きなテーマになると考えるが、もちろん両立もできるという前提だと思うが、要になるのは、教員の資質によるのか？

A:まさに中山間のメリットは、少人数であることによる、きめ細かい教育ができる事と、また地域と綿密にかかわる教育ができるのは、小規模であるからこそ企画設置しやすい。子供たちが中山間地域の中に参画して、その中で役割を感じている。そこから、より意欲の高い子供たちが生まれてくると考えている。少人数だからこそ、実行しやすい教育の形を強みとして取り組んでいる。都心の学力競争の中で取り組むのと差が出始めるので、公営塾を設けているのはそういう意味合いがある。補完的な学習環境をいかにサポートしていくこと等を組み合わせながら学習環境を補完して、学校地域も都心に負けない学習環境の質を担保してゆく。

教育委員会としては、教育魅力化の延長線上に県立高校の在り方もあると考えている。中山間地も含めて教育の質の向上のためには、教育の魅力化を進め、

その魅力化の為にはどういう県立高校があればいいのかと考えているところである。

いままで県立高校再編成基本計画において、どの県においても、まず統廃合基準が前面に出て、これをコアに物事を考えていたが、島根県の考え方としては、検討委員の皆様には、「今後の10年の高校教育をいかに進めていくか?」、「その為に器をどうすべきか、学校規模はどうすべきか?」、「教員の人材確保はどうすべきか?」をお話しいただこうと思っている。

これまでは一律的な県全体の基準があったが、今後は中山間地と都市部の二元論的な考え方があってもいいのではないかと思う。長野県では都市部の学校にはその役割があり、多様な生徒を受け入れて切磋琢磨する。一方で地域と連携しながら地域に貢献する人材を作っていく中山間地の学校。このように二元的に学校のありようを考える。長野県ではそういった観点でビジョンを考えておられる。島根県もそれを参考にさせて頂いている。

#### 横山県議

Q:県外の生徒を受け入れた場合、一人当たりの受け入れ費用はいくらか?

人数が増えると負担になるのではないか?

A:島根留学では生徒の減少分を受け入れるので、新たに教員の配置数が増えなければ問題ない。留学生の数は伸びればよいというわけではなく、生徒を増やすのは地域のためだからで、地元から子供たちが来なくなるとは、その地域の高校ではなくなると思うので、あるべき上限を持ちながら戦略的に受け入れる必要がある。

#### 浅岡県議

Q:日本財団の1年につき1億円×3年間の支援制度は、県の教育魅力化の費用と全く別物か?

A:はい。別物です。

Q:イノベーターをこの支援金を利用して派遣してくれる制度か?

A:日本財団は、島根において個人でイノベーションを起こせる人材の取組を支援しており、この取り組みを将来的には全国規模に広げる計画と言っている。

Q:後方とは別の財源なのか?

A:そうです。

#### 山崎県議

Q:島根県では高校再編が地域再生と一体化していて先進県だと思うが、富山県では勉強するために高校へ行くというところに重きを置き、地域を守る観点が希薄である。島根県でも最初にそこを乗り越えるのが一番大変だったと思うがどうか?

A:8校でいまだにむらがあるのはその部分だと思う。地域としての理解を得るのがこの議論のコアになっている。今回の事業の肝になるのは関係者といかに話し合っただけで想いを共通して同じ方向を向いてもらえるか、その為のキックオフ的なお金に近い。その思いさえできれば様々な施策を組み合わせる発想が生まれてくる。いかにその想いを作るかが成功の秘訣になる。安直にお金の支援を受けたいから手をあげます。というのは必ず失敗すると思う。いかに思いがあるからみんなが集まってくる流れを作れるかが成功のカギになる。

#### 大野県議

Q:幼保小中高の連携において、子供たちに故郷愛を持たせて、地元の学校へ行けというのが暗に見えるが、作戦があるのか?

A:地域によってそれぞれ思いがあるが、地域に閉じ込めたいのではなく、そうすると今の子供たちは出て行ってしまいますので、地元にある高校を子供たちが選択肢として選べないことは不幸だと思う。そのために地元の高校がどうあるべきか。そのために小中学校から高校まで、こういう力が育つから選ぶんだという想いをみんなですろえるが、当然専門高校へ行きたいという選択肢があればほかの市町村に行くことはあり得る。子供たちが自分の選択肢を選べるような形を我々は整えるべきだと。だから幼保小中高の連携をやりたいと思っている。

Q:学校再編の論点整理が幅広くて素晴らしい。統廃合ありきという部分も見え隠れするが、違った視点で産業系の高校とか普通科の高校とかのバランスも総合的に考えられている。その中で再編が進んで今ある高校が統廃合になる事がありうると思う。産業系と普通科をどのように考えているのか?

A:普通高校の生徒も専門高校の生徒も育てたい学力・生徒像としては、十分な知識・技能を身につけさせたい。さらに社会の変化に備えながら様々な課題を乗り越えていくための判断力・思考力・表現力、そして多様な方々と共同しながらチームで物事を解決する姿勢・能力を生徒たちに身につけさせたい。これ

が前提で、普通科では一方的な知識注入型ではどうなんだろうかという意見もあり、去年富山県で探求科を拝見させていただいた。専門高校については島根の産業を支える人材を育成すると考え、時代の変化に応じながら地域のニーズを踏まえて、これまでの農業・工業・商業・水産高校の在り方がいいのかも含めて、枠組みも新たなものが必要じゃないかという事も含めて検討していく。

Q:島根留学について、飯南高校を視察して直感的に素晴らしい寮を作り、一年ですぐ新しい寮を作った。あれは不思議だったが、単に増えたからなのか、再編の中で飯南高校を残すと言う意図がある気がするがいかがか？

A:寮については、私が飯南高校の教頭時代に寮の設計をした。飯南高校の取組が背景にあって足りないんじゃないかという判断を頂き、さらに追加で作っていただいた。具体的には議会の視察もいただいてご意見もいただいて実現した。

借上げバスにて宿泊所に移動。

3日目 5月31日(水)

借上げバスにて宿泊所から、米子空港へ移動し空路羽田空港へ移動。

羽田空港から富山空港へ空路移動し、富山空港で解散した。

我富山県が抱える問題である人口減少、高齢化・少子化等の課題を、島根県も地方として抱えているということが、今回の視察における島根県、各市町村の説明から理解できた。富山県と違うのは、島根県農林水産部や地域振興部、教育委員会の皆さん方が、共通課題に対して同じ目標をもって部局横断的に動いているイメージがある点であり、非常に強く感じた。富山県は、それぞれの部局は一生懸命施策を実行するが、一体感をもって目標に向かうという部分が、今後必要のようである。いい意味で施策成功の秘訣を感じさせていただきました。ありがとうございました。

整理番号	820	事業概要*	「富山県人」購読料		
使途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	「富山県人」年間購読料7,000円（平成29年4月～6月） $7,000 \times 3 / 12 = 1,750$ 円				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	富山県人購読料	1,750	29/4～6	3ヶ月	株式会社富山県人社
	《合計》*	1,750			
《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）					

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日

(参考)

政務活動費対象事業実績報告書

報告日\* 平成28年6月9日

報告者\* 宮本 光明

568	月刊誌代				
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
月刊「富山県人」 年間購読料7,000円 (平成28年7月～平成29年6月)					
月刊「富山県人」		5,250	28/7～29/3	7000*9/12	
		5,250			

《領収書貼付枠》 (原則、領)

と。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。

振替払込請求書兼受領証

口座記号簿番号 007405

口座記号簿番号 407

加入者名 株式会社 富山県人社

金額 7000

〒939-2451 富山市八尾町平沢381

依頼人 宮本 光明 様

料 目 附 印

金 28-06-09 杉原郵便局

備考 (32126) N94250002

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

② 7000 × 1/2 = 5,250

③ 7000 × 3/2 = 1,750

收受 平成 28 年 6 月 28 日  
 決裁 平成 28 年 6 月 30 日  
 処理 平成 28 年 6 月 30 日



821		新聞代
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
富山新聞	3072	7月分
聖教新聞	1934	"
公明新聞	1887	"
《合 計》	6893	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

17年 07月分 17年7月26日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 八尾販売所

富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年7月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年7月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

## その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-12809(031)- 2



販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-32769(031)



管理番号	822	事業概要	事務所賃借料			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	年間契約に基づく					
上記中に 使し た 金 額	経費の内容*	金額(円)*	備 考			
	7月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生			
	《合 計》	25,000				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

# 領 収 書

宮本明後様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
浄化槽溝掃料 1戸分家数  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

上記正に領収いたしました

成29年 7月26日

富山県富山市八尾町角間20-1

(有) 八尾衛生

電話 (076) 454-2487番



整理番号	823	事業概要	ガス代			
用途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に費した経費	経費の内容	金額(円)	備 考			
	ガス代	1,035	2分の1の按分 7月分			
	合 計	1,035				

〒939-2303  
富山市八尾町大杉3387

領 収 書

No.5300116-00175-0175

平成29年7月26日

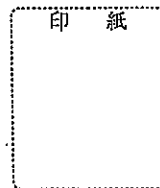
宮本 光明 様

お客様コード 5-530011-32461

2070 円

上記の金額正に領収致しました。

内 訳	1 現金	2070	円
	2 小切手		円
	3 振込		円
	4 手形		円
	期日	年 月 日	
5 相殺		円	
調整	3	円	



担当者印なきものは無効です。

000

締切日 2017-7-20 入金予定日 回収方法 持参

前月繰越高	0	当月お買上高 件数	1	金額	2073	当月御請求高	2073
-------	---	--------------	---	----	------	--------	------

株式会社大内石油

大杉SS  
TEL(076)455-1128

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日

整理番号	824	事業概要*	携帯電話代		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	携帯電話代	3,792	規定より5割	3月利用の4月請求分	/
	〃	7,669	規定より5割	4月利用の5月請求分	/
	〃	3,880	規定より5割	5月利用の6月請求分	/
	《合計》	15,341	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
29-05-01		*7,584	トコモ ケイタイ		
29-05-31		*15,338	トコモ ケイタイ		
29-06-30		*7,760	トコモ ケイタイ		

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日

整理番号	825	事業概要	インターネット接続料		
資金項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 7月27日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	(合 計)	3,747			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日





整理番号	826	事業概要	賃金
使途項目	10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容			

経費の内容	金額(円)	備考
7月賃金	42,500	
《合計》	42,500	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

金額 ¥42500

但 7月賃金  
29年7月26日 上記正に領収いたしました

内訳  
税抜金額  
消費税額(%)

[Redacted Signature Area]

收受 平成 29 年 7 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 7 月 28 日  
 処理 平成 29 年 7 月 28 日

勤 務 実 績 表

平成29年7月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	土			17	月		
2	日			18	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
3	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	19	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
4	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6	20	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6
5	水	9 : 00 ~ 16 : 00	6	21	金		
6	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	22	土		
7	金	9 : 00 ~ 16 : 00	6	23	日		
8	土			24	月		
9	日			25	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
10	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	26	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
11	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6	27	木	9 : 00 ~ 14 : 30	4.5
12	水	9 : 00 ~ 12 : 00	3	28	金	9 : 00 ~ 15 : 00	5
13	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	29	土		
14	金	9 : 00 ~ 16 : 00	6	30	日		
15	土			31	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
16	日						
		小 計	61			小 計	48.5
						合 計	109.5

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

974		事業概要 新聞代	
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
経内内容		金額(円)	備考
読売新聞		3,093	7月分
北日本新聞		3,072	"
日本経済新聞		3,670	"
しんぶん赤旗		5,730	"
《合計》		15,565	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



読売新聞 領収書

区域003-B 金戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町天杉3387

29年 7月分

銘	柄	部数	金額
1	読売新聞朝刊	1	3,093
2			
3			
合計			3,093円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

收受 平成 29年 8月 7日  
 決裁 平成 29年 8月 7日  
 処理 平成 29年 8月 8日


2017年7月分 領収証 発証No.00003144-201707-1

宮本 光明 様

品名	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

大杉3387  
合計金額  
**¥6,742**  
(消費税込み)

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

北日本新聞 

宮本 光明

日本共産党発行の  
**しんぶん赤旗**

様

領収書

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

5,730 円

2017 年 7 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982

富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
TEL 076-441-3001



領収日

扱者

整理番号	975	事業概要	電気代
経費項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電気料	5,547	2分の1の按分 7月分
	合計	5,547	

《領収書貼付

付しきれない場合は、別紙に整理すること。》

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社			
平成 年 月 日	金額	1	1	0
29	7	1	1	0
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会	消費税等相当額(再掲)	821	円
お支払期日	8月21日	精算額(再掲)		円

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。  
ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	11095	821
合計	11095	821

北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

上記金額を領収いたしました。

領収 7月31日 印  
富山市 297402  
5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
(お客さま控)2485

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

收受 平成 29 年 8 月 7 日  
決裁 平成 29 年 8 月 7 日  
処理 平成 29 年 8 月 8 日

整理番号	1109	事業概要	政経文化懇話会会費		
使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容					
上記事業に費した	経費の内容	金額(円)	備考		
	北日本新聞政経懇話会会費	54,000	平成29年7月~12月 平成29年8月2日引落		
	《合計》	54,000			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
29-08-02   *54,000   電カ化					

收受 平成 29 年 8 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日  
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

# 請 求 書

平成 29年 7月 10日

富山県議会議員  
宮本 光明 様

北日本政経懇話会  
会長

〒930-0094  
富山市安住町(八幡町)  
北日本新聞社経営企画課  
TEL076(445)3528  
FAX076(444)9180

平成 29年 下期会費として、下記のご請求額を貴社の指定口座から 平成 29年  
8 月 2 日(水)に引き落とします。よろしくお願ひ申し上げます。

請求金額 54,000円

摘 要	金 額
平成29年下期会費(平成29年7月-12月) 9,000円×6カ月	54,000円
合 計 54,000円	
備考 会費(1カ月9,000円)は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

整理番号	1110	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	日本農業新聞	15,738	平成29年4月～平成29年9月分
	《合計》	15,738	

《領収書貼付枠》 (原則、領

こと。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

払込金受領証

口座番号	001503	通常払込 付金加入 者負担
	百 十 万 円 百 十 円	
加入者名	株式会社 日本農業新聞	
金額	15738	
ご依頼人	おなまえ 宮本光明 様	
料 金	受付日附印 29-08-24 杉原郵便局	
特殊取扱	(32126) N94260005	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印押してください。

收受 平成 29 年 8 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日  
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



平成 29 年 8 月 15 日

請 求 書

請求コード 170-167

宮本 光明 様

株式会社 日本農業新聞  
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-37  
電話 03-5295-7407 (販売管理部直通)



品 名	摘 要	部 数	請求金額(税込)
日本農業新聞	平成 29 年 4 月～9 月分 (@2,623×6 か月)	1 部	¥15,738 円
備 考			
口座名:株式会社 日本農業新聞 取引銀行:農林中央金庫 本店 (普) 4075750 みずほ銀行 上野支店 (普) 1714221 三菱東京 UFJ 銀行 神田駅前支店 (普) 1737168			

整理番号	1111	事業概要	事務所賃借料								
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容	年間契約に基づく										
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考								
	8月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生								
	(合計)	25,000									
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)											

收受 平成 29 年 8 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日  
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

# 領 収 書

富本光明後援会事務局様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
浄化槽清掃料 8月分家賃  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

上記正に領収いたしました

平成29年 8月24日

富山県富山市八尾町角間20-1  
(有) 八尾 衛 生  
電話 (076) 454-2487番

収入印紙  
日本郵政

整理番号	1112	事業概要	電話代		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	電話料	2,655	2分の1の按分 8月分		
	《合 計》	2,655			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を電話料金等払込受領証に貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行郵便局でお支払いの場合は、左側2枚をお出しください。右以外でお支払いの場合は切り取らないでください。

電話料金等払込受領証

西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2017年 8月ご請求分

金額(円)  
¥5,310-

受取人  
NTTファイナンス株式

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

領 取 日 附 印  
77.8.17  
29140

収入印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 29 年 8 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日  
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

整理番号	1113	事業概要	インターネット接続料		
使分項目	09_事務費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)△	備 考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分、8月28日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	《合 計》*	3,747			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 8 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日  
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



61

1186	富山県市町村職員録		
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
金額(円)			
富山県市町村職員録		6,000	
		6,000	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

<b>領 収 書</b>
富山県議会議員 宮本光明 様
<b>¥6,000</b>
富山県・県市町村総合職員録 (1冊) 上記の金額を領収致しました 平成 29 年 8 月 25 日
(株)富山県市町村新聞社 代表取締役 瀬 安 住 〒930-0094 富山県 安住町 7番 14号 電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番

平成 年 月 日  
平成 年 月 日  
平成29年8月25日

処理

1194		新聞代
07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	

品名	金額	備
読売新聞	3,093	8月分 /
北日本新聞	3,072	" /
日本経済新聞	3,670	" /
しんぶん赤旗	5,730	" /
富山新聞	3,072	" /
聖教新聞	1,934	" /
公明新聞	1,887	" /
	22,458	/

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



読売新聞 領収書

区域003-B 全戸0033

お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

29年 8月分

銘	柄	部数	金額
1	読売新聞朝刊	1	3,093
2			
3			
合計			3,093円

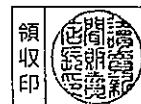
◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

YC 八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609

YC 大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



※裏面もあわせて内容を十分お読みください

収受 平成 29 年 9 月 1 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 5 日  
 処理 平成 29 年 9 月 6 日



2017年8月分 領収証 伝票No.00003144-201708-1

宮本 光明 様

大杉3387

品名	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

合計金額 **¥6,742**  
(消費税込み)

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

北日本新聞

宮本 光明

日本共産党発行の  
**しんぶん赤旗**  
領収書

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

5,730 円

2017 年 8 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
TEL 076-441-3001



領収日 / 振替

領収証

17年 08月分 17年8月28日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)

富山センター 八尾販売所

富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年 8月分 領収日 月 日

領収金額	¥1,934
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年 8月分 領収日 月 日

領収金額	¥1,887
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-12809(031)-1

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-32769(031)

整理番号	1195	事業概要	ガス代			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に用いた経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	ガス代	970	2分の1の按分 8月分 /			
	(合計)	970				

〒939-2303  
富山市八尾町大杉3387

領収書

NO.5300116-00173-0173

H29年8月28日

宮本 光明 様

お客様コード 5-530011-32461

¥ 1,940 円

上記の金額正に領収致しました。

ガス代

内訳	1 現金	1,940	円
	2 小切手		円
	3 振込		円
	4 手形		円
	期日	年 月 日	
5 相殺		円	
調整	4	円	



担当者印



担当者印なきものは無効です。

000

締切日 2017-8-20 入金予定日 回収方法 持参

前月繰越高	当月お買上高 件数	金額	当月御請求高
	0	1,944	1,944

株式会社大内石油

大杉SS  
TEL(076)455-1128

收受 平成 29 年 9 月 1 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 5 日  
 処理 平成 29 年 9 月 6 日

整理番号	1196	事業概要	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記に記入した内容	経費の内容	金額(円)	備 考
	電気料	6,097	2分の1の按分 8月分 /
	(合 計)	6,097	

《領収書貼付

電気料金振込依頼書兼領収書

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

受取人	北陸電力株式会社			
年 月 日	29	8	金額	12194
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会			消費税等相当額(再掲) 円 903
お支払期日	9月21日			精算額(再掲) 円
この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。				
ご使用場所	富山市	八尾町大杉	3387	

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	12194	903
合計	12194	903

北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を領収しました。  
0.024  
17,830  
富山市  
5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
(お客さま控)2485

收受 平成 29 年 9 月 1 日  
決裁 平成 29 年 9 月 5 日  
処理 平成 29 年 9 月 6 日

管理番号	1197	事業概要	賃金
使用項目	10_人件費	01_調査研究費 ・02_研修費 ・03_広聴広報費 ・04_要請陳情等活動費 ・05_会議費 06_資料作成費 ・07_資料購入費 ・08_事務所費 ・09_事務費 ・10_人件費	
内容			
上記事業費に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	8月賃金	42,500	
	(合計)	42,500	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

金額 ¥42500

但 8月賃金  
29年8月28日 上記正に領収いたしました

内訳  
 税抜金額 \_\_\_\_\_  
 消費税額(%) \_\_\_\_\_

GR1417

收受 平成 29 年 9 月 1 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 5 日  
 処理 平成 29 年 9 月 6 日

勤 務 実 績 表

平成29年8月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	火			17	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
2	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	18	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7
3	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	19	土		
4	金			20	日		
5	土			21	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
6	日			22	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
7	月	9 : 00 ~ 16 : 00	6	23	水		
8	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7	24	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
9	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	25	金		
10	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	26	土		
11	金			27	日		
12	土			28	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
13	日			29	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
14	月			30	水	9 : 00 ~ 12 : 00	3
15	火			31	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
16	水						
		小 計	41			小 計	59
						合 計	100

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

整理番号	1273	事業概要	水道代 8月請求分		
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容					
行 政 費 用 領 収 書 記 録 簿 記 入 用 紙	経費の内容	金額(円)	備 考		
	水道料	4,417	2分の1の按分		
	合 計	4,417			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

平成 29 年度 富山市水道料金等  
納入通知書兼 領収書

お客様番号 [ ]

使用所 宮本光明後援会事務所 様

納入者 宮本光明後援会事務所 様

発行日 平成 29 年 9 月 1 日

納期限 平成 29 年 9 月 15 日

給水装置場所 富山市八尾町大杉 3387

使用期間	平成29. 6. 4~平成29. 8. 2
口径	13 mm
用途	営業用
上水道使用水量	34 m <sup>3</sup>
下水道使用水量	34 m <sup>3</sup>
し尿くみ取り日・量	月 日 日 日 日 日

水道料	3,823円
内消費税	( 283円)
下水道使用料	5,011円
内消費税	( 371円)
し尿くみ取り手数料	0円
内消費税	( 0円)
合 計	8,834円
内消費税	( 654円)

領収日付印

富山市上下水道事業管理 富山市上下水道事業管理課 富山市上下水道局

富山市上下水道局 富山市上下水道事業管理課 富山市上下水道局

出納・収納取扱金銀振替 富山市上下水道事業管理課

口座番号 00720-5-960609 (納)電算システム

加入者名 富山市上下水道事業管理者 (お客様さま控)

收受 平成 29 年 9 月 7 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 8 日  
 処理 平成 29 年 9 月 8 日

報告者\* 宮本光明

管理番号	1396	事業概要	新聞代			
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考			
	富山新聞	3,072				
	公明新聞	1,887				
	聖教新聞	1,934				
	《合 計》	6,893				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 9 月 26 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 26 日  
 処理 平成 29 年 9 月 26 日



領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

## 領収証

17年 09月分 17年 9月26日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売 (株)

富山センター 八尾販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当

購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

L

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年 9月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年 9月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934 ☆

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

## その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-32769(031)

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-12809(031)

整理番号	1397	事業概要	事務所賃借料		
使金項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容	年間契約に基づく				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考		
	9月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生		
	合 計	25,000			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 9 月 26 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 26 日  
 処理 平成 29 年 9 月 26 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

収入印紙	
2000	
大杉	
領 収 書	
宮本和俊様事務所様	
¥ 50000.-	円也
但し、汲 取 料	平成29年
浄化槽清掃料	9月分 家賃代
浄化槽維持管理料	
消 費 税	
上記正に領収いたしました	
平成 29年 9月 25日	
富山県富山市八尾町角間20-1	
(有) 八 尾 衛 生	
電話 (076) 454-2487番	

経理番号	1398	事業種別	電話代
使途	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
経費の内容	金額(円)	備考	
電話料	2,513	2分の1の按分 9月分	
《合計》	2,513		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を電話料金等払込受領証に貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行郵便局でお支払の場合は、高額の振込をお出しください。上記以外のお支払の場合は、必ず領収書を取り取らしてください。

電話料金等払込受領証  
西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2017年 9月ご請求分

金額(円)  
¥5,027-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

領収日 附印  
052439  
17.9.15  
ローソン  
富山八尾店

収入印紙貼付機  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 29年 9月 26日  
 決裁 平成 29年 9月 26日  
 処理 平成 29年 9月 26日

整理番号	1899	事業概要	インターネット接続料								
使途項目	09_事務費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容											
記帳要領	経費の内容	金額(円)	備 考								
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 9月27日引落								
	メールアドレス追加	129									
	デジタルスタンダード	1,728									
	インターネットセット割引	-540									
	合 計	3,747									
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)											

収受 平成 29 年 9 月 26 日  
 決裁 平成 29 年 9 月 26 日  
 処理 平成 29 年 9 月 26 日



報告者\*

宮本光明

76

1460		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年9月4日	から	富山県MOA議員連盟 県外視察			
平成29年9月5日	まで	(内容)		(備考)	
掛川・熱海		別紙のとおり			
鉄道・バス		58,140	宿泊料		12,100
タクシー			食事代		3,000
航空機					
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		73,240
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

# 領 収 証

No. 19375

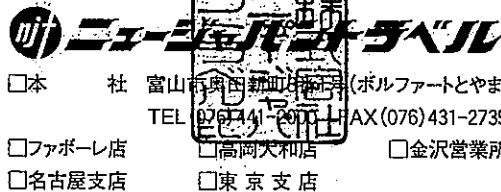
富山県議員 宮本光明 殿

平成29年9月28日

¥ 76,500- (税込)

但しMOA議員連盟視察費として

上記の金額正に領収致しました



本社 富山県奥野町新田 (ボルフアートとやま)  
 TEL (076) 431-2900 FAX (076) 431-2735  
 ファボーレ店  高岡大和店  金沢営業所  
 名古屋支店  東京支店

H27.8. 2×50×100 ㊞

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成29年9月28日

宮本光明

富山県議会 MOA議員連盟

月 日 平成29年9月4日(月)～5日(火)

参加者 中川 宮本 山崎 井上 藤井 藪田

筱岡 山本 鹿熊 (9名)

項目	内 訳	単価	政務活動費	個人負担
宿泊代	2名1室利用 1泊2食付	18,360	15,100	3,260
JR代	富山駅発着	58,140	58,140	
		76,500	73,240	3,260



富山県議会 MOA議員連盟

月 日 平成29年9月4日(月)～5日(火)

参加者 中川 宮本 山崎 井上 藤井 藪田 筱岡 山本 鹿熊 (9名)

項目	内 訳	単価	数	名 前	金 額
宿泊代	2名1室利用	18,360	6	中川 宮本 藤井	110,160
				筱岡 山本 鹿熊	
	3名1室利用	16,200	3	山崎 井上 藪田	48,600
JR代	新高岡駅発着	59,640	3	藪田 筱岡 山本	178,920
	富山駅発着	58,140	5	中川 宮本 山崎	290,700
				井上 藤井	
黒部宇奈月駅発着	54,780	1	鹿熊	54,780	
					683,160

平成29年9月12日

# 請 求 書

自民党富山県議会議員会政調会  
富山県MOA議員連盟 様

観光庁長官登録旅行業第818号 JATA正会員  
株式会社ニュージャパントラベル  
富山市奥田新町8番1号ビル7Fとやま1F  
Tel.076-441-2000 Fax076-431-2735

## 記

\*日時 平成29年9月4日(月)～5日(火)

\*人数 9名様

\*方面 掛川・熱海

### \*費用項目

1	宿泊代(2名一室利用)	@18,360	×6名	110,160 円
	宿泊代(3名一室利用)	@16,200	×3名	48,600 円
2	JR代(新高岡駅発着)	@59,640	×3名	178,920 円
	JR代(富山駅発着)	@58,140	×5名	290,700 円
	JR代(黒部宇奈月温泉駅発着)	@54,780	×1名	54,780 円
合計				683,160 円

御請求金額 683,160 円

\*誠に勝手ながらお支払いは平成29年9月22日迄にお願い申し上げます。

\*お振込みの場合は下記の金融機関口座にお願い致します。

北陸銀行 奥田支店 (当)4038850

口座 (株)ニュージャパントラベル

9/4 9/5

平成29年6月19日

MOA議員連盟  
会 員 各 位

MOA議員連盟  
代表幹事 中川 忠昭

### MOA議員連盟県外視察について

先般よりお知らせしておりました県外視察について、下記の通り開催いたしますのでご参加願います。なお、視察参加希望の有無を、別紙により、6月27日(火)までに自民党控室へご連絡くださいますようお願いいたします。

#### 記

1. 実施日 平成29年9月4日(月)～ 5日(火)
2. 行 先 静岡県掛川市・熱海市
3. 日 程

月日	時間	行程	月日	時間	行程
9/4 (月)	7:37	高岡駅 発 はくたか554号	9/5 (火)	A M	MOA美術館視察 他
	7:47	富山駅 発		12:59	熱海駅 発 こだま646号
	7:59	黒部宇奈月温泉駅		14:24	東京駅 発 はくたか567号
	10:56	東京駅 発 こだま649号		16:44	黒部宇奈月温泉駅 着
	12:38	掛川駅 着		16:57	富山駅 着
	昼食後		17:06	高岡駅 着	
		掛川市役所訪問 他			
		熱海温泉 泊			

平成29年8月7日

観光庁長官登録旅行業第818号 JATA正会員

(株) ニュージャパントラベル

富山市奥田新町8番1号 ホルファートとよま1階

TEL076-441-2000 FAX076-431-2735

# 富山県議会MOA議員連盟 掛川視察 様

期日：平成29年9月4日(月)～5日(火)

人数：11名様

月 日	行 程
9/4(月)	<p>7:37発 新高岡駅<small>はくたか554</small> 7:47発 富山駅 16:58着 掛川駅<small>こだま662</small></p> <p>7:59発 黒部宇奈月温泉駅<small>はくたか554</small> 10:40着 東京駅<small>こだま649</small> 12:38着 掛川駅</p> <p>16:05発 掛川駅<small>こだま662</small> 到着後、宿泊ホテルへ ※徒歩3分</p> <p>16:58着 熱海駅 16:57着 富山駅 17:06着 新高岡駅</p> <p>MOA視察及び昼食後、駅へ 熱海駅<small>こだま646</small> 東京駅 黒部宇奈月温泉駅 富山駅 新高岡駅</p>
9/5(火)	<p>《概算費用》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆JR新幹線(グリーン席)</li> <li>◆宿泊ホテル(1泊2食)</li> </ul> <p>お一人様合計</p>
	<p>【新高岡発着】</p> <p>59,640円</p> <p>16,350円</p> <hr/> <p>75,990円</p> <p>【富山発着】</p> <p>58,140円</p> <p>16,350円</p> <hr/> <p>74,490円</p> <p>【黒部宇奈月温泉発着】</p> <p>54,780円</p> <p>16,350円</p> <hr/> <p>71,130円</p>

### 《宿泊ホテル》

名称：湯宿一番地

住所：静岡県熱海市春日町1-2

電話：(0557)81-3651

県外・海外政務活動報告書

平成29年9月11日

整理番号		会派・議員名 富山県MOA議員連盟
活動名称	MOA議員連盟県外視察	
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療の連携体制を調査</li> <li>・美による情操教育に貢献している美術館の活動と役割りを調査</li> </ul>	
日程	平成29年9月4日（月）～ 平成29年9月5日（火）	
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター MOA美術館	
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	対応者 ・静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター 地域医療推進課 大竹課長 野崎さん ほか2名 ・MOA美術館 総務部管理課 ████████ 課長 参加者 中川忠昭 宮本光明 山崎宗良 井上学 藤井裕久 藪田栄治 筱岡貞郎 山本徹 鹿熊正一	
行程・活動内容  別紙添付 参照		

※日帰りの政務活動を含む。

自由民主党富山県議会議員会  
MOA議員連盟県外視察報告書



<視察日程>

平成29年9月4日(月)～9月5日(火)

<視察場所>

静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター及びMOA美術館

<メンバー>

鹿熊正一、中川忠昭、宮本光明、山本徹、篠岡貞郎、藤井裕久、

井上学、藪田栄治、山崎宗良

9月4日(月)静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター

対応者:地域医療推進課長大竹さん、地域医療推進課 野崎さん、ほか2名

●中川会長あいさつ

厚労大臣賞を受賞されている新しい拠点医療の取組を勉強させていただきたい。

●地域医療推進課長大竹さんあいさつ

掛川市では、医療資源不足の不安と超高齢化社会、家族構成変化への対応、垣根のない支援の必要性から、地域と共に成長していける地域包括システムとして、生き福祉医療支援センター「ふくしあ」を開設した。

「ふくしあ」という愛称は、福祉と幸せを表している。

●地域医療推進課 野崎さんプレゼン

掛川市では希望が見える街、誰もが住みたくなる街を目指して、教育文化・環境・健康子育て日本一の街づくりを目指している。

人口は4月で117,885人高齢化率が25.8%です。県は28.2%で、比較的若い地域。超高齢化社会と少子化を抱える日本の現在、人の生き方を考えることは重要。市の特徴は全国初の木造復元された掛川城天守閣、深蒸し茶の生産が盛ん。掛川市を中心とした4市1町にまたがる伝統ある茶草場農法が世界農業遺産に認定され、平成30年には26年ぶりとなる皇室への献上が決定した。

昨年3月には市議発議で掛川健康医療基本条例を制定。健康長寿を目指す中で生涯お達者市民推進プロジェクトを進めており、これからの生き方をみんなで考えていく環境づくりに取り組んでいる。今年の5月に市民総ぐるみで掛川お達者市民を目指すことを決定しました。市民主体で地域づくりを進める街づくり協議会の活動も市内全域で始まっている。超高齢者社会の中で社会保障制度を支えるために、国では病院から在宅へ、医療から介護へシフトさせようとしている。

当市では高齢者政策の延長線上での地域包括ケアシステムではなく、本来の垣根のない支援を目指して総合支援体制の構築と合わせてシステムを市民も支え、上手に利用できるように育成する点を重視。

地域包括ケアシステムの構築は、人と人をつなぐネットワークであると同時に街づくりでもある。

私たちの地域でも以前から医療や介護の連携を進めてきたが、次の4つがきっかけとなって動きが加速した。

- ① 医師や看護師の不足を発端とした地域医療の危機を乗り越えるために、袋井市と共に中東遠総合医療センターの開院に合わせて、新たな医療連携体制を構築
- ② 家族構成の変化により家族のサポート力が低下したことで、包括のケースも非常に対応困難なものが多くなってきた。
- ③ 今後の超高齢化の進展・社会変化に目を向けると、変化に応じて対応可能な支援体制を取らなければならない。これには地域を見て活かすことが重要。
- ④ 何らかの支援が必要だが法律や制度の隙間に落ちてしまい、支援に結びつかないものや、問題が複雑化し問題の中心が若い世代にあってその対応が必要など、垣根のない支援体制が必要だった。

そこで地域と共に成長していける地域包括ケアシステムの構築が必要で2025年に対応できるよう

にするために、地域性を重視し支援力を高めるために総合支援体制の構築、専門職の支援の力だけではなくインフォーマルなサービスで支えるために地域力の向上に取り組んでいる。

主役である住民がサービスを上手に利用できると共に生きることの選択ができるよう住民性の育成といった部分を視野に入れて地域健康医療支援センター「ふくしあ」の整備に着手した。

次に病院希望の丘ふくしあについて説明します。

体調が悪くなると掛り付けの開業医に掛ることが基本となるが、このような在宅を中心とした外来や往診が一次医療。

掛り付け医から紹介してもらい入院治療や専門的な検査を行うのが二次医療。当市の場合、主に地域包括ケアシステム総合医療センターが二次医療の機能を担っている。救急車で搬送されるような症状も含まれる。

さらに高度な専門性が必要なケースや難病の治療を行う三次医療がある。西部にある浜松医科大学付属病院や県立がんセンター、政令病院などが該当。

入院治療で改善すると多くは掛り付け医に逆紹介してもらい在宅に戻る。低下した機能回復のリハビリテーションや長期にわたる慢性の治療が必要な場合には、回復リハビリテーションのある病院や療養型の病院へ入院して治療継続するケースもある。症状が思うように改善されない場合には介護施設などを活用することもある。市民からすると体調が悪くなれば医療機関を利用するが、治療後生活支援としっかり繋がなければならない。地域医療では上手な病院の利用の仕方と共に、退院支援が重要。

行政が関わることで施設単体の整備で終わるのでなくそれが活かされる基盤整備に取り組むことが可能となった。

掛川市では地域完結型の医療体制整備と地域包括ケアシステムの構築を進めていて、①市民の健康を守る財政政治として全国初の自治体同士の統合となる中東遠総合医療センターを開院。②急性期病院の後方支援機能を高めることを主軸に医療・保健・福祉・介護・教育の中核ゾーンとして旧市立病院の跡地を希望の丘として整備した。③在宅生活を総合的に支援する地域拠点として市内の5カ所にふくしあの設置を行い、これらが連携して連続性のある支援体制を目指す面的な整備を行います。

これにより地域包括ケアの視点を取り入れた、他市にはないハードとソフト両面における独自の支援体制が確立された。

#### 希望の丘について

希望の丘は新幹線掛川駅から車で約5分程度で東名掛川インターチェンジに隣接していて市街地循環バスが運行する交通至便の市街地にある。広さ約8haの土地を様々な施設の集積地とするエリアとして整備。健康子育て日本一を目指す強いメッセージとなっている。市民に開かれ大学のキャンパスのように美しくをテーマとして幼児・高齢者の世代間交流や多様な利用者間相互のふれあい理解の提供、さらには市民の健康意識の高揚を図る場へとつなげることを目標としている。

#### 希望の丘の施設 16分2秒

静岡県立掛川特別支援学校・掛川東病院(リハビリ機能)・桔梗の丘(介護福祉施設)・びのほ一ふ生活介護事業所・特別養護老人ホームラស់ル掛川・掛川のぞみ保育園・障害児学童保育所はるかぜ・掛川市中部地域健康医療支援センター中部ふくしあが同じ場所に隣接している。

中部ふくしあ棟には、掛川中間診療所・静岡県看護協会中東遠支部・掛川市介護支援専門員連絡協議会・若者サポートステーション掛川など協力団体が入所している。



各施設の代表者で構成される希望の丘事業者連絡協議会では、地元区長をはじめ医師会・歯科医師会・薬剤師会を含めた希望の丘運営委員会を定期的に開催し情報共有・連携が行われる。

希望の丘は、幼児から高齢者まで世代間交流や医療機関相互のふれあい機会提供、市民の健康意識の高揚を図るなど様々な交流が行われる。

百本桜事業で様々な願いが込められた桜が植樹され、地元高校生による桜コンサートも行われる。

障害者・子供・高齢者がスポーツでふれあい、様々な活動や個性を差別なく認め合えるイベントとして、リオパラリンピックで活躍した掛川市出身の山本篤選手(陸上)をはじめとする講師により、陸上競技やショートテニスなど楽しい時間を過ごした。

のぞみ保育園では現役力士を招いて餅つき。隣の老人ホームの利用者も一緒に暖かな交流を楽しんだ。

ふくしあは正式名称は、掛川市地域健康医療支援センターで、愛称のふくしあに込めたのは医療保険福祉介護の4要素を大枠で福祉にとらえ、全てという意味でa→あでつなげている。ふくしあは花の名前にもあり、花言葉は温かい心です。介護を必要とする方への家族の暖かい思いやる気持ちや、各家庭の福祉全般を気遣うことができる市を表す。

中東遠圏域の人口10万人当たりの医師数は134人。全国平均の232人や静岡減の193人に対して大変少ない。この状況を考えてふくしあを設置した。多くの住民の願いである住み慣れた地域で安心して最期まで暮らせるよう医療保険福祉介護の職種連携によって総合的に支援を行う地域拠点となっている。

基本的構成団体は、①総合相談や全体のコーディネートの役割を持つ行政、②高齢者の総合支援を行う地域包括支援センター、③地域の育成や見守りネットワークの構築などを行っている社会福祉協議会、④在宅医療を支える訪問看護ステーションの4団体です。

ふくしあは民間のノウハウと行政の力を合わせて活動する半官半民の総合力と言える。

昨年度5つのふくしあが対応した相談件数は、のべ32,194件、ケース会議が2,298回、地域育成を図る地域活動の支援はのべ2,842回、健康教育・相談などの健康支援活動がのべ416回。

ふくしあは支援の柱は、①在宅医療支援、②在宅介護支援、③生活支援、④予防支援の4つ。在宅生活は4つが上手に調整されていないと良い支援とならず在宅生活を維持できない。

30分で駆け付けられるように、東部ふくしあ、南部大塚ふくしあ、南部大東ふくしあ、西部ふくしあ、中部ふくしあは5カ所で支援している。同じ市の中でも北部(山間部)と南部(海側)では、住み方や考え方に特性があり地域資源にも差がある。地域と共に歩み対象エリアの特徴をとらえながら、各ふくしあがそれぞれできる形を展開している。市の政策で主に集約化・効率化が進められてきたが、ふくしあは機能については地域で活動する必要があると考えて、あえて5カ所に設置している。

#### ふくしあは5つの特徴

##### ① 専門職による多職種連携

入所4団体は多くの専門職が携わる。通常はそれぞれの団体が個別に業務を行い、必要に応じて連携を図っているが、多職種が連携することにより支援の幅が広がり的確な支援につながっている。

それぞれのふくしあで構成人数が違っている。最小人数の大塚ふくしあは、訪問看護ステーションが大東ふくしあと連携しているため9名。一番多数の中部ふくしあと大東ふくしあは24名。ふくしあ内、ふくしあ間の連携を図ることで、市民生活を支援する最前線として約100名がチームとして

活動している。

社会変化の中で支援の在り方が変わっていくことが考えられ、専門職間で支援の在り方を模索し、必要な支援を生み出していけるように、医療保険福祉介護のそれぞれの分野を背負った専門職が意見を交わすことが必要。そのためにある程度の大きさを持った地域区分(5地域)になった。

## ② 執務室のワンフロア化

ワンフロア化によって多職種連携を促進している。迅速な総合支援のために入所 4 団体の執務スペースが 1 つの部屋となっており、訪問から帰ってくるとすぐに執務室で多職種で情報共有でき、支援についての話し合いができるようになっている。

## ③ アウトリーチの重視

本当に必要な人に支援を届かせるため、地域からの情報を得るために重要な位置づけとなっている。相談に来ることができなかつたり、どこに相談していいかわからないまま、状態が悪化していく方もいる。地域から情報をもらったときはできるだけ早めに外へ出向いて相談に対応するよう心掛けている。

## ④ 垣根のない支援

支援対象は高齢者だけでなく子供や障害のある人、医療や介護が必要な人など、年齢や状態で垣根ができないよう支援をしている。住民の生活を守るために各課が法律や制度を活用して支援している。実際には各制度に複合的に関わったり、制度の狭間に落ち込んで支援が受けにくいケースがある。ふくしあでは行政や各団体を含めて縦割り意識を解消して、総合的な対応に結びつけ、また地域も重要な力だと考えた職種連携と合わせて、地域にある見守りネットワークなどインフォーマルなサービスを利用した緩やかなサービスも組み合わせて利用している。

健康寿命の延伸、住民生活の質向上には若年層からの支援が重要。各ふくしあでは、ふくしあ健康相談・健康講座・さらにはアウトリーチを生かした活動を行っている。福祉や高齢者子育ての関係者ともリンクした連続性のある取り組みになりつつある。

このような健康づくりを基盤に地域の包括ケアシステムを活かすことのできる環境も同時に作っていかねばならない。問題の解決を公助だけに頼るのではなく自助や共助で対応できるようにするために、住民自らが問題解決できるよう地域力を育てることが重要。

## ⑤ 予防的視点を重視した活動

ふくしあで対応する相談は、経済面・医療支援・障害の問題・介護の方法など多岐にわたる。生活を取り巻く問題は多種多様で、それらは時間の経過と共に複雑に絡み合っただけで難しい問題になっていく。あくしあへの支援は複雑に絡み合ったケースに対して、異業種、異業種間、多職種連携によって総合的な支援を行うことが一つのポイント。しかし実際には支援にあたって問題が表面化してきた時には長期入院や施設入所、経済面では生活保護以外に手の出しようがなく、悔しい思いをすることも時々ある。ふくしあへの支援ポイントとして大切にしているものは、生活の質を高めるために地域からの情報発信を受け止め、問題が重症化する前に早期に総合支援体制につなげることである。健康だけでなく生活に関しても予防的観点から取り組むことが大切だと感じている。

### ふくしあへの活動事例

#### ① 在宅療養の 30 歳代の末期がんの女性の家庭を支援

末期がんの女性を開業医と訪問看護で支え、さらに安心して療養できるように包括ケアマネージャーと連携し、両親の介護支援を行った。そして社会福祉協議会が民生児童委員や地域と連携し見守りネットワークの構築、行政が学校との連携や各種制度を活用しチームで役割分担しながら支援。末期がんの女性が亡くなった後も女性の保健師が折を見て訪問し継続的に支援している。

#### ② 精神障害がある方とその両親を支えた例

きっかけは精神疾患や糖尿病の疑いのある長男について心配した母親と叔母がふくしあに相談。長男の症状改善のために急性期病院と精神科病院と連携を図り治療につなげた。その後医療機関から訪問看護へつながって内服管理や体調管理を行った。高齢で足が不自由な父について介護保険の申請を行いデイサービスの利用が開始された。父と母の支援、そして世帯全体の生活の問題についてそれぞれの支援者、地域の民生委員参加のもと多職種連携による地域ケア会議を開き、この世代の課題や支援の方向性について話し合う。行政は全体のコーディネートを行ってこの世帯に関わる支援者がチームとなって対応。その結果世帯全体の課題として医療費・生活費など金銭面の問題が心配され、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業へとつながった。そしてなにより地域見守りネットワークにも結びつき地域力の素晴らしさと温かさを感じた事例。

このように多職種連携により、最初の個人だけでなく様々な問題を抱えた家族を含む支援が可能になった。ふくしあは地域拠点なので、地域の方から情報をいただいて支援がスタートするケースも多く見受けられる。

このように地域と連携することで見えてきたことがある。

一つ目は、ふくしあには地域から色んな情報が入ってくる。ケアマネージャーはもちろん民生委員、地区福祉協議会、見守り支援員、地区サロン、医療機関や行政健康相談など、実態把握の活動の成果が表れてきている。ふくしあのコミュニティーソーシャルワーカーの支援によって地区福祉活動の活発化から、地域からも情報が入りやすくなるなど良いサイクルになって来ている。

二つ目に、多職種の関わりが単なる情報伝達でなく、双方向で協議できるような連携体制に進化できたことである。支援における様々な課題に対して話し合う環境が整った。地域の力を信頼しながら地域包括ケアシステムの構築ができているという点です。昨年市民によるまちづくり協議会が市内全域に整ったこともあり、生きることの主役である地域の皆さんと共に考え歩む場面が徐々に増えてきていると感じる。このような地域との活動の中で得た情報や専門職からの情報を活かして政策へとつなげることが重要。関係団体から双方向の政策提言力もふくしあの持つ大きな意味であり、この部分が地域性を考慮した支援につなげていけるものだと考える。

#### 【住民からの感想】

- どこに相談すればいいかわからなかったが、適切な部署や制度につなげてもらった。
- 日中独居の母親のことを相談したら見守りネットワークを築いてもらい安心して仕事に行けるようになった。

#### 【ふくしあの専門職からの感想】

- 地域の中で潜在化硬直化していた問題を関係者が連携し支援する中で見守り推進員など地域住民の協力者も増えネットワークが広がった。

#### 【大学実習生の感想】

- 保健師さんがとても迅速に対応するのを目の当たりにでき、とても刺激的で貴重な体験ができた。

ふくしあの開設によって4団体が抱えていた課題を外部的関係機関と連携することで根本的な機能向上が図られた。支援においては専門職がチームで対応することで、対象者個人のみならず家族全体の問題として対応できるようになったため、健康・障害・経済など根本的問題への対応力が向上した。

最近の相談は生活習慣病はじめ介護・貧困・虐待・うつ・孤独死・自殺など多岐にわたる。昨年度ふくしあの行政関わった約3,700件のうち4割は問題が複合化しているケースです。ふくしあは在

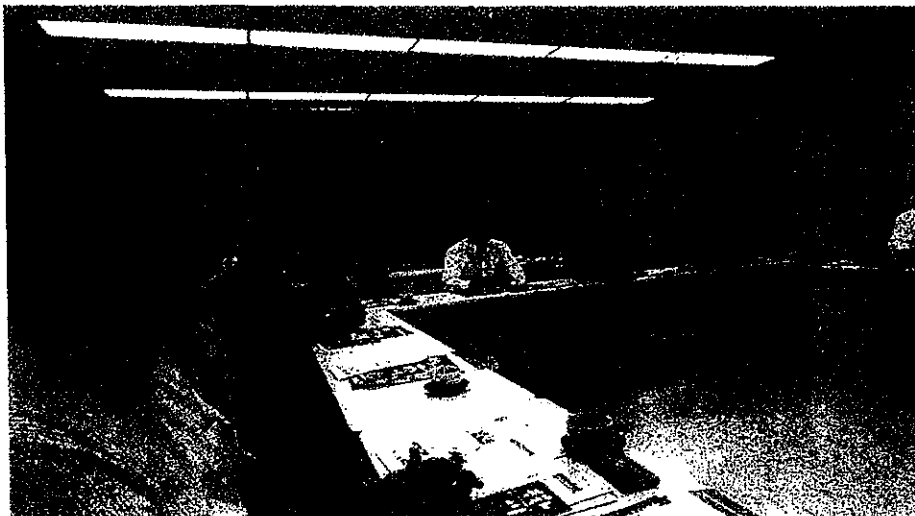
宅生活における総合支援の地域拠点であるということでケアマネはもちろん民生委員や見守り支援員などから情報が集まる。そのことで潜在化していた問題が早期対応可能になった。職種で対応しているため問題へのアプローチの多様化や、医療と介護の連携強化など、地域ケア会議の開催や地域への意識啓発など対応幅が大きく広がった。

掛川市の社会福祉協議会が構築してきた地域福祉活動がふくしあの活動に呼応して市内の 32 地区で活発に行われるようになり見守りネットワークの構築も現在 109 カ所で活動し力を発揮し始めている。

在宅福祉の訪問看護は市内の訪問看護ステーションの利用実績は、平成 20 年には約 16,000 件だったが昨年度(平成 28 年度)は年間 26,000 件となり着実に増えている。更なる活動の強化に向けて現在の重要な課題として事態の把握時には問題が複雑に絡み合っている支援の選択肢が狭まることが多いため健康面生活面に加えて予防的な活動の重要性を強く感じている。

実際に生活上のすべての支援をふくしあだけで解決することはできません。45'55"地域にある多くの力と協力し合って住民から見るとワンストップ的な対応に近づくことができるようにした。

最後になりますが、ふくしあは花の名前と説明しましたが、なかなか難しい花で水をあげないとすぐに枯れてしまったり、あげすぎても腐って枯れてしまいます。ここから私たちが学んだことは、私たちの支援の在り方についても必要な支援をしなければ住民の生活が悪くなってしまいますが、支援をしすぎてしまっても本来人が持っている生きる力を失わせるということでした。これはふくしあという花から教えてもらったとても良い教訓となっています。以上です。



### 【意見交換概要】

Q: 行政の縦割りの隙間を埋める活動を沢山されているが、地域住民参加についての工夫されている点はあるか。

A: 住民参加は、社会福祉協議会が得意とするところだが、その地域に必要としている活動を把握し、地域に見合った活動を積極的に実施することになっている。うまくいくと次の力になる。

Q: 具体的な事例があれば紹介して欲しい。

A: 共助だけで成功した事例だが、母親の日中独居が心配の息子さんからの相談があった。、地域の中でケア会議を開催し、対策を検討した。そして近所の皆さんが普段の近所づきあいの中で少しずつ負担にならない程度で支援活動をした例がある。

Q: 1 次医療、2 次医療、地域完結型医療を「ふくしあ」が横ぐしで包括しているのが大きな特徴だと理解した。H22 年に最初の「ふくしあ」が設置されているが、この構想はいつ頃できたものか。

A: もともとの地域は、医療資源が少ない地域であり、そこに不安を感じていた。H21 年度にこれをどうやって補うかからスタートした。一般社会では病院から在宅へ流れが変わってきた。今では中東遠医療圏(掛川市、磐田市、菊川市、御前崎市、袋井市、森町)の総合医療センターの後方支援の役割も果たしている。

中東遠として統合したことにより、市立病院から企業団へと独立した団体となった。全国初との事。

Q: ふくしあの職員は多職種いるが公務員なのか。

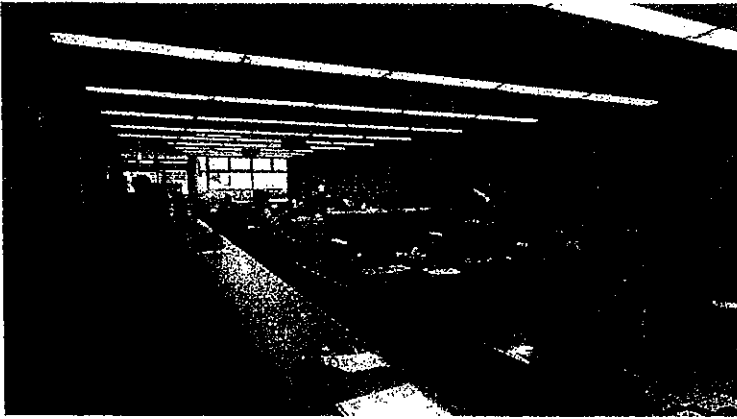
A: 公務員は行政部門のみ。包括支援センター、社会福祉協議会、訪問看護ステーションは市役所から補助金を受けているものもあるが、それぞれの団体の職員。電気代程度を負担してもらっている。

Q: 学校との連携はどうしているのか。

A: 学校から情報を貰う事が多くなっている。子供のみならず祖父母の状況なども教えて頂いている。生活に心配のある養護学校の卒業生への支援にも携わってきている。

Q: ふくしあは、平成 22 年度から 1 年 1 カ所の整備となっているが、何故か。

A: 多分に財政的な問題が大きい。新設したものはなく、いずれも既存施設の改修で対応している。一部



のふくしあは行政の支所機能を持っている。児童手当や身体障害者手帳の申請等の業務も実施している。

Q: 予防的活動とはどんなもの。

A: 各ふくしあで毎月定期的に健康相談の実施や、シニア倶楽部等からの要望に応じて出張相談にも出かけている。

Q: 福祉人材は十分の確保されているのか。

A: 5カ所のふくしあで相談件数の違い等もあり、保健士の増員が望ましい所もあるが、4つの団体で補完し合いながら活動している。

Q: 地域若者サポートステーションとの関係は。

A: 若者サポステは、基本的には独立して活動しているが、障害者の就労支援については、ふくしあと連携して訪問するなど支援している。

Q: 支援学校やグループホームなどとの連携は。

A: 卒業時に心配で相談に応じる事はある。グループホームとは包括支援センターが主体となるが、連携して相談には応じている。

Q: 福祉活動をするには資格が必要であるが、掛川市で資格取得はできるのか。

A: 掛川市内には短大や専門学校等の学校がなく他市で取得している。保健師、社福士、主任ケアマネ、リハビリなどは近隣の浜松市などで取得できる。東京女子医大の1年生のキャンパスが近くにある。実習地としてふくしあが活用されたりしている。

Q: 行政の所管と地域における福祉活動に対する支援は。

A: ふくしあは、地域医療推進課が所管だが、仕事の中身は福祉課や健康長寿課とのやりとりが多い。行政からの地域活動への支援は、掛川市内には202の自治会があり、それが32地区で31のまちづくり協議会を構成している。各地区は必要な活動を各協議会の中で計画を立てている。活動には市から補助金が200～500万円規模で交付されている。

Q: ふくしあの今後の課題は。

A: まだ完成形ではないと思っている。各団体と連携を取るのに時間がかかるのと、役所の人事異動で連携が途切れたり理解度がリセットされる事が課題。これまでやってきたことを振り返り、今後にかかしていく事が大事と感じる。アセスメントシートなども各団体で統一できればさらに良いと考える。



9月5日(火)MOA美術館

対応者:MOA美術館総務部管理課長 [REDACTED]

長いエスカレーターを上り、エントランス付近の万華鏡ドームにて[REDACTED]課長から美術館のコンセプト等について解説を聞いた。

MOA美術館は現在、国宝3点、重要文化財66点、重要美術品46点を含む3500点余りの美術品を所蔵、コレクションは絵画、書籍、工芸、彫刻など多岐にわたる。また、本年、リニューアル工事が完成し、伝統的素材と現代的デザインが融合した新しい空間を演出している。特に、展示室のガラスが反射しにくい工夫がなされ、以前にも増して迫力ある展示を可能にしている。



MOA美術館の基本構想

1.日本文化の情報発信をする美術館。

- 2.観光事業と美術・工芸の発展を推進。
- 3.行政とのパートナーシップによる「新しい公共性」をもった美術館。
- 4.「国際観光文化都市」に向かって、地域交流型の人々に愛される美術館。
- 5.学校と連携して、美による情操教育を積極的に推進。
- 6.観覧者に幸福感を感じていただける顧客満足度の高い美術館。

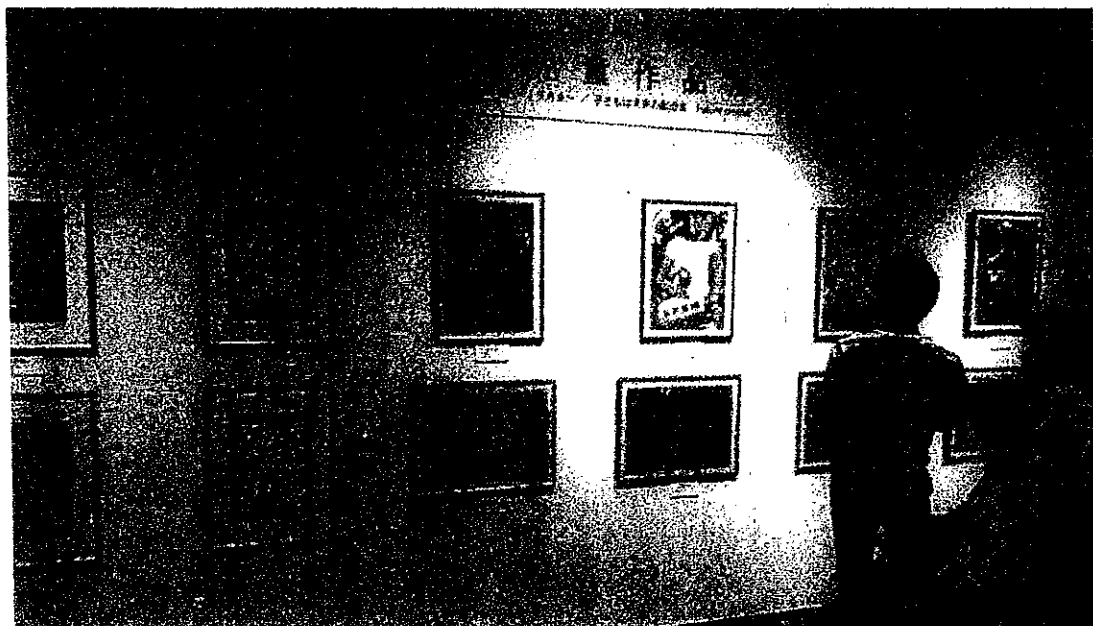
この基本構想のもと、「美」を楽しむことを通じて豊かな心を育み、世界の人々が美術への理解を深めるよう、さまざまな活動を行っている。そのうちの二つの活動について以下のとおり視察した。

### 1. 児童作品展

全国の児童を対象とした「児童作品展」。長い歴史を持つこの作品展は広く国民に親しまれ、児童の情操教育に大きく貢献してきた。

MOA美術館児童作品展は「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に開催。主催者であるMOA美術館は、子どもたちの創作活動を奨励することは、夢や目標に向かって自ら考え、行動する力を高めると同時にそれぞれの国の伝統と文化への関心を高め国際文化交流に資するものと考えている。この児童作品展は、2万人を超える全国の美育ボランティアによって支えられ、さまざまな個人、団体と協力しながら、医療福祉機関での巡回展示や、年間を通じた美育活動など、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育ていくことを重視するもので、このことによって、地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力のあるコミュニティづくりを目指している。

児童作品展は美術館活動の中で、特に日頃子どもたちが取り組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心ゆたかな人間」形成を目的として、地域で実行委員会を組織し、家庭、地域、学校と連携して取り組んでいる。本年度の児童作品展は、海外 12 カ国 30 会場を含む 414 会場にて開催し、応募総数 452,759 点、参加校数 8,953 校(国内 8,344 校、海外 609 校)となりました。この度、各会場の代表作品(MOA美術館奨励賞)を審査し、個人賞・団体賞を選出し全国展開催している。





## 2. 岡田茂吉賞

MOA美術館ではちょうどこの時、岡田茂吉賞は、創立者の遺志を継承し、日本工芸の優れた作家に賞を贈り、日本美術の発展に寄与することを目的としている。第20回を迎える本賞は、工芸を選考対象として、美術界の第一線で活躍する研究者や工芸家に、現在最も活躍されている作家17名を推薦し、厳正な審査の結果、大賞には林暁氏が選出された。本展覧会は、現代のトップクラスの作家17名による代表作54点を展観し、現代工芸の最前線を展望。この賞に選出された作家の多くは後に人間国宝になっているという大変権威のある賞である。

大賞に選ばれた林暁先生は何と、富山大学の教授。1954年東京に生まれ、東京藝術大学大学院修了、2010年に紫綬褒章受賞された漆芸家。伝統的な黒漆や朱漆によって独創的な造形でシンプルな作品を制作している。デザインや造形手法にコンピュータを用いて伝統工芸に先端技術を取り入れる点が特徴とされる。



整理番号	1612	事業概要	写真代
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	議会撮影写真		
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	写真	12,960	
	《合計》	12,960	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 29 年 10 月 12 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 18 日  
 処理 平成 29 年 10 月 18 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

No. 00000171

2017年9月21日

宮本 光明 様

金額

¥12,960-

内

¥960-

消費税等

但 平成29年9月定例会本会議代表質問撮影

上記正に領収いたしました

現金			

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

TEL 076-451-7413

FAX 076-451-7418

係





1709\_036.jpg

1709\_041.jpg

1709\_046.jpg

1709\_051.jpg

1709\_056.jpg

1709\_061.jpg

1709\_035.jpg

1709\_040.jpg

1709\_045.jpg

1709\_050.jpg

1709\_055.jpg

1709\_060.jpg

1709\_034.jpg

1709\_039.jpg

1709\_044.jpg

1709\_049.jpg

1709\_054.jpg

1709\_059.jpg

1709\_033.jpg

1709\_038.jpg

1709\_043.jpg

1709\_048.jpg

1709\_053.jpg

1709\_058.jpg

1709\_032.jpg

1709\_037.jpg

1709\_042.jpg

1709\_047.jpg

1709\_052.jpg

1709\_057.jpg

1709\_001.jpg

1709\_006.jpg

1709\_011.jpg

1709\_016.jpg

1709\_021.jpg

1709\_026.jpg

1709\_004.jpg

1709\_005.jpg

1709\_010.jpg

1709\_015.jpg

1709\_020.jpg

1709\_025.jpg

1709\_003.jpg

1709\_004.jpg

1709\_009.jpg

1709\_014.jpg

1709\_019.jpg

1709\_024.jpg

1709\_002.jpg

1709\_003.jpg

1709\_008.jpg

1709\_013.jpg

1709\_018.jpg

1709\_023.jpg

1709\_001.jpg

1709\_002.jpg

1709\_007.jpg

1709\_012.jpg

1709\_017.jpg

1709\_022.jpg



1709\_071.jpg



1709\_076.jpg



1709\_081.jpg



1709\_086.jpg



1709\_091.jpg



1709\_070.jpg



1709\_075.jpg



1709\_080.jpg



1709\_085.jpg



1709\_090.jpg



1709\_069.jpg



1709\_074.jpg



1709\_079.jpg



1709\_084.jpg



1709\_089.jpg



1709\_094.jpg



1709\_068.jpg



1709\_073.jpg



1709\_078.jpg



1709\_083.jpg



1709\_088.jpg



1709\_093.jpg



1709\_067.jpg



1709\_072.jpg



1709\_077.jpg



1709\_082.jpg



1709\_087.jpg



1709\_092.jpg

整理番号	1613	事業概要*	新聞代		
使途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	9月分				
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	北日本新聞	3,072	/		
	日本経済新聞	3,670	/		
	読売新聞	3,093	/		
	日刊・日曜版 しんぶん赤旗	5,730	/		
	《合計》*	15,565	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 10 月 12 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 18 日  
 処理 平成 29 年 10 月 18 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2017年9月分 領収証 00003144-201709-1

宮本 光明 様

大杉3387

品名	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

**¥6,742**  
(消費税込み)

岡本八尾新聞販売所

八尾町福島4-162

454-3391

北日本新聞

読売新聞 領収書

区域003-B 全戸0033

お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様

八尾町大杉3387

29年 9月分

銘柄	部数	金額	
1 読売新聞朝刊	1	3,093	◇左記の通り領収しました
2			
3			
合計		3,093円	領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609

大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



\*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

宮本 光明

様

日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

領収書

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

5,730 円

2017年9月分

上記の金額たしかにいただきました。ありがとうございます。

〒930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山地区委員会

TEL 076-441-3001



領収日

扱者



管理番号	1614	事業概要	電気代
使用項目	08_事務所費	01_調査研究費 ・02_研修費 ・03_広聴広報費 ・04_要請陳情等活動費 ・05_会議費 06_資料作成費 ・07_資料購入費 ・08_事務所費 ・09_事務費 ・10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	電気料	5,123	2分の1の按分 9月分
	(合計)	5,123	

《領収書貼付

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社		
平成 年 月 日	金額	10,246	円
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会	758	円
お支払期日	10月20日		円

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	10246	758
合計	10246	758

北陸電力株式会社

お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を領収いたしました。

領収日 附印  
17.9.28  
5万円(消費税等相当額を除く)印紙貼付  
(お客さま控)2485

收受 平成 29 年 10 月 12 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 18 日  
 処理 平成 29 年 10 月 18 日

整理番号	1615	事業概要	ガス代			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
経路の内容	金額(円)	備 考				
ガス代	1,000	2分の1の按分 9月分				
(合 計)	1,000					

〒939-2303  
富山市八尾町大杉3387

領 収 書

NO.5300116-00174-0174  
2017年7月28日

宮本 光明 様

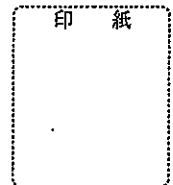
お客様コード 5-530011-32461

2,000 円

上記の金額正に領収致しました。

ガス代金

内 訳	1 現金	2,000	円
	2 小切手		円
	3 振込		円
	4 手形		円
	5 期日	年 月 日	
	調整	8	円



担当者印なきものは無効です。

000

締切日 2017-9-20 入金予定日 回収方法 持参

前月繰越高	当月お買上高 件数	金額	当月御請求高
	0	1 2008	2008

株式会社大内石油


大杉SS  
TEL(076)455-1128

收受 平成 29 年 10 月 12 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 18 日  
 処理 平成 29 年 10 月 18 日

整理番号	1616	事業概要*	賃金
使途項目*	10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			

上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	9月賃金	42,500	■■■■■
	《合計》*	42,500	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

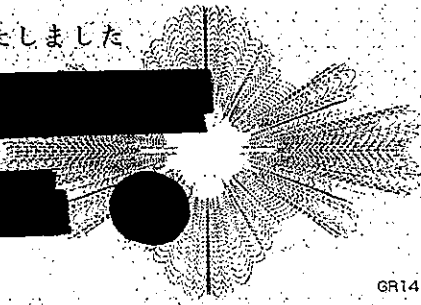
金額 ¥42,500

但 9月賃金 29年9月28日 上記正に領収いたしました

内 記

税抜金額

消費税額(%)



GR1417

收受 平成 29 年 10 月 12 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 18 日  
 処理 平成 29 年 10 月 18 日

勤 務 実 績 表

平成29年9月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	金			17	日		
2	土			18	月		
3	日			19	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
4	月			20	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
5	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7	21	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6
6	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	22	金	9 : 00 ~ 16 : 00	6
7	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	23	土		
8	金			24	日		
9	土			25	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7
10	日			26	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6
11	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	27	水	9 : 00 ~ 12 : 00	3
12	火	9 : 00 ~ 16 : 00	6	28	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
13	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	29	金	9 : 00 ~ 16 : 00	6
14	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7	30	土		
15	金	9 : 00 ~ 16 : 00	6				
16	土						
		小 計	54			小 計	55
						合 計	109

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

整理番号	1720	事業概要	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	10月分				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考	
	富山新聞	3,072		/	
	公明新聞	1,887		/	
	聖教新聞	1,934		/	
	《合計》	6,893			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 10 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 27 日  
 処理 平成 29 年 10 月 27 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

17年 10月分 17年10月6日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 八尾販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年 10月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年 10月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

## その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648  
お申込No. 16012-32769(031)



販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648  
お申込No. 16012-12809(031)- 2



整理番号	1721	事業概要	事務所賃借料			
使用科目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	年間契約に基づく					
上記事業に属した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	10月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生			
	《合計》	25,000				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 10 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 27 日  
 処理 平成 29 年 10 月 27 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

# 領 収 書

宮本 明後 瑞会 事務 様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料  
浄化槽(清掃)料  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

平成 29 年  
10 月 分 家 賃



上記正に領収いたしました

平成 29 年 10 月 25 日

富山県富山市八尾町角間20-1

(有) 八 尾 衛 生

電話 (076) 454-2487 番



整理番号	1722	事業概要	ガス代			
使用項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に用いた経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	ガス代	970	2分の1の按分 10月分			
	《合計》	970				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 10 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 27 日  
 処理 平成 29 年 10 月 27 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領 収 書

収 印  
入 紙

宮本光明 殿

金 額				¥	1	9	4	0	円
--------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し ガス代

上記金額正に領収致しました。

平成 29 年 10 月 25 日

分 類	金 額	備 考
現 <input checked="" type="checkbox"/> 金	¥ 1940	
小 切 手		
手 形		
当 座 振 込		
相 殺		
合 計	¥ 1940	

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 **大内石油**

TEL 076(455) 1128

管理番号	1723	事業概要	電話代
従価項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電話料	2,512	2分の1の按分 10月分
	《合計》	2,512	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴 電話料金等払込受領証 すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行、郵便局で各払いの場金は、左欄2枚を出してください。上記以外でお支払いの場合は切り取る必要があります。

西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様


お客様番号  
[REDACTED]

2017年10月ご請求分

金額(円)  
¥5,025-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

領収日附印  


(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 29 年 10 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 27 日  
 処理 平成 29 年 10 月 27 日

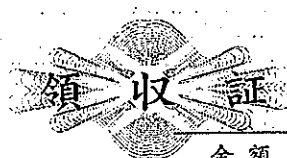
整理番号	1724	事業概要	インターネット接続料		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 10月27日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	(合計)	3,747			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 10 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 27 日  
 処理 平成 29 年 10 月 27 日



整理番号	1725	事業概要	賃金		
使途項目	10_人件費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費			
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	10月賃金	42,500	[REDACTED]		
	(合計)	42,500			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)


 領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

金額 ¥42500

但 10月賃金  
 29年10月26日 上記正に領収いたしました

内訳  
 税抜金額 \_\_\_\_\_  
 消費税額(%) \_\_\_\_\_

[REDACTED]

GR1417

收受 平成 29 年 10 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 10 月 27 日  
 処理 平成 29 年 10 月 27 日

## 勤 務 実 績 表

平成29年10月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	日			17	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
2	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	18	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
3	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7	19	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6
4	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	20	金		
5	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6	21	土		
6	金			22	日		
7	土			23	月	9 : 00 ~ 12 : 00	3
8	日			24	火	9 : 00 ~ 12 : 00	3
9	月			25	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
10	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7	26	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6
11	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7	27	金		
12	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6	28	土		
13	金			29	日		
14	土			30	月	9 : 00 ~ 16 : 00	6
15	日			31	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
16	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7				
		小 計	54				52
						合 計	106

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

整理番号	1858	事業概要	新聞代		
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	10月分				
上記事業等に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考	
	北日本新聞	3,072		/	
	日本経済新聞	3,670		/	
	読売新聞	3,093		/	
	日刊・日曜版、しんぶん赤旗	5,730		/	
	《合計》	15,565		/	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 11 月 15 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 17 日  
 処理 平成 29 年 11 月 17 日



2017年10月分 領収証 発証No 00003144-201710-1

宮本 光明 様

品名	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	3,670

大杉3387  
合計金額  
**¥6,742**  
(消費税込み)

〒920-0811 富山県八尾町大杉3387

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

岡本新聞店  
〒920-0811 富山県八尾町大杉3387

北日本新聞

領収印



読売新聞 領収書

区域003-B 金戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

29年 10月分

品名	部数	金額
1 読売新聞朝刊	1	3,093
2		
3		
合計		3,093円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

(株)YC大沢野

八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068

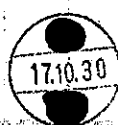


※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

宮本 光明

様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410



日本共産党発行の しんぶん赤旗

領収書

5,730 円

2017 年 10 月分

上記の金額たしかにいただきました。ありがとうございます。

〒930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
☎076-441-3001

領収日 / 扱者

整理番号	1859	事業概要	水道代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容			
内容	水道料	金額(円)	備 考
		3,396	2分の1の按分
		3,396	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

平成 29 年度 富山市水道料金等  
納入通知書 兼 領収書

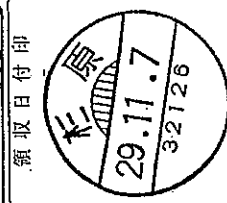
お客様番号 [ ]  
 使用所 様 宮本光明後援会事務所  
 納入者 様 宮本光明後援会事務所  
 発行日 平成 29 年 11 月 1 日  
 納期限 平成 29 年 11 月 15 日

給水装置場所 富山市八尾町大杉 3387

使用期間	平成29. 8. 3~平成29. 10. 4
口径	13 mm
用途	営業用
上水道使用水量	27 m <sup>3</sup>
下水道使用水量	27 m <sup>3</sup>
し尿くみ取り日・量	月 日 月 日 月 日

平成29年10月請求分

水道料 金	2,991円
内消費税	( 221円)
下水道使用料	3,801円
内消費税	( 281円)
し尿くみ取り手数料	0円
内消費税	( 0円)
合計金額	6,792円
内消費税	( 502円)



領収日付印

お問合せ窓口は裏面に記載しております。  
 \*領収日付印の押印によって効力が生じます。



富山市上下水道事業管理課

富山市上下水道局

出納・取納取扱金融機関

取納代行会社 (株) 電算システム

〒960-0009 富山市上野町1-5-960009

加入者名 富山市上下水道事業管理者 (お客様さま控)

收受 平成 29 年 11 月 15 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 17 日  
 処理 平成 29 年 11 月 17 日

整理番号	1860	事業概要	電気代
使途項目*	08_事務所費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	電気料	4,778	2分の1の按分 10月分
	《合計》	4,778	

《領収書貼付》

（付しきれない場合は、別紙に整理すること。）

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社		
平成 年 月分	金額		円
29 10	9556		
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会		消費税等相当額(再掲) 円
			707
お支払期日		精算額(再掲) 円	
11月20日			

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

使用場所: 富山市 八尾町水杉 3387

お客様番号: [REDACTED] 計費区: 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
2111	9556	707
合計	9556	707

北陸電力株式会社  
 お客様サービスセンター  
 〒0120-776453

- 取納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

富山八尾井田  
 297402  
 5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
 (お客様主控)2485

29.10.31

收受 平成 29 年 11 月 15 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 17 日  
 処理 平成 29 年 11 月 17 日

1905		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年10月21日	から	オイスカ議連 植林協力隊 2017 ラバウル	
平成29年10月25日	まで	(内容)	(備考)
ラバウル		別紙のとおり	
経費の内容*		金額	経費の内容*
鉄道・バス		36,770	宿泊料 (4泊4朝食)
タクシー			食事代
航空機		162,680	車両代
自家用車	@37 × km =	0	現地ガイド・添乗員費用
リース車	@18 × km =	0	査証申請取得費用
有料道			振込手数料
駐車場			計
			325,760
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 年 月 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成 29 年 11 月 16 日

電信扱

振込依頼書 (兼手数料受取書)  
 振込金受取書 (兼手数料受取書)  
 振込受付書 (兼手数料受取書)

平成 29年11月16日  
 291116  
 振込依頼書 (兼預金払戻請求書)

銀行名(漢字) 左つめて記入ください。	支店名(漢字) 左つめて記入ください。	支店
北陸	富山駅前	
支店名の欄は1マスあけて左つめて記入ください。	振込種目	
トウツツトツツ。ツアース(カ)	普通(貯蓄)その他	
トヤマシヤン	○をのこす	
東武トツツアース(株)富山支店様	○をおつけください	
シニントウトヤマケンギカイ	振込手数料(消費税込)	540
キインカイセイイウカイ	金額	218,072
自民党富山県議会議員会政調会 様	千 百 万 千 百 十 円	
富山市新総曲町		

振込印紙  
 29年11月16日  
 北陸・泉けり  
 4-1-1

当行をご利用いただきありがとうございます。  
 今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

振込印紙  
 無印紙の場合  
 印紙不要

振込金額のうち  
 未決済小切手  
 万-小切手が決済されなかった場合はその金額の振込を  
 取り消し、小切手は当店においてお返しいたします。

○振込依頼書に記載の欄に不備があった場合には、照会等のため振込が遅延することがあります。  
 ○やむを得ない事由による高圧機器・回線の障害等によって振込が遅延することがありますのでご了承ください。  
 ○この振込は、振込規定により取り扱います(振込規定ご入用の方はお申し出ください)。  
 ○振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。この期間以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることとなります。

宮本光明	浅岡弘彦	平木柳太郎	藪田栄治	井上 学	山崎宗良 (6名)
			363,170 × 5名 :	1,815,850	
			364,870 × 1名 :	364,870	
			2,180,720		

# オイスカ協議連 植林協力隊 2017 ラバウル訪問

日時 平成29年(2017年)10月21日(土)~25日(水)

参加者 宮本光明 浅岡弘彦 平木柳太郎 藪田栄治 井上学 山崎宗良 (6名)

種別	摘要	金額	政治活動費	個人負担	議連負担
国際航空券	成田-ポートモレスビー-ラバウル-ポートモレスビー-成田	144,000	144,000		
成田空港施設使用料		2,610	2,610		
現地空港税		16,070	16,070		
現地専用車代		24,000	24,000		
宿泊費	3泊 朝食付き (シングル利用) 2,4000円 × 3	72,000	49,500 (15,500 + 1,000) × 3	22,500	
食事代	朝食1回 昼食4回 夕食3回	25,000	13,000	12,000	
現地ガイド・添乗員費用		24,000	24,000		
査証申請取得費用		4,320	4,320		
雑費	有料待合室料金等 (結団式利用)	3,000			3,000
JR券代	富山-上野往復	34,300	34,300		
京成線チケット代	上野-成田空港 (片道)	2,470	2,470		
東京ホテル後泊代		11,400	11,400		
		363,170	325,670	34,500	3,000

宮本 光明 様

(070069)

東武トップツアーズ株式会社

富山支店

〒 930-0029

富山県富山市本町9-10

大同生命富山ビル7F

TEL : 076-431-7638

FAX : 076-441-6790

支店長  (3401)

担当者  (3401)



発行者  (3401)

請求書  
INVOICE

毎度格別のお引立てを賜り厚くお礼申し上げます。下記の通りご請求申し上げます。

オイスカ緑の植林協力隊 2017 ラバウル訪問

2017 年 10 月 21 日 ご出発

管理者印	扱者印
	

ご請求金額合計	¥ 363,170
---------	-----------

摘要	金額 (円)	ご利用日
基本旅行費	279,000	
1人部屋利用 追加旅行費	36,000	
ご宿泊代 (後泊分)	11,400	
JR券代 (富山発着の方)	34,300	
京成線チケット代	2,470	
*** 合計 ***	363,170	

\* お振込の場合は下記の口座にお振込み下さい。

北陸銀行 富山駅前支店 普通 1049280 東武トップツアーズ 富山支店

お支払いは 2017 年 11 月 22 日 までお願い申し上げます。

※お振込手数料はご負担くださいますようお願い申し上げます。 ※お振込金受取書をもって当社の領収証に代えさせていただきます。





県外・海外政務活動報告書

平成29年11月15日

整理番号			会派・議員名 自民党 オイスカ 議員連盟
活動名称	オイスカ「子供の森」ラバウル研修センター視察		
目的	オイスカ「子供の森」計画への参画ならびに研修センター視察		
日程	平成29年10月21日(土)～10月25日(水)		
場所 〔 国名・都市名、 施設名、訪問先等 〕	ラバウル(パプアニューギニア)		
相手方等 〔 主催者、対応者、 参加者、同行者等 〕			
<p>行程・活動内容</p> <p>【行程】</p> <p>10/21(土) 21:15 (移動)ニューギニア航空にてポートモレスビーへ</p> <p>10/22(日) 14:00 ココポ市内視察</p> <p>10/23(月) 9:30 オイスカ「子供の森」計画学校 13:30 ラバウル市内視察(山本バンカー・南太平洋異例の碑等)</p> <p>10/24(火) 9:30 オイスカ研修センター30周年記念式典</p> <p>10/25(水) 14:20 (移動)ニューギニア航空にて成田空港へ</p> <p>※報告書は別添</p>			

※日帰りの政務活動を含む。

# 政務活動報告書

平成 29 年 11 月 15 日



## 【日程】

10/21(土)	21:15	(移動) ニューギニア航空にてポートモレスビーへ
10/22(日)	14:00	ココボ市内視察
10/23(月)	9:30	オイスカ「子供の森」計画学校
	13:30	ラバウル市内視察 (山本バンカー・南太平洋異例の碑等)
10/24(火)	9:30	オイスカ研修センター30周年記念式典
10/25(水)	14:20	(移動) ニューギニア航空にて成田空港へ

【実施日程】
平成 29 年 10 月 22 日(日) 14:00～ ココボ市内 視察
【視察内容】
<p>今回我々が訪れたラバウルは、昔日本軍の基地があったことで知られ、パプアニューギニア国の首都ポートモレスビーがある本島の北側、東ニューブリテン島にある東ニューブリテン州の首府で、人口は約 10 万人。1994 年 9 月 19 日の早朝、ラバウル市の南端にあるタブルブル火山が噴火し、1 時間もしないうちに、こんどはシンプソン港をはさんだ市の南西端にあるブルカン火山も噴火をはじめた。ブルカン火山の噴火は開始後急激に活発化し、流下距離は 2km と小規模ながら火砕流も発生した。噴煙柱の高さは約 20km にも達した。ブルカン火山が海際にあったせいで最大波高 5m の津波が襲って船や沿岸部に被害を与えた。先に噴火したタブルブル火山もその後活発化し、噴煙柱は 6km の高さにも達した。</p> <p>この二つの火山の噴火によって、ラバウルの市街地一帯には最大 6m もの厚い火山灰が積もった。火山灰は市の中心部を狙ったように降り、州政府や市役所や警察や消防がある官庁街と商店街を直撃して建物を押しつぶした。空港も廃虚になった。また噴火直後に熱帯特有のスコールが降ったために泥流と洪水が発生し、降灰の被害はさらに大きくなった。</p> <p>しかし、これだけ大量の火山灰が市街地の広い範囲に降りながら死者の数が少なかったのは幸運であった。火砕流の規模が小さいうえに、たまたま火砕流は町を襲わなかったことと、火山岩塊や火山礫が降らず、毒性のガスもほとんど出ないで、細かい火山灰だけが雪のように降り積もったことが幸いした。</p> <p>噴火がようやく収まったのは 3 ヶ月後であった。州の政治や商業の中心であるばかりではなく近隣の農業や漁業の中心でもあったラバウルが壊滅的な被害を受けたために、家や職を失った避難民は 5 万人に達したとの事。</p> <p>今回我々が宿泊した場所は、ココボという町で、ラバウルの街が度重なる火山の爆発で灰に埋もれてしまったので、ラバウルの隣に新しく作られた町だ。ラバウルの街は、美しい海に面しており、コンパクトで魅力的だ。こんな日本から遠いところに、日本軍の主力基地があったとはなかなか実感できない。</p>
<p>1. 大発洞窟</p> <p>ブランチ湾の南側に位置するカラビア湾最西部の山裾にひっそりとあるのが旧日本軍の大発洞窟である。「大発」とは「大型発動機艇」の略らしく、この洞窟は大発の避難&amp;保管場所だった。大発は食料や弾薬などを運び、トロッコ用の線路にのせられて洞窟内に收容されていた。まっすぐ延びた洞窟内には、現在も 5 隻が整然と「縦列駐船」しているとの事。しかし、中へ進むと真っ暗で、最初の 1 艘を見ただけで奥へは行けなかった。このため、本当に 100 メートルあるのか真偽のほどは分からなかった。このトンネルは、海からは 100 メートルくら</p>

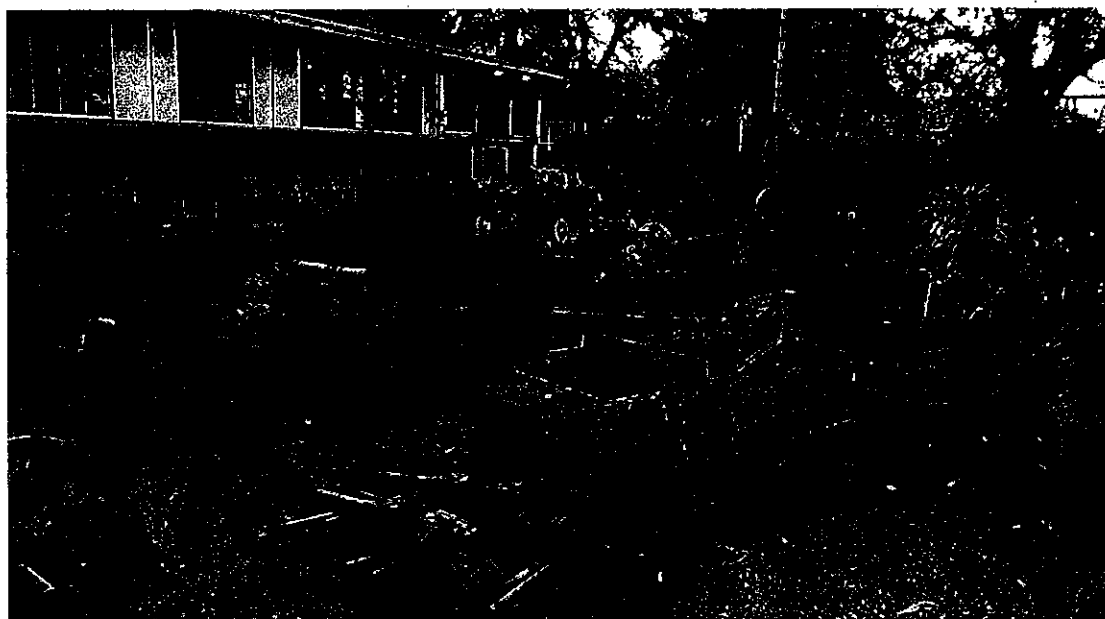
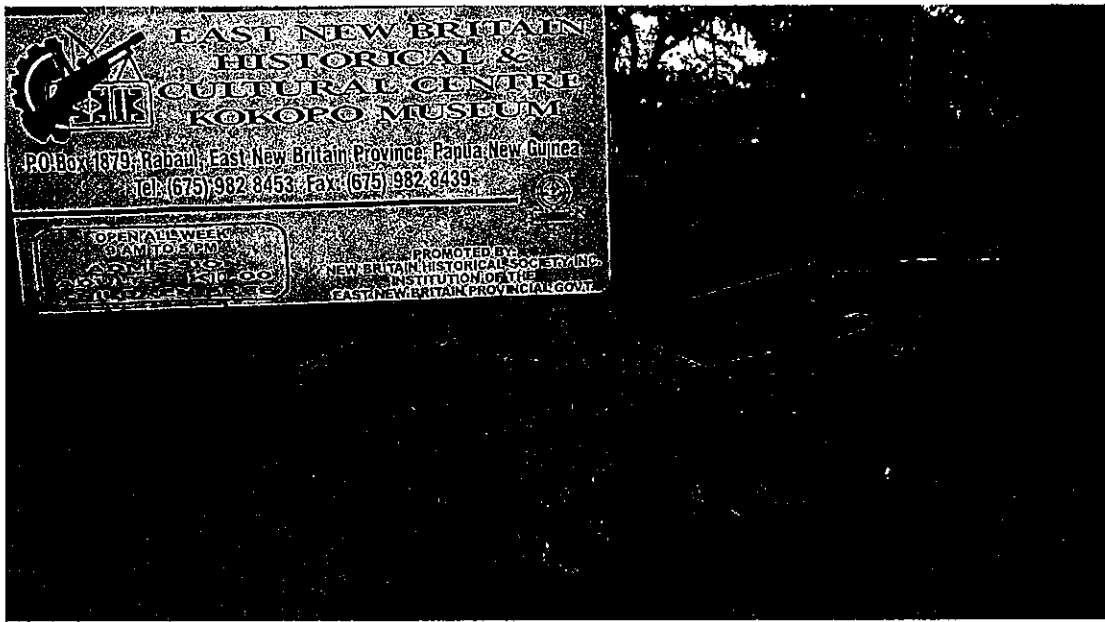
い離れた山をくりぬいており、海岸からは高低差もあり、船を出し入れするのも大変だったろうと思われる。だからこそ戦争後にも変にいじられることなく当時の状況を維持できたのだろう。現在は、もちろんトロッコ用の線路は撤去されており、こちらの管理人さん一族が、代々に渡り戦後 60 年を過ぎようとする今も当時の状況をそのまま維持し続けているとはすごいことである。これまで数十年にわたりこの洞窟を管理されてきた方々には改めて敬意を表したい。



## 2. 戦争博物館

ココボ市内にある戦争博物館。閉館時間を過ぎていたため、外からの視察となった事が残念だが、日本軍や連合軍の兵器が無造作に庭に並べられている。ゼロ戦のエンジンもあり、「永遠のゼロ」を思い出す。兵器は、ほとんどが日本軍のものだった。日本軍の戦車もあり、地上戦もあったのだと思い知る。大きさはそれほど大きくなく、おもちゃの如くにも見える。山林を駆け回るため小型化が必要だったのだろう。70年の歴史を感じる。

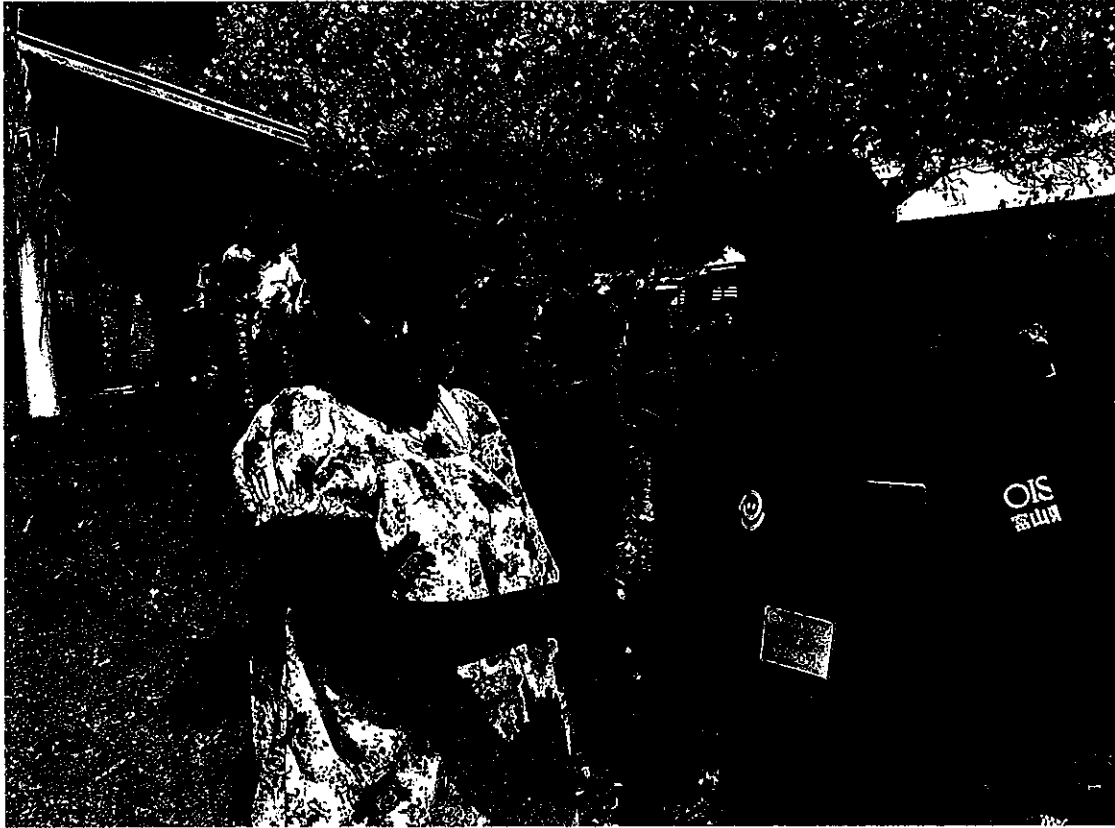
ラバウルは太平洋戦争の末期、激しい戦闘にはならなかった。7万の兵士がいて、戦闘になると連合軍の被害が大きすぎると判断し、連合軍は最後まで戦闘を仕掛けなかったという。7万余の日本兵がいたが、日本からの補給は無かったと言われる。しかし、日本兵は飢えることがなかったそうだ。自給自足出来るほど自然の恵みは豊かだったのかとうなずける。その影には、自ら先頭に立って日本軍に自活を薦めた、今村均陸軍大将の存在も忘れてはいけない。



【実施日程】
平成 29 年 10 月 23 日(月)9:00~12:00 「子供の森」計画
【視察内容】
オイスカ子どもの森計画プロジェクト (植樹事業)

場所 セント・ジョセフ・マラグナン小学校  
Rabaul township, East New Britain PNG

早朝、借上バスにて宿泊所から事業実行するセント・ジョセフ小学校へ移動



到着後、学校側と生徒たちから歓迎の国家斉唱等、賛美歌合唱等の式典を受けた。



ラバウル在住のオイスカ側から、小学校の児童たちへ環境を大切にする必要性を教授する寸劇が披露された。



その後、オイスカ議員連盟団員より民富山県を代表する民謡「越中おわら」を生徒たちに教授しながら一緒に踊った。





続いて、オイスカより子どもの森計画参加にあたり、学校へノート、サッカーボール、ボールペン植木の道具等が贈られた。



そして、宮本光明オイスカ議員連盟会長、中野悦子オイスカ・インターナショナル理事長と共に、オイスカ議員連盟訪問団は、セント・ジョセフ小学校の生徒達と小学校校庭にカカオの木を記念植樹した。



【実施日程】

平成 29 年 10 月 23 日(月) 13:30～17:00 ラバウル市内視察

【視察内容】

1.山本バンカー

ラバウル市街西部、マンゴーアベニューの西側に位置する。ジャパニーズピースメモリアル(南太平洋慰霊の碑)も車で十分程度の距離にある。

第二次大戦中に山本五十六司令官が、ソロモン諸島で撃墜される前の晩にいたとされる司令部。

壕の居室は中心の壁により二室に別れ、一室の幅約二メートル、長さ約六メートル程度でどちらも同面積となっている。

壁は全て白く塗られ、空間があるだけで、机や備品などは何もないが、コンクリートの構造で厚みが厚く、空襲等に備えたものと思われる。

同行者によると、10 年ほど前に別の施設(壕)に机や通信機器などが置かれた場所があったとの事である。

壕の上部には対空射撃用の機銃や、小型の戦車、魚雷などが展示してあるが、錆びがかなり進行している。

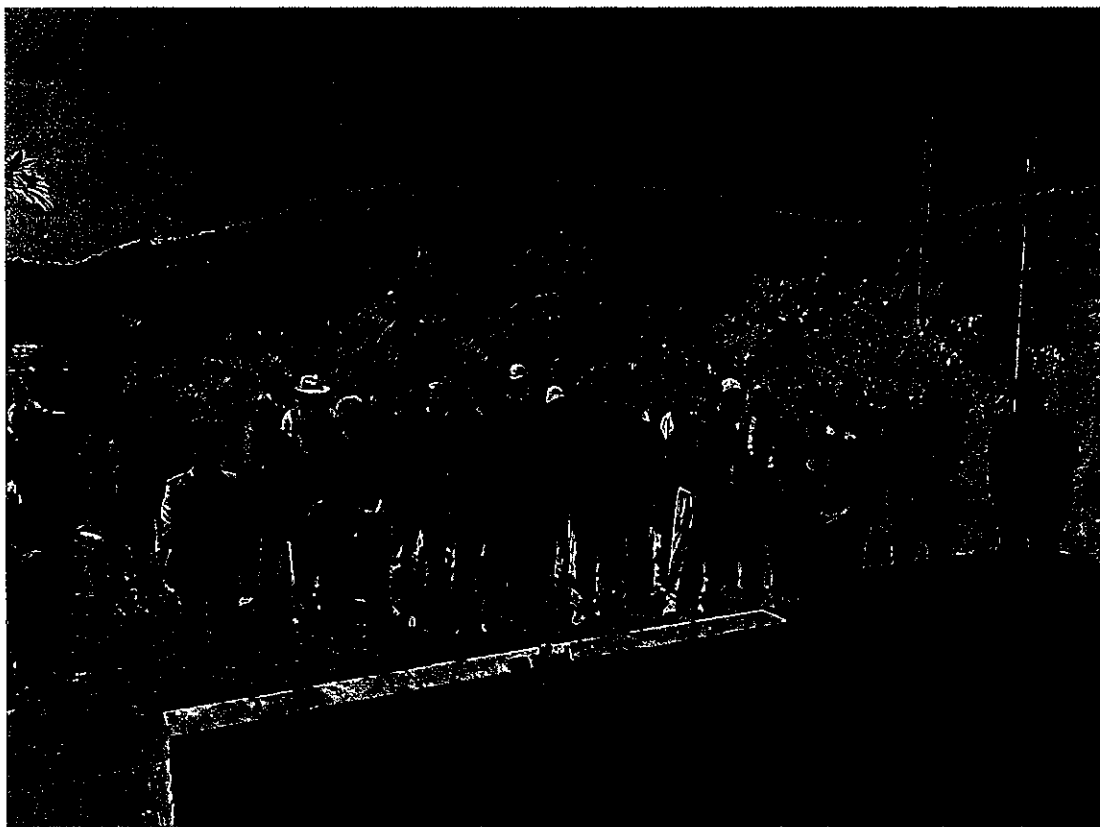
先達の念いを偲び、祈りをささげた。

## 2.南太平洋慰霊の碑参拝

山本バンカーから車で十分ほど山の中へ入ると、ラバウルの海と市街が展望できる場所に慰霊碑が設けられている。昭和五十五年に日本政府とパプアニューギニア政府とが共同で作った。

入り口付近に日本政府が昭和三十年に建立した戦没日本人の碑が移設されている。本体の慰霊碑は傾斜させた天井に太平洋の地図がコンクリートの起伏によって描かれている。ラバウルの位置は中心に穴が明けられ、陽が差し込んで周囲を照らす工夫がされている。

中央には大理石の献花台が作られており、参加者 50 人全員で「海ゆかば」「ラバウル小唄」を合唱の後一人一人献花し、戦没者の念いを偲び祈りを捧げた。



### 【実施日程】

平成 29 年 10 月 24 日(火) 9:30~16:00

オイスカラバウル・エコテック研修センター開設 30 周年記念式典

### 【視察内容】

午前 7:30、予定より 40 分ほど出発を早め、宿舎からほど近いココポのスーパーマ

一ケットに立ち寄った。3階建て鉄骨造の店舗で富山県内の平均的な食品スーパー程度の大きさ。生鮮食品や日配品、加工食品、衣料品、家電製品、日用雑貨、玩具、医薬品など一通りの品揃えは置いてあるように見えた。アルコール飲料は店内の特別な囲いの中に管理されており、日本のように他の商品と同じように並べられてはいなかった。

各々、買い物を済ませ、3台のバスに分乗してオイスカ研修センターへ向かった。道中、バナナやココナッツ、マンゴーなどの繁茂するジャングルやその中に点在する集落、学校などは見えたが、店舗や事業所などは見なかった。道は大型バスがすれ違うに十分な幅員があり、一応舗装されているが、至る所に陥没や剥離箇所があり1~2分走ると徐行、1~2分走ると徐行を繰り返してバスはなかなか進まなかった。道路の維持管理は全くと言っていいほどできていないと感じた。1時間ほど走ってようやく研修センターに到着した。

バスを降りると9時を少し過ぎた時刻だというのに、うだるような蒸し暑さだった。式典のプログラムには9時開始と書かれていたが、9時半を過ぎても参加者は半分も集まっておらず、会場である校庭では司会者がリハーサル真っ最中。同研修センターで最初に我々を迎えてくださった日本人指導員の■■■■さんによれば「ここでは予定は1時間以上遅れるのが普通」とのこと。実際、式典前の入場行進が始まったのは10時半頃だった。

研修センターの校庭には、稲作、野菜栽培、養豚、養鶏、養魚等への取り組みを示した展示や物販ブースとして、また、地域の小中学生の控え所として大小20張りほどの簡易な日除けテントが張られていた。小学生のプラスバンドの先導により、州知事や国会議員、オイスカラバウル支局長などの来賓に続き、宮本団長を先頭に我々日本からのOISC A訪問団が入場行進、千人を超える地域住民の万雷の拍手の中、ひとり一人に歓迎レイがかけられ、中央に設けられた来賓席に着いた。最初に式典の無事を祈念して、地元の■■■■牧師による祈りが捧げられたあと、国歌斉唱に伴ってパプアニューギニア、日本両国旗、オイスカ研修センター旗の3つの旗が国旗掲揚塔に掲げられた。我々日本人団員は49名それぞれに声を限りに君が代を歌い、ラバウルの人々はそれを静かに聞いていた。

式典はスピーチのあと民俗芸能や歌唱などの余興、続いてスピーチ、余興、スピーチと繰り返された。通常、スピーチは一人40~50分程度話すそうだが、この日は6名ものスピーカーが予定されているため、主催者は5~10分程度に短縮して話すようお願いしていたという。しかし、中には一人で20分以上熱弁をふるうスピーカーも居た。スピーチを行ったのは以下の6名。

Sinai Broun 大酋長、OISCA ラバウル会長

Cosmas Bauk 東ニューブリテン州副知事

Timothy Masiu 国会議員

CFP ココボ小学校の代表による活動報告

中野悦子 オイスカ本部理事長

Garry Juffa オロ州知事

それぞれのスピーチのあと、各学校から歌や踊りなどのパフォーマンスがあった。スピーチの内容は、それぞれオイスカがこれまで果たしてきた多くの功績を称え、今後の更なる貢献に期待を込めたもの、そしてパプアニューギニア、日本両国の更なる交流に尽力していくことの重要性を訴えるものが多かった。

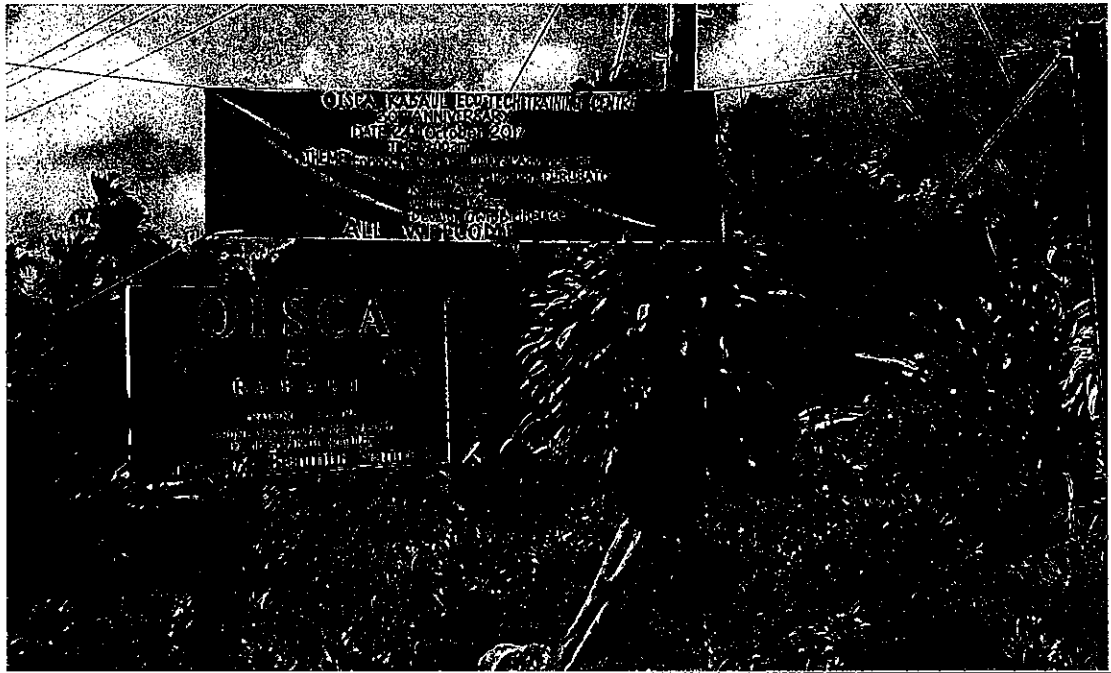
中野悦子理事長のスピーチは、短い中にも今回の式典の意義とオイスカの使命について濃密に語られた非常に感銘深いものであった。ここに要約を紹介する。

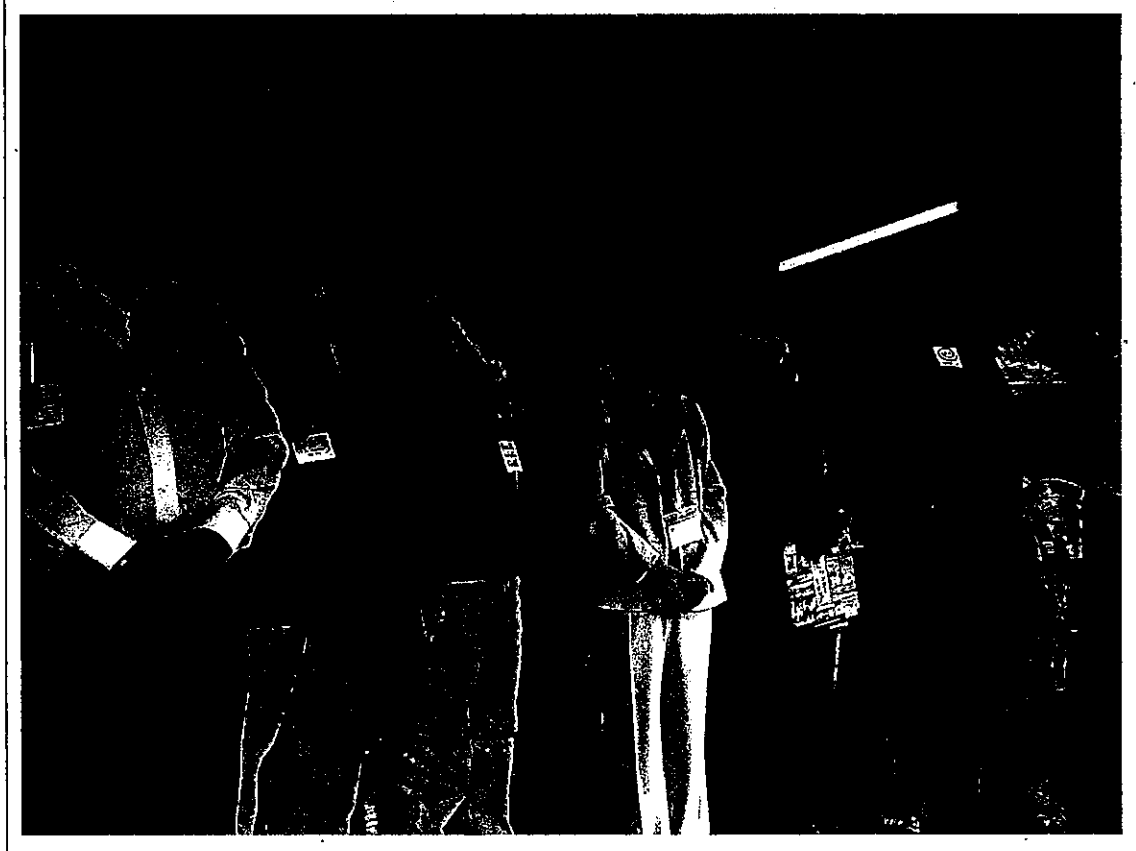
「本日ここにラバウル・エコテック研修センターの開設30周年を迎えての記念式典がオイスカ・ラバウルのシナイ・ブラウン会長、東ニューブリテン州よりコスマス・バウク副知事、ガリー・ジェファ オロ州知事、ティモシー・マシウ国会議員をはじめとするご来賓をお迎えし、また、遠く日本の各地からはるばるお祝いに駆けつけていただいた50名近くのオイスカ・ジャパンの代表団の方々、そして地元ラバウルをはじめパプア・ニューギニアの各地からご出席をいただきました皆様の参加を得て、盛会裏に開催されますことをオイスカ・インターナショナルを代表してお祝い申し上げます。この研修センターは1985年、当時中央政府の厚生大臣を務めておられた故マーティン・トバデック氏より規律を重んじる青年の育成と稲作指導を目的にオイスカ本部に協力の要請がなされたのを機に、2年後の1987年に開設されました。以来、全国各地から毎年、100~250名の農業研修生を受け入れ、稲作をはじめ野菜栽培、養豚、養鶏、養魚等の畜産、また林業など、さまざまな取り組みを通じて無農薬無化学肥料による有機循環農業の実践に努めております。こうした取り組みは高く評価され、2004年からは地元東ニューブリテン州政府より予算の配分を受けるようになりました。そして2007年には中央政府指定の稲作研修施設としての認可も得て、稲作技術等の普及啓発に努めております。現在、当センターでは、パプア・ニューギニアの未来を担う人材の育成を第一に、いのちの連鎖農法(有機循環農法)に更に磨きをかけ、農場の充実を図ると共に農林業の振興、地域の持続的な発展を目指して、研修生OBを中心に頑張っているところです。今日、国際社会では地球規模での環境問題が深刻度を増しておりますが、残念ながら、当地パプア・ニューギニアにあってもいまだ焼畑農業や森林伐採が続いており、森林破壊が続いていると伺っております。こうした現状を少しでも改善できるように、稲作を中心とした定置型有機循環農業の普及に積極的に取り組み、併せて、子供の森計画を通じての意識啓発などにも力を入れて参りたいと思います。このような当研修センターが中心となって展開しているさまざまな活動に、中央政府や各州政府をはじめ、特に日本のコスモ石油の支援を得て、現在プロジェクトを推進しているアラバム村、ライゲル村、マラナギ村、サンバム村など各村のご協力を引き続きお願いいたしますとともに、これまでのご支援に心より感謝申し上げます。中国の古い書物、管子に一年の計は穀を樹うるに如くはなく、十年

の計は木を樹うるに如くはなく、終身の計は人を樹うるに如くはなし、とあります。オイスカの研修センターはまさしく、この終身の計を念頭に取り組んでいるものであります。30年を経てその成果は確実に上がっていると確信しております。」

セレモニーのあと、地元各地域の伝統民俗舞踊が一斉に披露されたが、日本で言う「ご祝儀」に当たるものが白い小豆粒大の貝に穴を開け、植物の繊維でつないだ「貨幣」であったのには驚いた。主催者は数メートルの長い貝の紐を民俗舞踊の団長にお礼として渡し、団長は団員それぞれに、それを適切にちぎって分け与えていた。

セレモニーの後は、研修センター農場に設営された仮設休憩所で、オイスカ研修生が心を込めて作ってくれた手作りのランチに舌鼓を打った。





スケジュール表

2017.09.20

月日	地名	時刻	スケジュール	交通機関
10/21 (土)	成田	17:30 18:00 21:15	Dカウンター集合・荷物預け 4F有料待合室にて、結団式・出国手続き ニューギニア航空にてポートモレスビーへ	PX055
10/22 (日)	ポートモレスビー  ラバウル	5:05  9:15 12:25  18:00 19:00	ポートモレスビー到着 入国手続き 空港近くのホテルで朝食 ニューギニア航空にてラバウルへ 新ラバウル空港到着 ホテルチェックイン・荷物預け(部屋は14時から) ホテルにて昼食 ココポ半日視察(希望者、お部屋でも休憩も可能) ホテル戻り 夕食( )とラバウルスタッフ3名を交えてのオリエンテーションおよび懇親会)	専用車 PX208  専用車
10/23 (月)	ラバウル	7:00 8:30 9:30  13:30 17:00 18:00	朝食 ホテル発 オイスカ「子供の森」計画学校へ 学校側歓迎挨拶 オイスカラバウル挨拶 日本側挨拶 研修生より環境教育ドラマ 日本側出し物(2つ程度) 記念植樹 学校にて昼食 ラバウル視察(火山観測所、山本バンカー・南太平洋慰霊の碑参拝) ホテルにて到着 ホテルにて食事	終日 専用車
10/24 (火)	ラバウル	7:00 8:00 8:10 8:50 9:30  ~14:00  15:00 18:00 19:30 20:00~21:00 22:00	朝食 ホテル発 ココポマーケット散策(買い物など)(希望者) オイスカ研修センターへ移動(40分) 研修センター30周年記念式典 来賓挨拶(オロ州知事) 来賓挨拶(東ニューブリテン州知事) オイスカラバウル支局 会長 公益財団法人オイスカ 理事長挨拶 CFP子ども達による活動発表 研修生によるバンブーバンド 農民代表挨拶 日本側出し物(2つの程度) センター農場視察 昼食をとりながら、シンシン(ダンス)観賞、参加可 ホテル着 休憩 ホテルにて夕食 オイスカ研修センターへ移動 ファイヤーダンス・バイニン族(希望者) ホテル着	終日 専用車
10/25 (水)	ラバウル  ポートモレスビー  成田	5:45  7:00 8:20  14:20 20:05	ホテル発(朝食はケータリングBOXを予定) 新ラバウル空港へ ニューギニア航空にてポートモレスビーへ ポートモレスビー到着 専用車にて、ポートモレスビー視察(アドベンチャーパークまたは植物園) (理事長、( )、( )、富山代表、首都圏代表は日本大使を表敬訪問) レストランにて昼食後、空港へ ニューギニア航空にて成田へ 成田空港着・解散	専用車 PX275  専用車 (バン)  PX054

※10月22日～24日は、( )代表とオイスカOB 3名が一行にアテンドする予定。



整理番号	1913	事業概要	電話代
償還項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容			
上記事業に属した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電話料	2,540	2分の1の按分 11月分
	《合計》	2,540	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴する。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電話料金等払込受領証  
西日本ご利用分

ATMまたはゆうちょ銀行郵便局でお支払いの場合は、右欄の枠をお出しください。  
上記以外のお支払いの場合は切り取り取らないでください。

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2017年11月ご請求分  
金額(円)  
¥5,081-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先(無料)  
0800-3335550

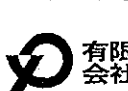
領収日 附印  
17.11.20

取人印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 29 年 11 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 27 日  
 処理 平成 29 年 11 月 27 日

整理番号	1914	事業概要	封筒代
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	県政活動報告 封筒	19,440	2,000枚
	《合計》	19,440	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

<b>領 収 証</b>		No. _____														
宮本光明 様		29年 11月 27日														
金 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">千</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">百</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">十</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">元</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">角</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">分</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">厘</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	千	百	十	元	角	分	厘	1	9	4	4	0			
千	百	十	元	角	分	厘										
1	9	4	4	0												
但し封筒代とし、 上記正に領収いたしました。																
収 入 印 紙	 株式会社 代表取締役 佐藤 博之	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>現金</td> <td style="text-align: right;">1,9850</td> </tr> <tr> <td>小切手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>手形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>相殺</td> <td></td> </tr> </table>	現金	1,9850	小切手		手形		相殺							
現金	1,9850															
小切手																
手形																
相殺																
〒939-2374 富山県富田市長尾町上高善寺946 TEL (076) 455-1201(代) FAX 455-3480																

收受 平成 29 年 11 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 27 日  
 処理 平成 29 年 11 月 27 日

## 請求書

宮本光明様

29年11月14日

下記の通り御請求申し上げます

合計 ¥ 19440


**有限会社 ヤツオ印刷**  
 代表取締役 佐藤 博昭  
 〒939-2374 富山市八尾町上高善寺946  
 TEL(076)455-1201(代) FAX(076)455-3480

品名	数量	単価	金額	備考
長3フジニツッ付封筒	2000枚		16000	
初回版代	1		2000	
消費税(8%)			1440	
合 計			19440	

北陸銀行 八尾支店 ☎4044590 富山信用金庫 八尾支店 ☎0010805 富山第一銀行 八尾支店 ☎068209  
 富山銀行 八尾支店 ☎0000320 あおば農業協同組合 八尾支店 ☎1051214


## 納品書

宮本光明様

29年11月14日

下記の通り納品致しました

合計 ¥ 19440


**有限会社 ヤツオ印刷**  
 代表取締役 佐藤 博昭  
 〒939-2374 富山市八尾町上高善寺946  
 TEL(076)455-1201(代) FAX(076)455-3480

品名	数量	単価	金額	備考
長3フジニツッ付封筒	2000枚		16000	
初回版代	1		2000	
消費税(8%)			1440	
合 計			19440	

北陸銀行 八尾支店 ☎4044590 富山信用金庫 八尾支店 ☎0010805 富山第一銀行 八尾支店 ☎068209  
 富山銀行 八尾支店 ☎0000320 あおば農業協同組合 八尾支店 ☎1051214



料金後納  
郵便

ゆうメール

### 宮本光明県政調査・活動報告

〒939-2303

富山市八尾町大杉3387

TEL (076) 454-5071

FAX (076) 454-6919

E-mail :



<http://www.city8.com/mitsuaki/index.htm>

整理番号	1915	事業概要	インターネット接続料			
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考			
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 11月27日引落			
	メールアドレス追加	129				
	デジタルスタンダード	1,728				
	インターネットセット割引	-540				
	合 計	3,747				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 11 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 27 日  
 処理 平成 29 年 11 月 27 日



1965		新聞代
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費
		04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費
読売新聞	3,093	11月分 /
北日本新聞	3,072	" /
日本経済新聞	4,000	" /
しんぶん赤旗	5,730	" /
富山新聞	3,072	" /
聖教新聞	1,934	" /
公明新聞	1,887	" /
	22,788	/
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>		

收受 平成 29 年 11 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 29 日  
 処理 平成 29 年 11 月 29 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)



### 読売新聞 領収書

区域 003-B 全戸0033

お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様

八尾町大杉3387

29年 11月分

銘	部数	金額
1 読売新聞朝刊	1	3,093
2		
3		
合計		3,093円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

### (株)YC大沢野

八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609

大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



2017年11月分 領収証 電話No 00003144-201711-1

### 宮本 光明 様

大杉3387

銘	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	4,000

合計金額  
**¥7,072**  
(消費税込み)

岡本新聞店

八尾町福島4-162

454-3391

北日本新聞

宮本 光明

### 日本共産党発行の しんぶん赤旗

### 領収書

様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

5,730 円

2017年11月分

上記の金額たしかにいただきました。ありがとうございます。

〒930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山地区委員会

TEL 076-441-3001



領収日

扱者



領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

17年 11月分 / 17年11月8日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 八尾販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当



購読料のお支払いは①金融機関の口座から  
②クレジットカードから③コンビニ払いもあります。

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年11月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年11月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

## その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-12809(031)-1



販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-32769(031)



整理番号*	1966	事業概要*	事務所賃借料			
(使途項目)*	08_事務所費	01_調査研究費	・02_研修費	・03_広聴広報費	・04_要請陳情等活動費	・05_会議費
		06_資料作成費	・07_資料購入費	・08_事務所費	・09_事務費	・10_人件費
内容	年間契約に基づく					
(記述した内容)	経費の内容*	金額*(円)*	備 考			
	11月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生			
	《合 計》*	25,000				
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>						

収受 平成 29 年 11 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 29 日  
 処理 平成 29 年 11 月 29 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

# 領 収 書

宮本明後瑞念事務所様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
 浄化槽清掃料 11月分家賃代  
 浄化槽維持管理料  
 消 費 税

上記正に領収いたしました

成 29年 11月 27日



富山県富山市八尾町角間20-1

(有) 八 尾 衛 生

電話 (076) 454-2487番

整理番号	1767	事業概要	ガス代			
区分項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	ガス代	989	2分の1の按分 11月分			
	(合計)	989				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 11 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 29 日  
 処理 平成 29 年 11 月 29 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領 収 書

収 印  
入 紙

宮本 光明 殿

金 額				¥	1	9	7	9	円
--------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し ガス代として

上記金額正に領収致しました。

平成 29 年 11 月 27 日

分 類	金 額	備 考
現 <input checked="" type="checkbox"/> 金	¥1979	
小 切 手		
手 形		
当 座 振 込		
相 殺		
合 計	¥1979	

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 **大 内 石 油**

TEL 076(455) 1 1 2 8

整理番号	1968	事業概要	賃金			
使途項目	10_人件費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	11月賃金	42,500	[REDACTED]			
	《合計》	42,500				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収証 宮本光明様 No. \_\_\_\_\_

金額 ￥42500

但 11月賃金  
29年11月28日 上記正に領収いたしました

内訳  
 税抜金額 [REDACTED]  
 消費税額(%) [REDACTED]

GR1417

收受 平成 29 年 11 月 29 日  
 決裁 平成 29 年 11 月 29 日  
 処理 平成 29 年 11 月 29 日

## 勤 務 実 績 表

平成29年11月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	水			17	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7
2	木	9 : 00 ~ 16 : 00	6	18	土		
3	金			19	日		
4	土			20	月	9 : 00 ~ 15 : 00	5
5	日			21	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
6	月	9 : 00 ~ 10 : 00	1	22	水	9 : 00 ~ 15 : 00	5
7	火	9 : 00 ~ 15 : 00	5	23	木		
8	水	9 : 00 ~ 15 : 00	5	24	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7
9	木	9 : 00 ~ 15 : 00	5	25	土		
10	金	9 : 00 ~ 15 : 00	5	26	日		
11	土			27	月	9 : 00 ~ 15 : 00	5
12	日			28	火	9 : 00 ~ 15 : 00	5
13	月	9 : 00 ~ 15 : 00	5	29	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
14	火	9 : 00 ~ 15 : 00	5	30	木	9 : 00 ~ 15 : 00	5
15	水	9 : 00 ~ 15 : 00	5				
16	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7				
		小 計	49			小 計	53
						合 計	102

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

整理番号	2081	事業概要	県政調査・活動報告			
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	県政報告	192,240	10,000枚			
	《合計》	192,240				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 12 月 5 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 7 日  
 処理 平成 29 年 12 月 7 日





領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

納品書

No. \_\_\_\_\_

富本 光明 様



企画▷製版▷印刷

林 印刷所

林 直 樹

平成 29 年 11 月 24 日

下記の通り納品致します。ご査収願います。

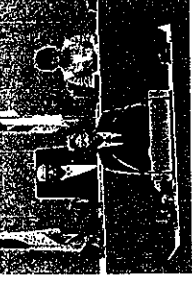
〒939-2376 富山県富山市八尾町福島畑田435-1  
TEL (076) 455-0239 代  
FAX (076) 455-0241  
〒939-2342 富山県富山市八尾町上新町2653  
取引銀行 北陸銀行八尾支店 普 0004650

合計金額 ¥192,240 也

月日	品 名	数 量	単 価	金 額
11/24	活動報告(45-4P)光報 1冊	10,000部	17.80	178,000
摘要			消 費 税	14,240
			合 計	192,240



# 平成29年9月定例会 代表質問項目



**I 地方創生の深化に向けた取組みについて**

1 9月補正予算の編成方針について【知事】  
9月補正予算案は、久しぶりで100億円を超える予算案となったが、地域経済の活性化や防災・減災等に資する社会基盤、生活基盤の整備など多くの重要課題への取り組みを含め、どのような方針で編成したのか問う。

2 新総合計画の策定について【知事】  
新総合計画は、県政と県民が目的意識を共有し、同じ方向をめざして共に取り組んでいく意欲が湧き起こるべきものと必要があると考え、どのような点に工夫して、計画策定に取り組んでいるのか、問う。

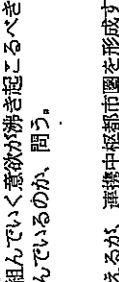
3 連携中核都市圏と県との関係のあり方について【経営管理部長】  
特に医療や地域公共交通などにおいては、県が積極的に関与していくべきと考え、連携中核都市圏を形成する市町村と県との役割や提供されるサービスのあり方をどのように検討していくのか問う。

4 地域公共交通の充実について【知事】  
市町村のまちづくり計画と連携し、地域内の交通ネットワークの充実と利用促進を図っていく必要があるが、路線バスをはじめ、県内の公共交通不便地域の住民の足の確保にどのように取り組むのか問う。

5 立山黒部の世界ブランド化など観光振興について【知事】  
海の見えるスリスリ実現に向け、関電黒部ルート一般開放やハイグレードな宿泊施設の整備、外国人向け滞在プログラムの充実など、立山黒部のブランド化をはじめとした観光振興への取組みについて問う。

6 北信越エリア6県での広域連携による観光振興について【観光・交通・地域振興局長】  
地域間における観光誘客競争が、今後激しさを増していくと考えられるが、北信越エリア6県での広域連携による同遊・滞在型の魅力ある広域観光ルートの造成など、観光振興にどのように取り組むのか問う。

7 中山間地域の振興対策について【商工労働部長】  
中山間地域において人口減少と高齢化が一層深刻化する中、中山間地域の課題と将来像についてどのように認識し、中山間地域の振興対策の充実をどのように取り組んでいくのか問う。



**II 地域経済の活性化について**

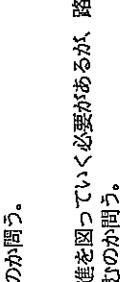
1 伝統工芸産品の振興について【知事】  
富山県美術館などを会場として開催される国際北陸工芸サミットや北陸伝統工芸品展において、本県の伝統工芸産品のPRや県内での利用拡大方策も含め、どのように振興に取り組むのか問う。

2 ものづくり産業振興等のためのリケジョの育成について【商工労働部長】  
ものづくり産業等の振興等のためには、これまで以上にリケジョ育成に積極的に取り組んでいく必要があると考えるが、大学や試験研究機関との連携によるリケジョ育成にどう取り組むのか問う。

3 公共工事の発注量の確保と平準化について【土木部長】  
特に医療や地域公共交通などにおいては、県が積極的に関与していくべきと考え、連携中核都市圏を形成する市町村と県との役割や提供されるサービスのあり方をどのように検討していくのか問う。

4 主食用米の需給調整について【農林水産部長】  
国の主食用米の需給調整の政策転換を見据え、平成30年度以降、需要に応じた主食用米の生産が行われるよう環境整備を進めるべきであるが、どのように国に働きかけ、県として取り組んでいくのか問う。

5 県産材の利用促進について【知事】  
(1) 県産材利用促進基本計画について【知事】

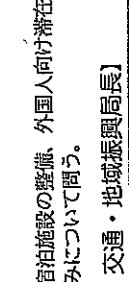


(2) 県産材の流通体制の改革について【知事】  
ICT技術を活用した県産材の需要情報・生産情報の共有化等により、市場ニーズをもとに県産材が無駄なく、低コストで迅速に流通する体制を整備する必要があると考え、今後どのように取り組むのか問う。

(3) 県産材を安定供給するための森林組合への支援について【農林水産部長】  
森林組合が木材を安定して供給できるよう、森林境界の明確化、路網の整備、ICT技術の活用へ向け積極的に支援すべきと考え、どのように取り組むのか問う。

6 森林環境税について【知事】  
国において森林環境税の創設に向けた検討が進められているが、税収の用途、森林整備等の業務に係る県と市町村の新たな役割分担など、国への働きかけを含め、県として今後、どのように取り組んでいくのか問う。

7 「富富」の今年度の販売戦略等について【知事】  
「富富」の平成30年度の本格販売に向け、PRや販売についてどのように計画しているのか、今後のブランド化に向けた取組みと併せて問う。



**III 安全・安心な暮らしの実現について**

1 北朝群情勢に対する危機管理対策について【総合政策局長】  
北朝鮮による弾道ミサイルの相次ぐ発射、水爆実験などが行われる中、県民の命と安全を守るため、県内各地でも高阿で行われたような避難訓練を実施していくべきと考え、どのように取り組んでいくのか問う。

2 国民健康保険の都道府県単位化について【知事】  
平成30年度から国民健康保険の財政運営の主体が都道府県とされるが、保険料の額の大幅な変動や保健医療サービスの極端な低下がないよう、どのように国民健康保険を運営に取り組んでいくのか問う。

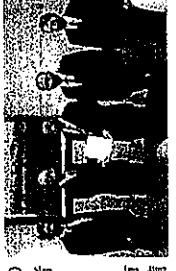
3 障害者の就労支援について【厚生部長】  
「就労継続支援A型事業所」が障害者を大量に解雇する事件が報道されたが、本県において、このような事例が発生しないよう、どのように取り組んでいくのか問う。

4 人生90年時代を見据え、健康づくり無関心層や若年層に対し、健康寿命への意識が高まるよう、取り組みやすい行動目標を掲げた施策の推進にどのように取り組んでいくのか問う。



**IV 県立高校の再編について**

1 県立高校の再編について【知事】  
子どもの数や中学卒業予定者数が減少していく中、質の高い教育と時代の要請に即した教育を子どもたちに提供していくため、小規模校の更なる魅力化・活性化対策や、大規模校の再編など、様々な角度から丁寧に議論を深めるべきと考え、所見を問う。



県産材利用促進条例の基本理念を基本計画の策定にどのように反映するのかが併せて、計画実現のための支援策を取りまとめたアクションプランを関係者に提示する必要があると考え、所見を問う。

(2) 県産材の流通体制の改革について【知事】  
ICT技術を活用した県産材の需要情報・生産情報の共有化等により、市場ニーズをもとに県産材が無駄なく、低コストで迅速に流通する体制を整備する必要があると考え、今後どのように取り組むのか問う。

(3) 県産材を安定供給するための森林組合への支援について【農林水産部長】  
森林組合が木材を安定して供給できるよう、森林境界の明確化、路網の整備、ICT技術の活用へ向け積極的に支援すべきと考え、どのように取り組むのか問う。

6 森林環境税について【知事】  
国において森林環境税の創設に向けた検討が進められているが、税収の用途、森林整備等の業務に係る県と市町村の新たな役割分担など、国への働きかけを含め、県として今後、どのように取り組んでいくのか問う。

7 「富富」の今年度の販売戦略等について【知事】  
「富富」の平成30年度の本格販売に向け、PRや販売についてどのように計画しているのか、今後のブランド化に向けた取組みと併せて問う。



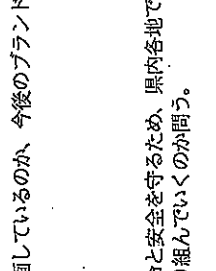
**III 安全・安心な暮らしの実現について**

1 北朝群情勢に対する危機管理対策について【総合政策局長】  
北朝鮮による弾道ミサイルの相次ぐ発射、水爆実験などが行われる中、県民の命と安全を守るため、県内各地でも高阿で行われたような避難訓練を実施していくべきと考え、どのように取り組んでいくのか問う。

2 国民健康保険の都道府県単位化について【知事】  
平成30年度から国民健康保険の財政運営の主体が都道府県とされるが、保険料の額の大幅な変動や保健医療サービスの極端な低下がないよう、どのように国民健康保険を運営に取り組んでいくのか問う。

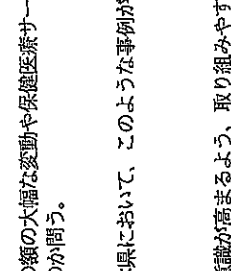
3 障害者の就労支援について【厚生部長】  
「就労継続支援A型事業所」が障害者を大量に解雇する事件が報道されたが、本県において、このような事例が発生しないよう、どのように取り組んでいくのか問う。

4 人生90年時代を見据え、健康づくり無関心層や若年層に対し、健康寿命への意識が高まるよう、取り組みやすい行動目標を掲げた施策の推進にどのように取り組んでいくのか問う。

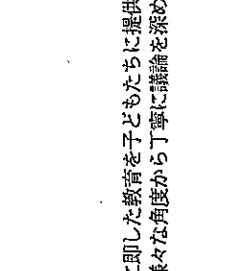


**IV 県立高校の再編について**

1 県立高校の再編について【知事】  
子どもの数や中学卒業予定者数が減少していく中、質の高い教育と時代の要請に即した教育を子どもたちに提供していくため、小規模校の更なる魅力化・活性化対策や、大規模校の再編など、様々な角度から丁寧に議論を深めるべきと考え、所見を問う。

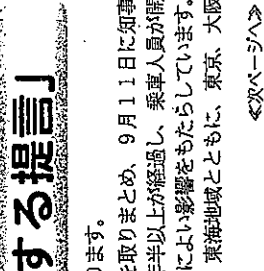


県では、今後の中・長期の本県の発展に資する総合計画策定に取り掛かっており、自民党議員会では、多くの県民の皆様の意見を伺い、この総合計画に対する提言を取りまとめ、9月11日に知事に提出し、施策の実現を求めたところです。その内容は、北陸新幹線の開業から2年半以上が経過し、乗車人員が開業前の3倍近くを維持するなど、新幹線の開業が本県の経済・観光等の幅広い分野により影響をもたらしています。さらに、平成42年度末までに北陸新幹線の大阪延伸が実現すれば、北陸地域は、東海地域とともに、東京、大阪から2時間圏内となり、地理的優位性を備えることとなります。



**富山県「新たな総合計画に対する提言」**

県では、今後の中・長期の本県の発展に資する総合計画策定に取り掛かっており、自民党議員会では、多くの県民の皆様の意見を伺い、この総合計画に対する提言を取りまとめ、9月11日に知事に提出し、施策の実現を求めたところです。その内容は、北陸新幹線の開業から2年半以上が経過し、乗車人員が開業前の3倍近くを維持するなど、新幹線の開業が本県の経済・観光等の幅広い分野により影響をもたらしています。さらに、平成42年度末までに北陸新幹線の大阪延伸が実現すれば、北陸地域は、東海地域とともに、東京、大阪から2時間圏内となり、地理的優位性を備えることとなります。



(1) 県産材の利用促進について【知事】

整理番号	2082	事業概要	電気代
使用項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に属した経費	経費の内容及び	金額(円)	備考
	電気料	4,496	2分の1の按分 11月分
	(合計)	4,496	

《領収書用紙》

貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。

電気料金振込依頼書兼領収書

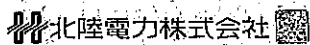
受取人	北陸電力株式会社		
平成 年 月 分	金額		円
29 11	8,992		666
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会		消費税等相当額(再掲) 円
お支払期日	12月20日	積算額(再掲) 円	

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	8992	666
合計	8992	666



北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を領収いたしました。

領収日附印  
11.29  
5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
(お客さま控)2485

收受 平成 29 年 12 月 5 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 7 日  
 処理 平成 29 年 12 月 7 日

案内番号	2100	調査項目*	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
期日	平成29年11月13日 から	活動の概要*	消防調査会 県外視察 (名古屋)	
	平成29年11月14日 まで	(内容)	(備考)	
場所	名古屋市消防局 蒲郡市消防本部	別紙のとおり		
経費の内容*		金額*	経費の内容*	金額*
鉄道・バス		26,000	宿泊料	9,600
タクシー			食事代	
航空機				
自家用車	@37 × km =	0		
リース車	@18 × km =	0		
有料道		4,300		
駐車場		700	計	40,600
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成 29 年 12 月 7 日

# 領 収 証

KB-00030501

発行日 2017/12/07

富山県議会消防調査会 様



印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

金額 ¥286,220.-

上記金額を正に領収いたしました  
但し、愛知県視察費用として

- 現金 286,220 円  
 小切手  
 振込  
 クレジット  
 その他

名鉄観光サービス株式会社  
(本社所在地)  
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
(住友生命名古屋ビル8階)

責任者印	領収者印
	

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

消防調査会 県外視察（名古屋）

月・日 平成29年11月13日(月)～14日(火)

参加者 高野行雄 宮本光明 癩師富士夫 藤井裕久 浅岡弘彦 平木柳太郎 藪田栄治

項目名	単価	数	金額 (7人分)
貸切バス代	183,600	1	183,600
宿泊代金	9,600	7	67,200
有料道路代	30,220	1	30,220
駐車場代	5,200	1	5,200
			286,220

政務活動費 (1人分)
26,000
9,600
4,300
700
40,600

調査会負担
1,600
120
300
2,020



930-8501  
 富山県富山市新総曲輪  
 1-7

富山県議会消防調査会 様



# 請求書

発行日 2017年12月01日  
 予約番号 KB-033288  
 請求番号 KB-00026022  
 名鉄観光サービス株式会社  
 富山支店  
 〒930-0004  
 富山県富山市桜橋通り1番18号  
 北日本桜橋ビル内  
 TEL:076-431-8056 FAX:076-431-2056

**ご請求額**                      **¥286,220.-**

毎度お引立ていただきありがとうございます。  
 下記の通りご請求申し上げます。

内容 愛知県視察

責任者	担当者
	

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
17/11/13	貸切バス代			183,600	1	183,600
	宿泊代金			9,600	7	67,200
	有料道路代			30,220	1	30,220
	駐車場代			5,200	1	5,200
				合計	(A)	286,220
				ご入金済額	(B)	0
				今回請求額	(A)-(B)	286,220

お振込みは、下記口座へ2017年12月08日までにご利用します。

振込先  
 北陸銀行  
 電気ビル支店  
 普通 4153320  
 名鉄観光サービス㈱ 富山支店

備考

消防調査会 県外視察行程表

1日目

		着	発	備 考	
11月13日 (月)	富山県庁本館		8:30	(集合: 8:25 本館正面玄関前)	バス
	移 動			借上バス (242km・有料道路使用で4時間(休憩30分含む)) 高岡砺波スマートICにて合流	
	昼食	12:30	13:20	名古屋市内	
	移 動			借上バス(約40分)	
	①名古屋市消防局 (消防艇)	14:00	16:00	・名古屋市消防局(特別消防隊第5方面隊) 〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭一丁目1-3 TEL 052-972-2083 ・窓口(名古屋市議会事務局) 名古屋市議会事務局総務課 052-972-2083	1泊目
	移 動			借上バス(約45分)	
	宿 舎	16:45		・名古屋ニューグランドホテル 〒453-0015 愛知県名古屋市中村区権町6-9 TEL 052-452-5511(代)	
	移 動			徒歩(約10分)	
夕 食	18:00		名古屋市内		

2日目

		着	発	備 考	
11月14日 (火)	宿 舎		8:30	(名古屋ニューグランドホテル)	バス
	移 動			借上バス(約1時間15分)	
	【訪問先】 ②蒲郡市消防本部	9:45	10:30	・平成22年度全国消防操法大会の概要について 【窓口:愛知県防災局消防保安課】 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 【蒲郡消防本部】 〒443-0005 蒲郡市水竹町下沖田25 TEL 0533-68-0935(代) 【愛知県消防協会】 〒455-0033 名古屋市中区三の丸二丁目3-2 TEL 052-951-1119	
	移 動			借上バス(約15分)	
	③蒲郡ボートレース場 (現地視察)	10:45	11:30	・平成22年度全国消防操法大会の実施状況について 〒443-8503 愛知県蒲郡市竹谷町太田新田1-1 TEL 0533-67-6606 / FAX 0533-69-0451	
	移 動			借上バス(約60分)	
	昼食	12:30	13:15	東名高速道路 上郷SA(下り)にて昼食	
	移 動			借上バス(300km・有料道路使用で3時間(休憩30分含む)) 高岡砺波スマートICにて一部解散	
富山県庁本館	17:45		解散		

県外・海外政務活動報告書

平成29年12月28日

整理番号		会派・議員名 自民党 消防調査会
活動名称	自民党消防調査会 愛知県視察	
目的	愛知県における消防署ならびに消防団活動に関する調査・視察	
日程	平成29年11月13日(月)～11月14日(火)	
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	愛知県 名古屋市、蒲郡市	
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋市消防局(特別消防隊第5方面隊)</li> <li>・蒲郡消防本部、愛知県消防協会</li> </ul>	
<p>行程・活動内容</p> <p>【行程】</p> <p>11/13(月)</p> <p>14:00 名古屋市消防局 消防艇の調査</p> <p>11/14(火)</p> <p>9:45 蒲郡市消防本部 全国消防操法大会について情報交換</p> <p>10:45 蒲郡ボートレース場 全国消防操法大会の現地視察</p> <p>※報告書は別添</p>		

※日帰りの政務活動を含む。

# 政務活動報告書

平成 29 年 11 月 15 日



## 【日程】

11/13(月)	14:00	名古屋市消防局 消防艇の調査
11/14(火)	9:45	蒲郡市消防本部 全国消防操法大会について情報交換
	10:45	蒲郡ポートレース場 全国消防操法大会の現地視察

【実施日程】

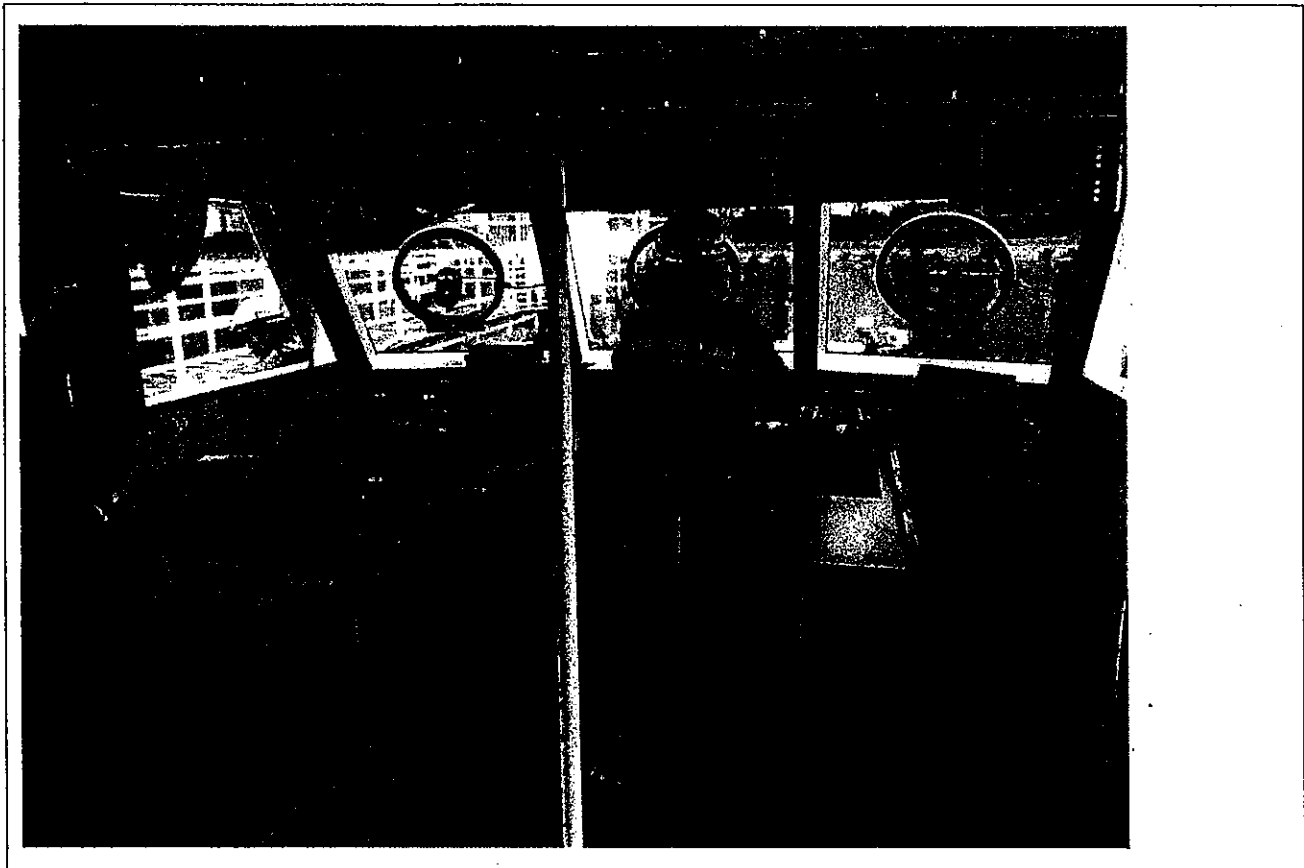
平成 29 年 11 月 13 日(月) 14:00～16:00 名古屋市消防局

【視察内容】

■特別消防隊第五方面隊

- ・ 小型船舶免許での操船が可能であるための小型船。
- ・ 「金竜」スペック紹介 約 40km で操船可能。
- ・ 平成 18 年より前は旧金竜と銀龍の 2 艇で運転していた。
- ・ 維持管理コスト、期間が大幅に短縮されている。
- ・ 免許の要件が変わったことで、操縦できる職員の育成も容易にあった。
- ・ 年間で新規資格取得者は消防局全体で 8 名、うち 1～2 名が金竜に割当。
- ・ 普通の消防車 7.5 台に対して送水できる能力。
- ・ 歓迎放水は港湾管理組合の管理者から依頼が来る。
- ・ 消防団は交通誘導などのサポートに入ることが多い（放水は少ない）。





#### 【実施日程】

平成 29 年 11 月 14 日(火)

9:45～10:30 蒲郡市消防本部 全国消防操法大会の情報交換

10:45～11:30 全国消防操法大会の現地視察

#### 【視察内容】

- ・消防長：当時の市長が愛知万博跡地の使用が困難になった時、即座に手を挙げて誘致。現場サイドは厳しいと考えていたが、消防活動の周知と、蒲郡市の PR を兼ねて実施を強行した。
- ・カップ 10 の開催があり、通常の実行時期より半年ほど遅らせての開催となった
- ・選手宿舎は競艇場の選手寮を活用した。
- ・職員派遣は大会本部→県→各署へ通知（依頼）
- ・蒲郡市では誘導看板の設置、また警備員を配置した。長野県は 400 人の職員が道案内や「おもてなし」を担当したとも聞いている。
- ・大会が近づくにあたり、参画したい消防団が増えて、役割分担を増やすことに苦労した。  
例：ホース撤収担当を午前・午後で分ける等
- ・消防協会事務局長（当時、県庁主幹として対応）：  
競技自体は日本消防が仕切る。前夜祭、防災展、物産展を地元が主催して準備していく。  
仮設スタンド（応援席）を建築基準法で事前届出が必要で手間取った。兵庫県が震災復興 10 周年の開催した際、見切り発車でスタンドを設置した経緯があり、蒲郡市でも早めに準備していった。  
最終的には半月前に許可が出た。

動員について。消防職員は来てくれるが、消防団員は開催地の近隣へ声をかけて、全団から協力を得られた。

競艇場の駐車場は凸凹だったが特に問題なく実施できた。

- ・開催日を含む一週間前から物産展等のため会場は貸し切って開催している。
- ・物産交流展：出番が終わってしまった後は、ずっと待っていることになるため、大型テントでの交流スペースは大変好評であった。特に県を越えての交流（酒盛り）が見られて、大会本部からも高評価につながった。

地元、愛知（県庁に依頼）、全国（日本に依頼）にエリアを分けて実施。

最後まで人が途切れず、ほとんど売り切れる状態となった。

- ・前夜祭（激励交流会）：愛知県に任せたとされていたが、実際には日本側から細かく口を挟んでくる。消防応援団・ゲストの芸能人が来ることもあり、任せることにはならなかった。

日本側は1,000人規模を想定していたが、会場のキャパ都合上、700名程度での開催となった。本来であれば1,000人規模のフロアが必要となってくる。

ゲストは接待にまわるため、日本側が2次会を設定するため、場所の手配が必要となる。打ち上げ会の参加予定者は40名程度であった。

予算：日本1,000万、愛知県500万、その他1,000万円程度

企画立案はイベント会社を介さず、県職員を中心に実施。設営はリース業者へ依頼。

タレント調整が最も苦勞した点。日本の消防応援団から菅原文太さん、水前寺清子さん、平野啓子さんは日本から一人20万円に来てもらった。大和田獏さん、立浪和義さん、小椋久美子さん、葵かを里さん、清水由紀さん等、地元のタレントは、各消防本部に「紹介依頼」を出して、20万円で調整した結果、残った皆さんをお招きした。

地元イベントはプロではなく地元団体への依頼を心がけた。

#### 【質疑】

瘡師：雨天対策はあったか。

→最悪の場合、屋根付き施設を借りようかという話しはあった。最後の表彰式等の対応で想定はしていた。水面下での想定で留まった。

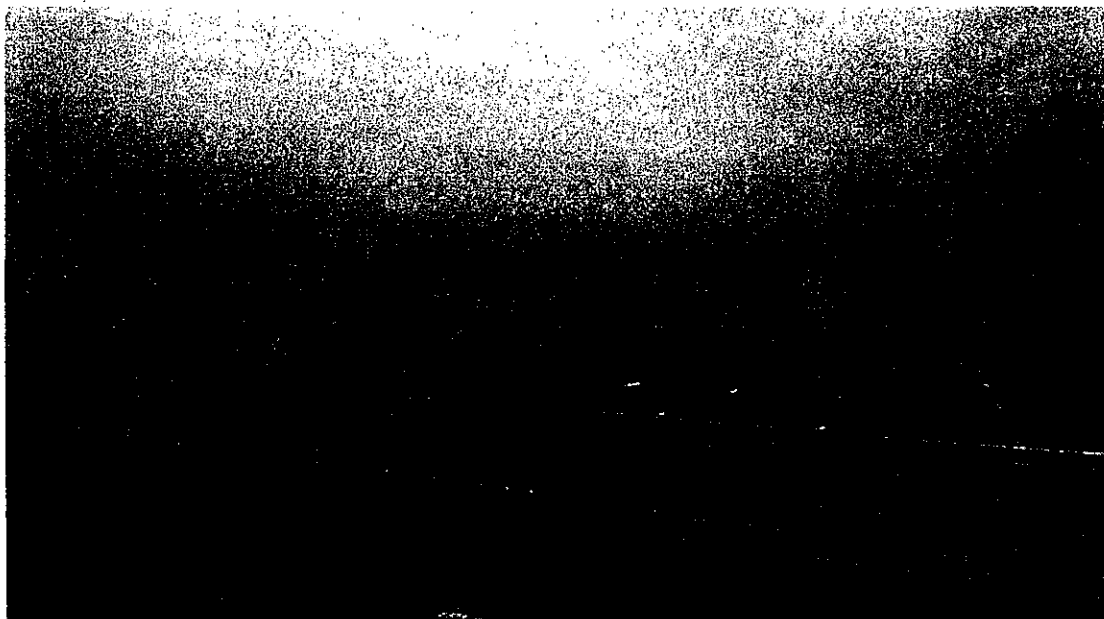
宮本：宿泊スペースについての心配は無いかもしれないが、確保についてはどうだったか。

→当初から懸念材料としてあって、温泉地であるため一定数はある蒲郡市だが、近隣市への流れもあると想定したため、名鉄観光が一律に窓口を依頼した。しかし仕切りが上手くいかず、最終的にはフリーで、各団で手配してもらうことになった。

平木：推進グループの顔ぶれは良かったか。

→もう少し絞ったメンバーでも良かった。実施時期が3ヶ月前と時間がなかったため、慌ただしく調整した。計3回の実施となった。

瘡師：競技で操法自体へ分団の熱量が高かったはずだが、平成 22 年の取り組み状況はどうか。  
→県代表は 4 年毎に小型、ポンプ車と入れ替わりはあったが、県大会から熱が入っていた。通常は小型、ポンプ車のいずれかの出場だが、開催地特権として両方で出場させた。





整理番号	2215	事業概要*	写真代		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	議会撮影写真				
非記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*		備 考	
	議会写真	12,960			
	《合 計》*	12,960			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 12 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日  
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

# 領収証

No. 00000232

2017年12月13日

宮本 光明 様

金額

¥12,960-

内

¥960-

消費税等

但 平成29年11月定例会 一般質問撮影

上記正に領収いたしました

現金			

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

横井 弘幸

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

係







071.jpg



076.jpg



081.jpg



086.jpg



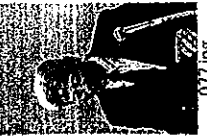
081.jpg



096.jpg



072.jpg



077.jpg



082.jpg



087.jpg



092.jpg



097.jpg



073.jpg



078.jpg



083.jpg



088.jpg



093.jpg



098.jpg



074.jpg



079.jpg



084.jpg



089.jpg



094.jpg



099.jpg



075.jpg



080.jpg



085.jpg



090.jpg



095.jpg



100.jpg

整理番号	2216	事業概要	新聞代			
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	12月分					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考		
	北日本新聞	3,072		/		
	日本経済新聞	4,000		/		
	読売新聞	3,093		/		
	富山新聞	3,072		/		
	公明新聞	1,887		/		
	聖教新聞	1,934		/		
	《合計》	17,058		/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 12 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日  
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

2017年12月分 領収証 発証No.00003144-201712-1

宮本 光明 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	4,000

大杉3387  
合計金額  
**¥7,072**  
(消費税込み)

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

本紙ご購入有様でございます。  
上記金額正に領収いたしました。  
ご不明な点はお電話にてお問い合わせください。

北日本新聞

領収印

読売新聞 領収書 区域003-B 全戸0033 お問合せNo.03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

29年 12月分

銘柄	部数	金額
1 読売新聞朝刊	1	3,093
2		
3		
合計		3,093円

◇左記の通り領収しました  
領収日 年 月 日

(株)YC大沢野  
八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068

領収印  
※裏面もあわせて内容を十分ご確認ください。

領収証 17年 12月分 / 17年12月25日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額 合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)  
富山センター 八尾販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当

ご愛読に感謝いたします。新年を迎えるにあたり、皆様のご多幸をお祈り致します。

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年12月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-32769(031)

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2017年12月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-12809(031)



整理番号	2217	事業概要	事務所賃借料		
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	年間契約に基づく				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考	
	12月事務所賃借料	25,000		(有)八尾衛生	
		《合計》	25,000		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 12 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日  
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

大杉

# 領 収 書

宮本光明様


¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成29年  
浄化槽清掃料 12月分  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

上記正に領収いたしました

文 29年 12月 25日

富山県富山市八尾町角間20-1  
**(有) 八 尾 衛 生**  
電話 (076) 454-2487番



整理番号	2218	事業概要	ガス代								
用途項目	08_事務所費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容											
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考								
	ガス代	1,139	2分の1の按分 12月分								
	《合計》	1,139									
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)											

收受 平成 29 年 12 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日  
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領 収 書

収 印  
入 紙

宮本光明 殿

金 額				2	2	7	9	円
--------	--	--	--	---	---	---	---	---

但しは月度が大代金

上記金額正に領収致しました。

平成29年12月25日

分 類	金 額	備 考
現 <sup>✓</sup> 金	2279	
小 切 手		
手 形		
当座振込		
相 殺		
合 計	2279	

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 **大 内 石 油**

TEL 076(455) 1 1 2 8

整理番号	2219	事業概要	電話代
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容			
	経費の内容	金額(円)	備考
	電話料	3,303	2分の1の按分 12月分
	《合計》	3,303	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴 電話料金等払込受領証 すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

<p>ATMまたはゆうちょ銀行・郵便局でお支払の場合は、左欄を様式にお出しください。上記以外のお支払の場合は切り取らなくても構いません。</p>	<p>西日本ご利用分</p> <p>ご請求先氏名 宮本光明後援会 様</p> <p>お客様番号 [REDACTED]</p> <p>2017年12月ご請求分</p> <p>金額(円) ¥6,606-</p> <p>受取人 NTTファイナンス株式会社</p> <p>お問合せ先 (無料) 0800-3335550</p> <p>領収日・附印 17.12.18</p> <p>収入印紙貼付欄 (金融機関・CVS用)→お客様</p>
--	---

收受 平成 29 年 12 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日  
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

整理番号	2220	事業概要	インターネット接続料		
債権項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 12月27日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	《合計》	3,747			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 12 月 25 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日  
 処理 平成 29 年 12 月 26 日



整理番号	2251	事業概要	新聞代			
使金項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に用いた経費	経費の内容	金額(円)		備 考		
	日刊 しんぶん赤旗	3,497		/		
	しんぶん赤旗 日曜版	823		/		
	日刊紙 郵送料	1,410		/		
	(合 計)	5,730		/		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

宮本 光明

様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410



日本共産党発行の  
**しんぶん赤旗**

領 収 書

5,730 円

2017 年 12 月分

上記の金額だけにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
TEL076-441-3001


領 収 日 / 扱 者

收受 平成 29 年 12 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 27 日  
 処理 平成 29 年 12 月 28 日



整理番号	2252	事業概要	賃金								
使用項目	10_人件費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容											
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考								
	12月賃金	42,500	[Redacted]								
	《合計》	42,500									

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

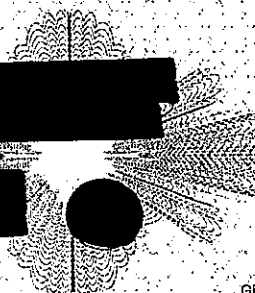


領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

金額	¥ 42,500
----	----------

但 12月賃金  
29年 12月26日 上記正に領収いたしました

内訳	[Redacted]
税抜金額	[Redacted]
消費税額(%)	[Redacted]



GR1417

收受 平成 29 年 12 月 27 日  
 決裁 平成 29 年 12 月 27 日  
 処理 平成 29 年 12 月 28 日

勤 務 実 績 表

平成29年12月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	17	日		
2	土			18	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
3	日			19	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
4	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5	20	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
5	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5	21	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5
6	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5	22	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5
7	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	23	土		
8	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	24	日		
9	土			25	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
10	日			26	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
11	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5	27	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
12	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5	28	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5
13	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5	29	金		
14	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	30	土		
15	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7	31	日		
16	土						
		小 計	57			小 計	45
						合 計	102

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

整理番号	2272		用途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成29年11月8日	から	活動の概要	神通砂防視察	
	平成29年10月9日	まで	(内容)	(備考)	
場所	奥飛驒 神岡町		別紙のとおり		費用の一部は議連負担
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス		6,500	宿泊料		8,500
タクシー			食事代		
航空機					
自家用車	@37 ×	km =	0		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場			計		15,000
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成29年12月25日

# 領 収 証

平成 29年 12月 25日

№ 077974

富山県議会砂防事業促進協議会 殿

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
				4	2	1	0	720



但し

上記金額正に受領致しました

- 新富観光バス
- 海外・国内旅行
- 損保代理店

**新富観光サービス株式会社**

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 本社 富山市上野322<br>〒939-8195 ☎ (076) 428-5544     | <input type="checkbox"/> アピア店 富山市御幸町1-1<br>〒930-0010 ☎ (076) 445-023            |
| <input type="checkbox"/> バスセンター 富山市上野322<br>〒939-8195 ☎ (076) 429-8448 | <input type="checkbox"/> 魚津店 魚津市上村1-10<br>〒937-0046 オセルビル2階<br>☎ (0765) 24-7110 |

担当者印	現金
●	4210720
受注No 3044428	

社印及び取扱者印なきもの又は金額訂正は無効です

3×50×300

〒

## 新富観光サービス株式会社

富山県議会砂防事業促進協議会 様

本 社 〒939-8195 富山市上野322 Tel (076) 428-5544  
 ハ スセンター 〒939-8195 富山市上野322 Tel (076) 429-8448  
 アピア店 〒930-0010 富山市稲荷元町2-11-1 Tel (076) 445-3223  
 魚津店 〒937-0046 魚津市上村木1-1-10 Tel (0765) 24-7110  
 オセルビル2階

支店番号 3044428	印 
-----------------	-------

毎度ありがとうございます。  
下記の通りご請求申し上げます。

旅行実施日	利用額	入金額
2017/11/08 2017/11/09	210,720	

今回ご請求額
210,720

商品名・摘要	数量	単価	金額
貸切バス代	1	90,720	90,720
宿泊代	12	10,000	120,000

ご利用合計額	210,720
--------	---------

取引銀行 北陸銀行越前町支店 (普)1104610  
 富山第一銀行富山南町支店 (当) 014442  
 富山信用金庫大泉支店 (当) 002586  
 三井住友銀行 富山支店 (普) 0458570

※お支払いは 月 日までをお願い申し上げます。  
尚、振込手数料はお客様ご負担にてお願い申し上げます。

口座名 新富観光サービス株式会社

富山県議会砂防事業促進議員連盟  
神通砂防視察:経費(平成29年11月8日~9日)

参加者	会派	貸切バス代		宿代		合計	
		政務活動費	議連負担額	政務活動費	議連負担額	政務活動費	議連負担額
中川 忠昭	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
山辺 美嗣	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
宮本 光明	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
山本 徹	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
瘡師富士夫	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
藤井 裕久	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
浅岡 弘彦	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
井上 学	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
山崎 宗良	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
川島 国	自民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
小計		65,000	10,600	85,000	15,000	150,000	25,600
		75,600		100,000		175,600	
吉田 勉	公明	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
島村 進	社民	6,500	1,060	8,500	1,500	15,000	2,560
小計		13,000	2,120	17,000	3,000	30,000	5,120
		15,120		20,000		35,120	
合計		78,000	12,720	102,000	18,000	180,000	30,720
		90,720		120,000		210,720	

# 県外・海外政務活動報告書

平成 29 年 12 月 14 日

整理番号			会派・議員名 自民党富山県議会議員会政調会
活動名称	富山県議会 砂防事業促進議員連盟 現地視察		
目的	神通川水系、直轄砂防事業の視察		
日程	平成 29 年 11 月 8 日 (水) ~ 平成 29 年 11 月 9 日 (木)		
場所 〔 国名・都市名、 施設名、訪問先等 〕	奥飛騨砂防塾→新穂高溪流保全工→地獄平砂防えん堤・たから流路工→しのぶ砂防えん堤 白谷砂防えん堤群→神岡鉄山駅→六郎谷		
相手方等 〔 主催者、対応者、 参加者、同行者等 〕	国土交通省 北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所 所長 岩 館 知 哉 様		参加者別紙
行程・活動内容  別紙			

※日帰りの政務活動を含む。

平成 29 年 12 月 14 日

## 富山県議会 砂防事業促進議員連盟 現地視察報告

【全行程】平成 29 年 11 月 8～9 日

洞谷・たから流路工・地獄平砂防堰堤～奥飛驒砂防塾～鍋平ヘリポート～新穂高溪流保全工  
～しのぶ砂防堰堤～平湯大滝～白谷砂防堰堤群～神岡鉱山駅。

【参加者】中川会長、山辺理事、宮本理事、山本事務局長、瘡師議員、藤井議員、浅岡議員、吉田議員  
井上議員、山崎議員、川島議員、島村議員。

土木部（森田砂防課長、斎藤課長補佐、吉崎技師）



計 15 名

【報 告】富山平野を流れる神通川流域の安全と暮らしを守る神通川水系直轄砂防事業の現場を視察し、事業の進捗や課題を捉えることで、富山平野の安心安全に繋げていくことを目的として現地視察を行いました。流域内 38 万人の命と生活を守るために、神通川水系砂防事務所では、新猪谷ダムより上流の 761 km<sup>2</sup>で砂防事業が実施されています。上流域の状況（蒲田川・平湯川）は、脆弱で崩れやすい地質、急流河川という地形条件に加え、多雨多雪地帯という気象状況によって、下流域に土砂が大量に流出しやすい流域特性を持っているとのこと。奥飛驒さぼろ塾では、明治・大正・昭和・平成にかけての流域災害の詳細履歴から神通川水系砂防の概要、砂防の技術・歴史について岩館事務所長から説明を受けました。二度の大崩落があった外ヶ谷では、昭和 28 年の大崩落では、500 万 m<sup>3</sup>の土砂量が記録され、子供 3 人の命が奪われました。翌 29 年に神通川水系砂防工事事務所が設置され、現在まで砂防堰堤 16 基、谷の安定が図られています。新穂高溪流保全工は、国内最大級の雪崩が発生している危険な地区だが、流出土砂の抑制を図る土砂災害防止施設（溪流保全工）計画延長 600m を平成 32 年度完成へ向け整備されている。しのぶ砂防堰堤は、旧上宝村長（今井しのぶ氏）の功績を称え、合わせて「奥飛驒を偲ぶ」溪流空間の拠点となるよう命名され、地域住民の安全を確保するとともに、平湯川の豊かな自然と親しめる溪流空間を創出している。滝谷流路工や白谷砂防堰堤群においても、景観に配慮した砂防施設が整備され、下流域の住民の安心安全を確保している。

【提 言】神通川水系直轄砂防事業は、長期に渡り、過去の不幸な災害事故を教訓として着実に整備が進められ富山平野下流域住民の安全と安心を確保している。県民が広くそのことに理解を深め、事業進捗を早期に進めていけるように広報活動にも注力していくべきと提言いたします。



# 富山県議会 砂防事業促進議員連盟 現地視察 行程

時 刻	行 先
11月8日 (水)	
12:55	議事堂発
14:58	【説明者：北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所長 岩館知哉】
15:28	①洞谷、たから流路工、地獄平砂防えん堤 (車窓から視察)
14:58	②奥飛騨さぼう塾
15:28	展示資料により神通川水系砂防の概要や砂防の技術・歴史について岩館事務所長から説明を受ける。
	
15:36	③外ヶ谷砂防事業、北アルプス大橋
15:43	北アルプス大橋の上から外ヶ谷の斜面崩落の状況や砂防堰堤工事について説明を受ける。
	

15:55 ④新穂高溪流保全工

～  
16:03 新穂高温泉や新穂高ロープウェイがあり、多くの観光客が訪れる新穂高地区において、景観や親水性にも配慮しつつ流出土砂を安全に流下させる溪流保全工が整備中である。



16:18 ⑥しのぶ砂防えん堤

～  
16:35 平湯川最下流の砂防堰堤で、地域住民の安全を確保するとともに平湯川の豊かな自然と親しめる溪流空間を創出し、地域振興の拠点となること目指して建設された。

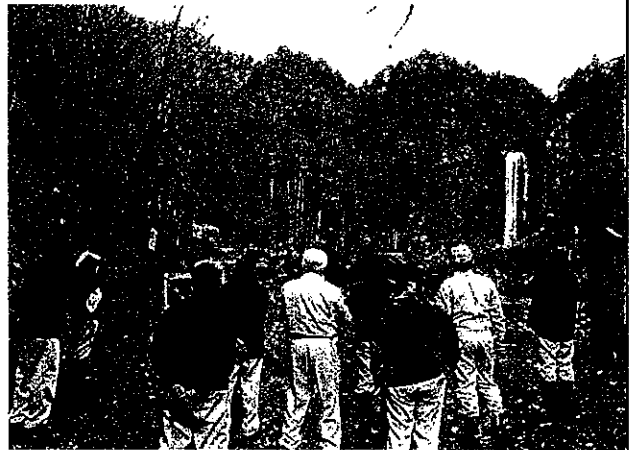
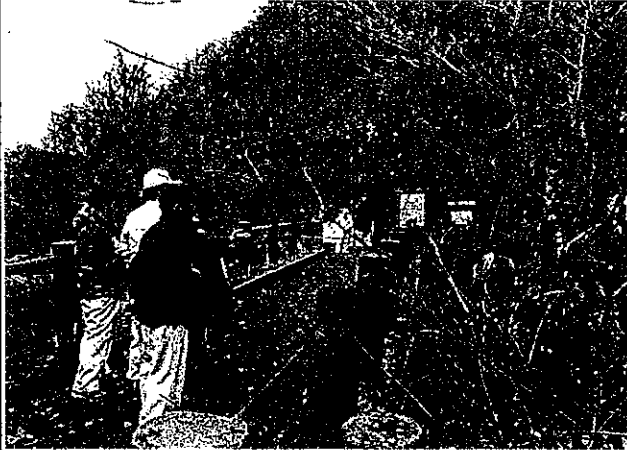


11月9日 (木)

8:07 ⑦滝谷流路工(平湯大滝)

~  
8:21

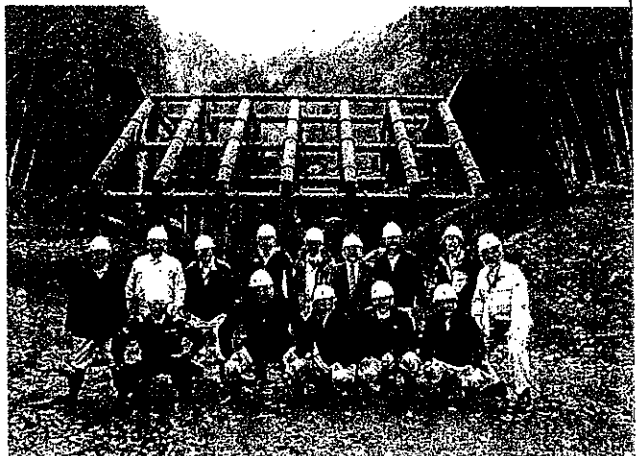
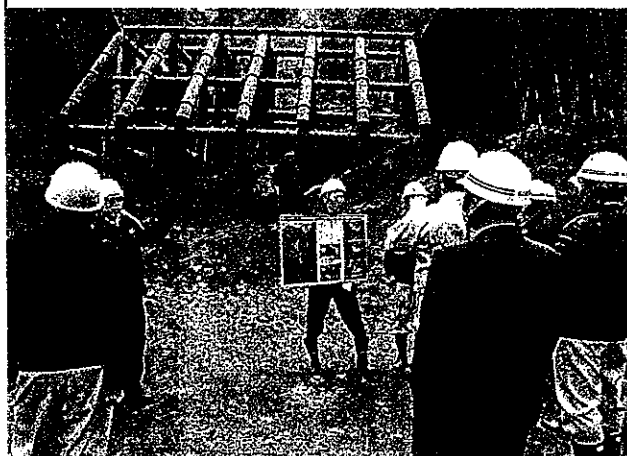
上流部には平湯大滝、中流部には平湯温泉スキー場、下流部には国道158号が横断する観光地であることから、景観に配慮し、自然環境や親水性に配慮した砂防施設が整備されている。



8:25 ⑧白谷砂防えん堤群

~  
9:15

白谷は、土石流が頻発し大量の土砂が平湯川へ流出しているが、下流には観光・物流ルートとして重要な国道471号があるため、昭和63年から直轄砂防事業として着手された。これまでに5基の砂防堰堤が完成しており、現在、第3号堰堤が施工中。



11:30

議事堂着

富山県・砂防議員連盟 現地視察 日程 (案)

時 間	内 容	
11月8日 (水)		
12:50	議事堂発	
15:00	奥飛騨砂防塾	事業概要説明 (奥飛騨地先)
15:30		
15:35	新穂高溪流保全工	現地視察 (奥飛騨地先)
15:50		
15:55	右俣4号	現地視察 (奥飛騨地先)
16:10		
16:20	地獄平砂防えん堤・たから流路工・洞谷	現地視察 (奥飛騨地先：車中より)
16:25		
16:30	しのぶ砂防えん堤	現地視察 (奥飛騨地先)
16:50		
17:05	宿泊場所 着 【穂高荘 山がの湯】 (平湯温泉)	住所：岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯138 電話：0578-89-2306
11月9日 (木)		
8:30	宿泊場所 出発	
8:40		
9:10	白谷砂防えん堤群	現地視察 (奥飛騨地先)
9:50		
10:05	神岡鉱山駅	現地視察 (飛騨市神岡町)
10:10		
10:30	六郎谷	現地視察 (飛騨市神岡町)
11:20		
12:00	議事堂着	

11/8  
11/9  
平成29年9月12日

富山県議会砂防事業促進議員連盟  
会 員 各 位

富山県議会砂防事業促進議員連盟  
会 長 中 川 忠 昭

県外視察（神通砂防）の実施について

このことについて、当議員連盟として、下記のとおり視察を実施することといたしますので、ご多用の折りとは存じますが、ご参加くださいますようお願いいたします。

なお、出欠については、別紙により9月27日（水）までに各控室又は議会事務局（調査課）へ提出してくださるようお願いいたします。

記

- 1 実施日 平成29年11月8日（水）～9日（木）（1泊2日）
- 2 日 程 別紙のとおり
- 3 参加費 1人15,000円  
借上げバス、食事代の一部は議連から負担します。
- 4 その他
  - ・当日の服装について  
作業服着用、長靴持参でお願いします。  
（ヘルメットは準備いたします。）
  - ・宿泊旅館について  
原則5人部屋になります。

整理番号	2316	事業概要	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		05_会議費	08_事務所費
		09_事務費	10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電気料	4,532	2分の1の按分 12月分
	(合計)	4,532	

《領収書貼付》

貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社		
平成 年 月 日	金額		円
29 12	9065		
振込人 (ご契約名)	消費税等相当額(再掲) 円		
宮本光明後援会	671		
お支払期日	積算額(再掲) 円		
1月18日			
この日を過ぎますと延滞利息を申し受けま			
ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387			
お客さま番号 [REDACTED] 計区 17			
契約	金額	消費税等相当額	
211	9065	671	
合計	9065	671	

北陸電力株式会社  
 〒930-0801 富山市三ツ木  
 TEL 0120-776453  
 領収日/附印  
 5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
 (お客さま控)2485

收受 平成 30年 1月 5日  
 決裁 平成 30年 1月 9日  
 処理 平成 30年 1月 9日

整理番号	2017	事業概要	携帯電話代		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 ・02_研修費 ・03_広聴広報費 ・04_要請陳情等活動費 ・05_会議費 06_資料作成費 ・07_資料購入費 ・08_事務所費 ・09_事務費 ・10_人件費			
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考		
	携帯電話代	4,402	規定により5割 6月利用の7月請求分 /		
	〃	3,831	規定により5割 7月利用の8月請求分 /		
	〃	3,919	規定により5割 8月利用の10月請求分 /		
	〃	3,745	規定により5割 9月利用の10月請求分 /		
	〃	11,440	規定により5割 10月利用の11月請求分		
	《合 計》	27,337	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
1729-07-31		*8,804		トコモ ケイタイ	
29-08-31		*7,663		トコモ ケイタイ	
29-10-02		*7,839		トコモ ケイタイ	
29-10-31		*7,491		トコモ ケイタイ	
29-11-30		*22,881		トコモ ケイタイ	

收受 平成 30 年 1 月 5 日  
 決裁 平成 30 年 1 月 9 日  
 処理 平成 30 年 1 月 9 日

整理番号	2353	事業概要	県政報告・活動報告		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	県政調査・活動報告郵送料	124,379	2,039通		
	《合計》*	124,379			

振替払込請求書 兼受領証

通常払込料金 加入者負担

00180 3 901196

加入者名 日本郵便株式会社

金額 1 2 4 3 7 9

939-2451 富山県富山市八尾町 平沢381

宮本 光明 様

日附印 30-01-11 富山県庁内郵便局 (32185) N94140008

この受領証は、大切に保管してください。

(ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとところ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。



收受 平成 30年 / 月 12日  
 決裁 平成 30年 / 月 15日  
 処理 平成 30年 / 月 15日



領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

請求書 (Bill)

宮本 光明

様

日本郵便株式会社



平素は、格別のお引き立てに預かり、誠にありがとうございます。  
料金後納ご利用額につき、下記のとおりご請求させていただきます。  
同封の払込取扱票にて、最寄りの郵便局またはゆうちょ銀行でお振込みください。  
※ゆうちょダイレクトによるご送金はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】  
富山西郵便局  
電話：076-427-1580

ご請求番号 (Billing ID)	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)	発行日 (Date of Issue)
320010-1005686-00	124,379 円 (うち消費税相当額) 9,213 円	2018年 1月 31日	2018年 1月 6日
ご請求の内訳 (Billing Details)			
2017/12/01~2017/12/31 料金後納ご利用額 124,379円			

お支払期限までにお支払いいただけない場合、その期限の翌日から年14.5%の延滞利息をお支払いいたします。  
「犯罪による収益の移転防止に関する法律」(平成19年法律第22号)により、10万円を超える額をお支払の際には、ご利用金融機関の窓口において、お客さまご本人のお名前、ご住所、生年月日が記載された証明書類をご提示いただくことが必要となります(詳しくは最寄の郵便局またはゆうちょ銀行にお問合せください)。

後納郵便物等  
取扱票(お客様用)

宮本 光明 様

2001026818-000002-  
0000000001-000001

【後納引受】  
1 ゆうメール特別

50g 県内  
061 2,039通  
¥124,379

合計 ¥124,379

〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時：2017年12月 1日 12:35  
担当：[REDACTED]  
発行No. 171201K2482 端341039117  
連絡先：富山西郵便局  
TEL:076-427-1580

取扱局 2001-320100  
後納承認局 2001-320010  
後納お取引番号 0001471798

この控は領収書ではありません。  
各料金明細、合計は実際の請求と  
異なることがあります。

整理番号	2354	事業概要*	水道代
使途項目*	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	水道料	3,542	2分の1の按分
	《合計》*	3,542	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



平成29年度富山市水道料金等  
納入通知書兼領収書

お客さま番号 [REDACTED]

使用後 様  
宮本光明後援会事務所

納入者 様  
宮本光明後援会事務所

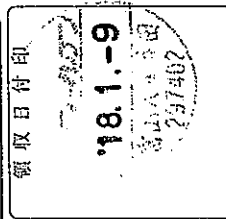
発行日 平成30年1月4日

納期限 平成30年1月15日

給水装置場所  
富山市八咫町大杉 3387

使用期間	平成29.10.5~平成29.12.4
口径	13mm
用途	営業用
上水道使用水量	28m <sup>3</sup>
下水道使用水量	28m <sup>3</sup>
し尿くみ取り日・量	月 日 月 日 月 日

平成29年12月請求分	水道料	3,110円
	内消費税	( 230円)
	下水道使用料	3,974円
	内消費税	( 294円)
	し尿くみ取り手数料	0円
	内消費税	( 0円)
	合計金額	7,084円
	内消費税	( 524円)



領収日付印  
お問合せ窓口は裏面に記載しております。  
\*領収日付印の押印によって効力が生じます。



富山市上下水道事業管理課  
富山市上下水道局  
富山市納税・取納取扱金庫機関  
及びコンビニエンスでは取入印紙不要

取納代行会社  
株式会社 (株)電算システム  
(電話番号) 00720-5-960609  
加入者名 富山市上下水道事業管理課 (お客さま様)

收受 平成30年1月12日  
 決裁 平成30年1月15日  
 処理 平成30年1月15日

整理番号	2486	事業概要	富山新聞政経文化懇話会		
使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容	富山新聞政経文化懇話会 1~3月分会費				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	富山新聞政経文化懇話会 会費	15,000	月額5000円		
	《合計》	15,000			

《領収書貼付枠》 (原則、

貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

**北陸銀行 キャッシュカードサービス  
ご利用控**

いつもご利用いただき、ありがとうございます。  
ご利用の詳細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	端末番号	処理番号	日付
お振込	0014451	30-01-23	
銀行番号	預金府番号	科目・口座番号	取扱店番号
			119
紙幣枚数		硬貨枚数	
万円	千円	千円	500円
100円	50円	10円	5円
1円			
006000000001	000000000000		
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
09:53	¥486円	¥60,000円	
おつり	お取引後の残高*		
¥514円	円		

手数料のうち振込手数料 ¥486  
000018

トヤマリソフブソセイカイフソツカコソフカイ 様  
ミヤエト ミツアキ 様

電話番号 076-458-1235

裏面もあわせてご覧ください。

収受 平成 30 年 / 月 30 日  
 決裁 平成 30 年 1 月 31 日  
 処理 平成 30 年 1 月 31 日



整理番号	2487	事業概要	新聞購読代			
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容						
上記事業に属した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	日本教育新聞代	8,100	2018年 1~3月分	株式会社 日本教育新聞社		
	《合計》	8,100				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 30 年 / 月 30 日  
 決裁 平成 30 年 / 月 31 日  
 処理 平成 30 年 / 月 31 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。	0 0 1 5 0 8 1 9 6 5 0 0	CVS 収納用 収入印紙貼付欄
	<b>日本教育新聞社</b>	
	金 額 1 6 2 0 0	
	振込先 銀行 支店 おなまえ 347080	
	ご依頼人 宮本 光明	
(お客様控え)	料 金 円 附 印 3	(ゆうちょ銀行)
	備 考	

㊟ 1~3 8700  
㊟ 4~6 8700

請 求 書

2018年 1月 9日

宮本 光明

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。  
下記の通りご請求申し上げます。  
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。



株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 林 幹 長

東京都港区虎ノ門 8  
電話 03 (03) 4777-1111

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店 普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社

合計請求額	16,200 円
-------	----------

読者コード	XXXXXXXXXX
-------	------------

請求書番号	0004054341
-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				16,200 円	2017/07-2017/12
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2018/01-2018/06
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2018/01-2018/06

総額	2488	新聞代
用途	07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容		

発行の内容	金額(円)	備考
北日本新聞	3,072	1月分 /
日本経済新聞	4,000	" /
しんぶん赤旗	5,730	" /
聖教新聞	1,934	" /
公明新聞	1,887	" /
富山新聞	3,072	" /
読売新聞	3,093	" /
《合計》	22,788	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2018年1月分 領収証 発証No.00003144-201801-1

宮本 光明 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	4,000

大杉3387  
合計金額  
**¥7,072**  
(消費税込み)

〒100-0001 東京都千代田区千代田

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

毎度ご購入有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 発行

北日本新聞

領収印

收受 平成 30 年 / 月 30 日  
決裁 平成 30 年 / 月 3 / 日  
処理 平成 30 年 / 月 3 / 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

18年 01月分 / 18年 / 月 / 日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
 富山センター 八尾販売所  
 富山市黒崎588  
 TEL 076-493-1160  
 FAX 076-493-1140

集金担当



今年もみなさまのご健康とご健勝をお祈り申し上げます。雪害と体調管に、ご留意を。



## 読売新聞 領収書

区域003-B 全戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

30年 1月分

	銘柄	部数	金額
1	読売新聞朝刊	1	3,093
2			
3			
合計			3,093円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

### (株)YC大沢野

八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



\*裏面もあわせて内容を十分お読みください。



宮本 光明

日本共産党発行の  
**しんぶん赤旗**

領収書

様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

5,730 円

2018 年 1 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。  
〒930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
TEL:076-441-3001



領収日 / 扱者

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購読ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018 年 1 月分 領収日 月 日  
領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購読ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018 年 1 月分 領収日 月 日  
領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-12809(031)-2

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-32769(031)

整理番号	2489	事業概要	事務所賃借料			
用途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費	・05_会議費 ・10_人件費
内容	年間契約に基づく					
上記事業に要した総費	経費の内容*	金額(円)*	備 考			
	1月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生			
	《合 計》	25,000				

《領収

すること。)

**領 収 書**

宮本光明後援会事務局様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成30年1月分  
 浄化槽清掃料 家賃  
 浄化槽維持管理料  
 消 費 税

上記正に領収いたしました

成 30 年 / 月 28 日

富山県富山市八尾町角間20-1  
**(有) 八 尾 衛 生**  
 電話 (076) 454-2487番



収受 平成 30 年 / 月 30 日  
 決裁 平成 30 年 / 月 31 日  
 処理 平成 30 年 / 月 31 日

整理番号	2490	事業概要	電話代
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費

内容	
----	--

格別の内容	金額(円)	備考
電話代	2,506	2分の1の按分 1月分
合計	2,506	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴収すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電話料金等払込受領証

西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2018年 1月ご請求分  
金額(円)  
¥5,012-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

領収日 附印  
18.1.18

収入印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 30 年 / 月 30 日  
 決裁 平成 30 年 / 月 31 日  
 処理 平成 30 年 / 月 31 日


整理番号	2491	事業概要	インターネット接続料			
使用項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費	・05_会議費 ・10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考			
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 1月29日引落			
	メールアドレス追加	129				
	デジタルスタンダード	1,728				
	インターネットセット割引	-540				
	(合計)	3,747				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 30 年 1 月 30 日  
 決裁 平成 30 年 1 月 31 日  
 処理 平成 30 年 1 月 31 日



整理番号	2492	事業概要	賃金			
使途項目	10_人件費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容						
上記事業に要した総費	総費の内容	金額(円)	備考			
	1月賃金	42,500	[Redacted]			
	(合計)	42,500				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

金額 ¥42500

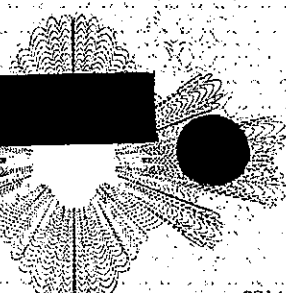
但 1月賃金

30年1月29日 上記正に領収いたしました

内訳 [Redacted]

税抜金額 [Redacted]

消費税額(%) [Redacted]



GR1417

收受 平成 30 年 / 月 30 日  
 決裁 平成 30 年 / 月 31 日  
 処理 平成 30 年 / 月 31 日

勤 務 実 績 表

平成30年1月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	月			17	水	9 : 00 ~ 17 : 00	7
2	火			18	木	9 : 00 ~ 17 : 00	7
3	水			19	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5
4	木			20	土		
5	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	21	日		
6	土			22	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
7	日			23	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
8	月			24	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
9	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5	25	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5
10	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5	26	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5
11	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	27	土		
12	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	28	日		
13	土			29	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
14	日			30	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
15	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	31	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
16	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5				
		小 計	37			小 計	59
						合 計	96

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

整理番号	2669	事業概要	北日本政経懇話会		
使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
内容	北日本政経懇話会 1~3月分会費				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	北日本政経懇話会 会費	27,000	月額9000円		
	《合計》	27,000			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
30-02-13     *54,000   セイコンカ化					

収受 平成 30 年 2 月 19 日  
 決裁 平成 30 年 2 月 19 日  
 処理 平成 30 年 2 月 20 日



# 請求書

平成30年 1月 15日

富山県議会議員  
宮本 光明 様

北日本政経懇話会  
会長

〒930-0094  
富山市安住町(北善寺)  
北日本新聞社経営企画部  
TEL076(446)8628  
FAX076(444)9180

平成30年上期会費として、下記のご請求額を貴社の指定口座から平成30年2月13日(火)に引き落としますので、よろしくお願い申し上げます。

請求金額 54,000円

摘要	金額
平成30年上期会費(平成30年1月-6月) 9,000円×6カ月	54,000円
合計54,000円	
備考 会費(1カ月9,000円)は6カ月、半期ごとにお支払いをお願いしております。	


②9 1~3 27,000  
③0 4~6 27,000

整理番号	2670	事業概要*	携帯電話代		
使途項目*	09_事務費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考		
	携帯電話代	3,729	規定より5割	11月利用の12月請求分	/
	"	7,745	規定より5割	12月利用の1月請求分	
	《合計》*	11,474	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
30-01-04		*7,459	トコモ ケイタイ		
30-01-31		*15,491	トコモ ケイタイ		

收受 平成 30 年 2 月 19 日  
 決裁 平成 30 年 2 月 19 日  
 処理 平成 30 年 2 月 20 日

整理番号	2770	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	2月分		
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	日刊「しんぶん赤旗」	3,497	/
	「しんぶん赤旗」日曜版	823	/
	日刊紙郵送料	1,410	/
	読売新聞	3,093	/
	公明新聞	1,887	/
	聖教新聞	1,934	/
《合計》	12,644	/	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

宮本 光明		様		日本共産党発行の <b>しんぶん赤旗</b>	
新聞・雑誌名	部数	金額	領収書		
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497	5,730 円		
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823	2018 年 2 月分		
日刊紙郵送料		1,410	上記の金額たしかにいただきました。 ありがとうございました。		
		〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12 日本共産党富山地区委員会 TEL076-441-3001			
		領収日	/	投者	

收受 平成 30 年 2 月 27 日  
 決裁 平成 30 年 2 月 28 日  
 処理 平成 30 年 2 月 28 日



# 読売新聞 領収書

区域003-B 全戸0033

お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

30年 2月分

銘柄	部数	金額	
1 読売新聞朝刊	1	3,093	◇左記の通り領収しました
2			
3			
合計		3,093円	領収日 年 月 日

## (株)YC大沢野

八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
 大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

### 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購読ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018年2月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

### その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
 住所 富山市笹津536  
 TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-32769(031)

### 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購読ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018年2月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

販売店 村上 広行  
 住所 富山市笹津536  
 TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648



お申込No. 16012-12809(031)-1

整理番号	2771	事業概要	事務所賃借料		
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	年間契約に基づく				
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	2月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生		
	《合計》	25,000			

《領収書

ること。)

領 収 書  
 宮本光明後援会事務所 様  
 ￥ 50,000.- 円也  
 但し、汲 取 料 平成30年  
 浄化槽清掃料 2月分 家賃代  
 浄化槽維持管理料  
 消 費 税  
 上記正に領収いたしました。  
 30年2月26日  
 富山県富山市八尾町角間20-1  
 (有)八尾衛生  
 電話 (076) 454-2487番



收受 平成 30 年 2 月 26 日  
 決裁 平成 30 年 2 月 2 日  
 処理 平成 年 月 日

整理番号	2772	事業概要	ガス代			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費	・02_研修費	・03_広聴広報費	・04_要請陳情等活動費	・05_会議費
		06_資料作成費	・07_資料購入費	・08_事務所費	・09_事務費	・10_人件費
内容						
上記事業に要した総費	総費の内容	金額(円)	備考			
	ガス代	1,139	2分の1の按分			
	《合計》	1,139				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 30 年 2 月 27 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成 年 月 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領 収 書

収 印  
入 紙

宮本光明 殿

金				¥					円
額					2	2	7	9	

但し 2月度がスレ

上記金額正に領収致しました。

平成 30 年 2 月 26 日

分 類	金 額	備 考
現 <sup>✓</sup> 金	¥ 2,279	
小 切 手		
手 形		
当座振込		
相 殺		
合 計	¥ 2,279	

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 **大内石油** (商)

TEL 076(455) 1128

整理番号	2773	事業概要	賃金		
償還項目	10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考		
	2月賃金	42,500	[REDACTED]		
	《合 計》	42,500			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 宮本光明 様 No. \_\_\_\_\_

金額 ¥42500

但 2月賃金  
30年2月26日 上記正に領収いたしました。

内 訳 [REDACTED]

税抜金額 [REDACTED]

消費税額(%) [REDACTED]

GR1417

收受 平成 30 年 2 月 27 日  
 決裁 平成 年 月 日  
 処理 平成 年 月 日



勤 務 実 績 表

平成30年2月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	17	土		
2	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	18	日		
3	土			19	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
4	日			20	火	9 : 00 ~ 17 : 00	7
5	月	9 : 00 ~ 17 : 00	7	21	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
6	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5	22	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5
7	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5	23	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5
8	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	24	土		
9	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	25	日		
10	土			26	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
11	日			27	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
12	月			28	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
13	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5				
14	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5				
15	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5				
16	金	9 : 00 ~ 17 : 00	7				
		小 計	59			小 計	42
						合 計	101.0

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

経費種別	2844	経費種番	新聞代
経費項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
経費の内容	金額(円)	備 考	
北日本新聞	3,072	2月分	
日本経済新聞	4,000	"	
富山新聞	3,072	"	
《合 計》	10,144		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 3 月 5 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 6 日  
 処理 平成 30 年 3 月 6 日

2018年2月分 領収証 発証No.00003144-201802-1

宮本 光明 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	4,000

大杉3387  
合計金額  
**¥7,072**  
(消費税込み)

〒

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

原簿に購読有無の記録  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

18年 02月分 / 18年 2月 27日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 八尾販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140



1月から紙面を刷新し地域に密着した多彩な  
連載をスタートさせ地元の問題を充実させます。

整理番号	Z845		事業概要	電気代	
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費			
内容					
上記集金し要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	電気料	4,833	2分の1の按分		
	《合計》	4,833			

《領収書貼付

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社				
平成 30 年 2 月	金額				円 9 6 6 6
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会			消費税等相当額(再掲)	円 716
お支払期日	3月22日			積算額(再掲)	円

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	9666	716
合計	9666	716



北陸電力株式会社  
お客さまサービスセンター  
TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。

上記金額を領収いたしました。

領収日附印  
18.2.28

5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付  
(お客さま控)2485

收受 平成 30 年 3 月 5 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 6 日  
 処理 平成 30 年 3 月 6 日

整理番号	2877	事業概要	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電気料	4,934	2分の1の按分 /
	《合計》	4,934	

《領収書貼付

付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

電気料金振込依頼書兼領収書

受取人	北陸電力株式会社		
平成 年 月 日	金額	円	
30 1		9 8 6 9	
振込人 (ご契約名)	宮本光明後援会	消費税等相当額(再掲) 円	731
お支払期日	2月21日	精算額(再掲) 円	

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

ご使用場所 富山市 八尾町犬杉 3387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

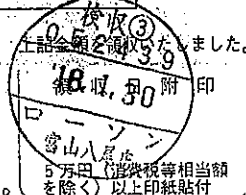
契約	金額 (円)	消費税等相当額 (再掲) (円)
211	9869	731
合計	9869	731

北陸電力株式会社

お客さまサービスセンター

TEL 0120-776453

- 収納印のないもの、金額を訂正したものは無効です。
- 本票により集金人が集金することはありません。
- 裏面もご覧ください。



(お客さま控)2485

收受 平成 30 年 3 月 9 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 13 日  
 処理 平成 30 年 3 月 14 日

整理番号	2878	事業概要	ガス代			
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費	・03_広聴広報費 ・08_事務所費	・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費	・05_会議費 ・10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備 考			
	ガス代	1,072	2分の1の按分			
	《合 計》	1,072				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 30 年 3 月 9 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 13 日  
 処理 平成 30 年 3 月 14 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領 収 書

収 印  
入 紙

宮本光明 殿

金額

但し 1月分 ガス代

上記金額正に領収致しました。

平成 30 年 1 月 30 日

分類	金額	備 考
現金 <input checked="" type="checkbox"/>	¥ 2,145 -	
小切手		
手形		
当座振込		
相殺		
合計		

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 大内石油


TEL 076(455) 1 1 2 8



報告者\* 宮本光明

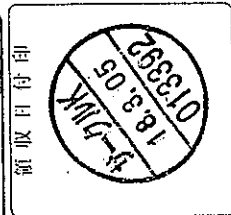
整理番号	2879	事業概要	水道代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	水道料	3,542	2分の1の按分
	(合計)	3,542	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)


 平成29年度 富山市水道料金等  
 納入通知書兼領収書  
 お客さま番号 XXXXXXXXXX  
 使用者 宮本光明後援会事務所 様  
 納入者 宮本光明後援会事務所 様  
 発行日 平成30年3月1日  
 納期限 平成30年3月15日  
 給水装置場所 富山市八咫町大杉 3387

使用期間	平成29.12.5~平成30.2.3
口径	13 mm
用途	営業用
上水道使用水量	28 m <sup>3</sup>
下水道使用水量	28 m <sup>3</sup>
し尿くみ取り日・量	月 日 日 日 日 日

平成30年2月請求分	
水道料金	3,110円
内消費税	230円
下水道使用料	3,974円
内消費税	294円
し尿くみ取り手数料	0円
内消費税	0円
合計金額	7,084円
内消費税	524円



領収日付印  
 お問合せ窓口は裏面に記載しております。  
 \*領収日付印の押印によって効力が生じます。

富山市上下水道事業管理課  
 富山市上下水道局  
 出納・取納取扱金融機関  
 友の会コンピュータでは取入印紙が必要  
 取納代行会社  
 株式会社 友の会システム  
 00720-5-960609  
 (お客さま番号)

收受 平成30年3月9日  
 決裁 平成30年3月13日  
 処理 平成30年3月14日



整理番号	2880	事業概要	電話代
用途別	09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
総括の内容		金額(円)	備考
電話代		2,533	2分の1の按分 2月分
合 計		2,533	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を付 電話料金等払込受領証 すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMではゆうちょ銀行 郵便局でお支払いの場合、左面2枚をお出しください。上記以外でお支払いの場合は切り取らないでください。

電話料金等払込受領証  
西日本ご利用分

ご請求先氏名  
宮本光明後援会 様

お客様番号  
[REDACTED]

2018年 2月ご請求分

金額(円)  
¥5,066-

受取人  
NTTファイナンス株式会社

お問合せ先 (無料)  
0800-3335550

領 収 日 附 印  
サークル  
18.2.15  
013392

収入印紙貼付欄  
(金融機関・CVS用)→お客様

收受 平成 30 年 3 月 9 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 13 日  
 処理 平成 30 年 3 月 14 日

報告者\*

整理番号	2881	事業概要	インターネット接続料								
使途項目	09_事務費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費	06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容											
	総費の内容		金額(円)		備考						
	インターネットサービス		2,430		2分の1の按分 2月27日引落						
	メールアドレス追加		129								
	デジタルスタンダード		1,728								
	インターネットセット割引		-540								
《合計》		3,747									
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>											

收受 平成 30 年 3 月 9 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 13 日  
 処理 平成 30 年 3 月 14 日



整理番号	3015	事業概要*	写真代
使途項目*	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	議会撮影写真		
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	議会写真	12,960	
	《合計》*	12,960	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 3 月 27 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日  
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領収証

No. 00000048

2018年3月22日

宮本 光明 様

金額

¥12,960-

内

消費税等

¥960-

但 平成30年2月定例会 予算特別委員会撮影

上記正に領収いたしました

現金

930-0835 富山市上富居2丁目19-3

フォトニクス

横井 弘幸

TEL 076-451-7413 FAX 076-451-7418

係





036.jpg



037.jpg



038.jpg



039.jpg



040.jpg



041.jpg



042.jpg



043.jpg



044.jpg



045.jpg



046.jpg



047.jpg



048.jpg



049.jpg



050.jpg



051.jpg



052.jpg



053.jpg



054.jpg



055.jpg



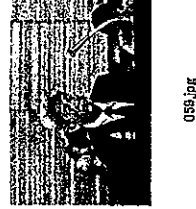
056.jpg



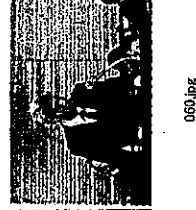
057.jpg



058.jpg



059.jpg



060.jpg



061.jpg



062.jpg



063.jpg



064.jpg



065.jpg



001.jpg



002.jpg



003.jpg



004.jpg



005.jpg



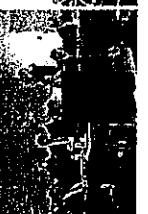
006.jpg



007.jpg



008.jpg



009.jpg



010.jpg



011.jpg



012.jpg



013.jpg



014.jpg



015.jpg



016.jpg



017.jpg



018.jpg



019.jpg



020.jpg



021.jpg



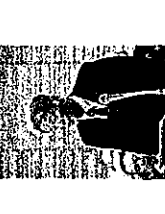
022.jpg



023.jpg



024.jpg



025.jpg



026.jpg



027.jpg



028.jpg



029.jpg



030.jpg



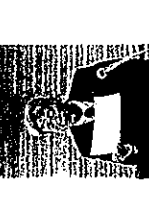
031.jpg



032.jpg



033.jpg



034.jpg



035.jpg



071.jpg

072.jpg

073.jpg

074.jpg

075.jpg



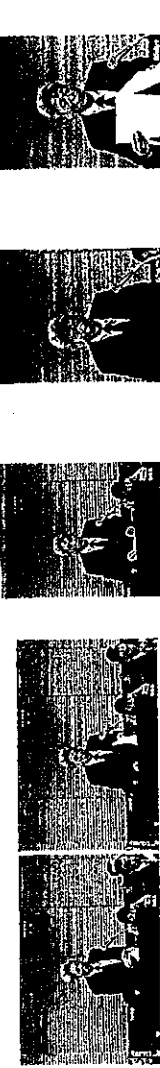
076.jpg

077.jpg

078.jpg

079.jpg

080.jpg



081.jpg

082.jpg

083.jpg

084.jpg

085.jpg



086.jpg

087.jpg

088.jpg

089.jpg

090.jpg



091.jpg

092.jpg

093.jpg

094.jpg

095.jpg



096.jpg

097.jpg

098.jpg

099.jpg

100.jpg



整理番号	3016	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)*	備考
	日本農業新聞	15,738	2017年10月~2018年3月分
	(合計)	15,738	

《領収書貼付枠》 (原則、領収

と。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

払込金受領証

口座番号	00150-3	通存払込 特金加入 番員担
	百 十 万 千 百 十 円	
加入者名	株式会社 日本農業新聞	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	
	/ 5 7 3 8	
ご依頼人	おなまえ 宮本光明 様	
料 金	受付局日附印 30-03-20 杉原郵便局	
特殊取扱	(32126 ) N94150001	

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印押してください。

收受 平成 30 年 3 月 27 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日  
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

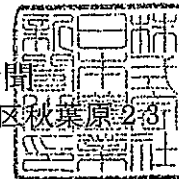
2018年3月9日

請求書

請求コード 170-167

宮本 光明 様

株式会社 日本農業新聞  
〒110-8722 東京都台東区秋葉原2-3-1



品名	摘要	部数	請求金額(税込)
日本農業新聞	2017年10月～2018年3月分 (@2,623×6か月)	1部	¥15,738円
備考	口座名:株式会社 日本農業新聞 取引銀行:農林中央金庫 本店 (普) 4075750 みずほ銀行 上野支店 (普) 1714221 三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店 (普) 1737168		

担当部署:業務局販売管理部


\*2018年1月22日より、仮事務所(東京都千代田区一番町23-3)にて営業致しております。  
ご連絡は下記までお願い申し上げます。

2018年1月22日より: TEL 03-6281-5808 FAX 03-5214-0480

(2018年1月19日まで: TEL 03-5295-7407 FAX 03-3257-7128)

整理番号	3D17	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	読売新聞	3,093	3月分
	富山新聞	3,072	"
	聖教新聞	1,934	"
	公明新聞	1,887	"
	《合計》	9,986	/

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

 **読売新聞 領収書** 区域003-B 全戸0033 お問合せNo 03745

お名前 宮本 光明 様  
八尾町大杉3387

30年 3月分

銘	柄	部数	金額	備考
1	読売新聞朝刊	1	3,093	◇左記の通り領収しました
2				
3				
合計			3,093円	領収日 年 月 日

**(株)YC大沢野**

YC 八尾 富山市八尾町石戸124 ☎455-1609  
YC 大沢野 富山市東大久保546 ☎467-0068



\*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

收受 平成 30 年 3 月 27 日  
決裁 平成 30 年 3 月 28 日  
処理 平成 30 年 3 月 28 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 領収証

18年 03月分 18年3月26日 No. 591145

お名前 宮本 光明 (事務所) 様

ご住所 大杉 3387

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)  
富山センター 八尾販売所  
富山市黒崎588  
TEL 076-493-1160  
FAX 076-493-1140

集金担当  


「富山新聞 お友達紹介キャンペーン」実施中。  
新規購読者紹介でギフト券5千円分ゲット!

## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018年3月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,934 ☆

品名	定価(税込)	部数	金額
聖教新聞	1,934	1	1,934

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-12809(031)



## 新聞購読料 領収証

宮本 光明 様

ご購入ありがとうございます。  
下記金額を正に領収いたしました。

2018年3月分 領収日 月 日

領収金額 ¥1,887

品名	定価(税込)	部数	金額

## その他購読料等 領収証

品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 村上 広行  
住所 富山市笹津536  
TEL 076-468-0983 FAX 076-468-0648

お申込No. 16012-32769(031)



整理番号*	3018	事業概要*	事務所賃借料		
使途項目*	08_事務所費	01_調査研究費	・02_研修費	・03_広聴広報費	・04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	・07_資料購入費	・08_事務所費	・09_事務費
					・05_会議費
					・10_人件費
内容	年間契約に基づく				
上記事業に費した経費	経費の内容*	金額(円)*	備 考		
	3月事務所賃借料	25,000	(有)八尾衛生		
		《合 計》*	25,000		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 3 月 27 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日  
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

大杉

# 領 収 書

宮本光明後援会事務所 様

¥ 50,000.- 円也

但し、汲 取 料 平成30年  
浄化槽清掃料 3月分 家賃代  
浄化槽維持管理料  
消 費 税

上記正に領収いたしました

成 30年 3月 26日



富山県富山市八尾町角間20-1

(有) 八尾 衛 生

電話 (076) 454-2487番

整理番号	3019	事業概要	ガス代		
使金項目	08_事務所費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費			
内容					
上記事業に要した総費	経費の内容	金額(円)	備考		
	ガス代	1,072	2分の1の按分		
	《合計》		1,072		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 3 月 27 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日  
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

領 収 書

収 印  
入 紙

宮本光明 殿

金 額				¥	2	1	4	5	円
--------	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し 3月ガス代

上記金額正に領収致しました。

平成30年 3月 26日

分 類	金 額	備 考
現 <input checked="" type="checkbox"/> 金	¥ 2,145	
小 切 手		
手 形		
当 座 振 込		
相 殺		
合 計	¥ 2,145	

ENEOS

富山県富山市八尾町大杉294-4

株式会社 **大 内 石 油** 

TEL 076(455) 1 1 2 8



整理番号	3020	事業概要	電話代
使途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電話代	2,530	2分の1の按分 3月分
	《合計》	2,530	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を機			
		電話料金等払込受領証 西日本ご利用分 ご請求先氏名 宮本光明後援会 様 お客様番号 2018年 3月ご請求分 金額(円) ¥5,060- 受取人 NTTファイナンス株式会社 お問合せ先(無料) 0800-3335550 領収日附印 収入印紙(貼付欄) (金融機関・CVS用)→お客様	

すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

ATMまたはゆうちょ銀行、郵便局でお支払いの場合は、本欄2枚をお出しください。上記以外でお支払いの場合は切り取りください。

收受 平成 30年 3月 27日  
 決裁 平成 30年 3月 28日  
 処理 平成 30年 3月 28日

整理番号	3021	事業概要	インターネット接続料		
使途項目	09_事務費	01_調査研究費	・02_研修費	・03_広聴広報費	・04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	・07_資料購入費	・08_事務所費	・09_事務費
					・05_会議費
					・10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	インターネットサービス	2,430	2分の1の按分 3月27日引落		
	メールアドレス追加	129			
	デジタルスタンダード	1,728			
	インターネットセット割引	-540			
	(合計)	3,747	/		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 3 月 27 日  
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日  
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



整理番号	3064	事業概要* 県政報告会・時局講演会		
使途項目*	02_研修費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費		
内容	会場費			
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考	
	会場借上代	30,155	1/2の按分	
	《合計》*	30,155		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

収受 平成 30 年 4 月 2 日  
 決裁 平成 30 年 4 月 2 日  
 処理 平成 30 年 4 月 3 日

# 領 収 書

NO. 456

平成30年 11月 11日

納入者住所

氏名

宮本光明後援会

様

¥60,310

ただし、富山市八尾コミュニティセンター  
使用料として

内訳 ホール、催事場（全）催事控室

研修室（A） 研修室（B）

3月31日

富山市八尾コミュニティセンター

金銭分任出納員



# 宮本光明県政報告会・後援会全体総会

# 時局講演会



講師

衆議院議員

稲田 朋美 先生

(元防衛大臣)

演題

『伝統と創造』

日時

3月31日(土)

午後1時～ 全体総会

午後1時30分 講演会

午後2時30分 懇親会(会費1,500円)

※当日受付にて

※ご近所お誘い合わせの上、乗り合わせ、またはご家族の送迎にてご来場ください。

絶対に飲酒運転はなさらぬようお願い致します。

会場

八尾コミュニティーセンター

## 稲田朋美氏 プロフィール

昭和34年2月20日 福井県生まれ

昭和56年3月 早稲田大学 法学部 卒業

昭和60年4月 弁護士登録

平成17年9月 衆議院議員総選挙 初当選

●党内では、「伝統と創造の会」会長、法務委員会理事、党組織運動本部 法務・自治関係団体委員長、党副幹事長、自由民主党政務調査会長を歴任。

●国会では、内閣府特命担当大臣、行政改革・公務員制度改革担当大臣、クールジャパン戦略担当大臣、再チャレンジ担当大臣、国家公務員制度担当大臣を経て、平成28年8月からは防衛大臣を務めた。

・尊敬する人物：西郷隆盛

・座右の銘：「高邁な精神で決断し、断固として行動する」

・家族：弁護士の夫と一男一女

# ご挨拶

今冬は例年になく豪雪に見舞われ、県民生活に大きな支障をもたらすとともに、連日の除雪などそれぞれご苦労されたことと推察いたします。

そうしたなか、私は昨年12月から本年2月上旬にかけて、自民党の各種調査会、超党派の議員連盟役員として新年度予算要望の取りまとめ等の要望活動に取り組んでまいりました。

また、国の新年度予算への政策反映のために国・党本部の要請活動や、県の平成30年度予算への党折衝など、多忙な日々を過ごさせていただきました。こうした活動に携われることは議員として極めて幸せなことと感謝の気持ちでいっぱいでございます。

まもなく平成30年度がスタートいたしますが、県民の皆様が幸せを実感できる施策の実現に向けて引き続き努力してまいります。皆様方には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご案内の通り後援会全体総会を開催いたしますので、何かとご多忙の折とは存じますが皆様のお越しを心よりお待ちしております。

富山県議会議員 宮本 光明

## 宮本光明●活動の記録

自民党富山県支部連合会 総務会長として県政に取り組んでいます。

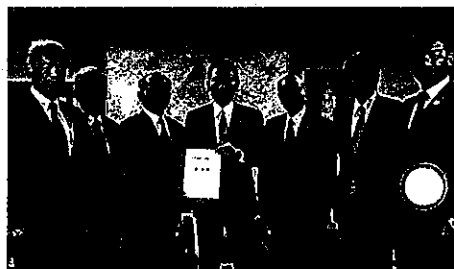
### ■自民党本部・関係省庁への陳情(平成29年12月6日)



麻生財務大臣・副総理と



二階自民党幹事長と



岸田政調会長と

### ■富山県議会スポーツ振興議員連盟

平成30年度予算に係る知事への要望(平成30年1月17日)



### ■消防調査会知事予算要望

(平成30年1月25日)



### ■山村議員連盟・土地改良事業の予算要望(平成30年1月19日)



整理番号	3065	事業概要	新聞代
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考
	北日本新聞	3,072	
	日本経済新聞	4,000	
	《合 計》*	7,072 /	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

2018年3月分 領収証 発証No.00003144-201803-1  
宮本 光明 様

品 名	部 数	金 額
北日本新聞	1	3,072
日本経済新聞	1	4,000

大杉3387  
合計金額  
**¥7,072**  
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当領収書において隠すに限り、新聞の発行・送付・配達等につきは、資料・領収書等の必要に応じて開示させていただきます。

岡本新聞店  
八尾町福島4-162  
454-3391

毎度ご購読有難うございます  
上記金額正に領収致しました  
年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

收受 平成 30 年 4 月 2 日  
決裁 平成 30 年 4 月 2 日  
処理 平成 30 年 4 月 3 日



整理番号	3066	事業概要	電気代
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容			
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	電気料	4,683	2分の1の按分
	《合計》	4,683	/

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

**電気料金振込依頼書兼領収書**

受取人 北陸電力株式会社

平成30年3月 金額 9,367円

振込人(ご契約名) 宮本光明後援会 消費税等相当額(再掲) 693円

お支払期日 4月19日 精算額(再掲) 3,387円

この日を過ぎますと延滞利息を申し受けます。

ご使用場所 富山市 八尾町大杉 3,387

お客さま番号 [REDACTED] 計算区 17

契約	金額(円)	消費税等相当額(再掲)(円)
211	9367	693
合計		693

北陸電力株式会社 領収日 附印

お客さまサービスセンター 0120-776453

5万円(消費税等相当額を除く)以上印紙貼付 (お客さま控)2485

收受 平成30年4月2日  
 決裁 平成30年4月2日  
 処理 平成30年4月3日

整理番号	3067	事業概要*	携帯電話代														
使途項目*	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費												
内容																	
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考														
	携帯電話代	3,442	規定より5割	1月利用の2月請求分	/												
	"	3,208	規定より5割	2月利用の3月請求分	/												
	《合計》*	6,650	/														
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)																	
<table border="1"> <tr> <td>4 30-02-28</td> <td></td> <td>*6,884</td> <td colspan="3">トコモ ケイタイ</td> </tr> <tr> <td>12 30-04-02</td> <td></td> <td>*6,417</td> <td colspan="3">トコモ ケイタイ</td> </tr> </table>						4 30-02-28		*6,884	トコモ ケイタイ			12 30-04-02		*6,417	トコモ ケイタイ		
4 30-02-28		*6,884	トコモ ケイタイ														
12 30-04-02		*6,417	トコモ ケイタイ														

收受 平成 30 年 4 月 2 日  
 決裁 平成 30 年 4 月 2 日  
 処理 平成 30 年 4 月 3 日

整理番号	3048	事業概要	賃金		
使金項目	10_人件費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	3月賃金	42,500	■■■■		
	3月賃金(引継ぎ)	24,000	■■■■		
	(合計)	66,500			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成30年4月2日  
 決裁 平成30年4月2日  
 処理 平成30年4月3日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領収証 高木栄明 様 No. \_\_\_\_\_

金額	¥42,500			
----	---------	--	--	--

但 3月賃金  
2010年3月29日 上記正に領収いたしました

内訳  
税抜金額 \_\_\_\_\_  
消費税額(%) \_\_\_\_\_

GR1417

領収証 高木栄明 様 No. \_\_\_\_\_

金額	¥4,000			
----	--------	--	--	--

但 月賃金(雑給金)  
2010年3月29日 上記正に領収いたしました

内訳  
税抜金額 \_\_\_\_\_  
消費税額(%) \_\_\_\_\_

GR1417

## 勤 務 実 績 表

平成30年3月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	17	土		
2	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	18	日		
3	土			19	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
4	日			20	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
5	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5	21	水		
6	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5	22	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5
7	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5	23	金	9 : 00 ~ 12 : 00	3
8	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	24	土		
9	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5	25	日		
10	土			26	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5
11	日			27	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5
12	月	9 : 00 ~ 14 : 00	5	28	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5
13	火	9 : 00 ~ 14 : 00	5	29	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5
14	水	9 : 00 ~ 14 : 00	5	30	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5
15	木	9 : 00 ~ 14 : 00	5	31	土		
16	金	9 : 00 ~ 14 : 00	5				
		小 計	60			小 計	43
						合 計	103

月額 85,000円

負担割合

( 5 割) 42,500 円

( 5 割) 42,500 円

勤 務 実 績 表

平成30年3月度

日	曜日	就業時間	時間	日	曜日	就業時間	時間
1	木			17	土		
2	金			18	日		
3	土			19	月	9 : 00 ~ 13 : 00	4
4	日			20	火	9 : 00 ~ 13 : 00	4
5	月			21	水		
6	火			22	木		
7	水	9 : 00 ~ 13 : 00	4	23	金	9 : 00 ~ 13 : 00	4
8	木	9 : 00 ~ 13 : 00	4	24	土		
9	金	9 : 00 ~ 13 : 00	4	25	日		
10	土			26	月	9 : 00 ~ 13 : 00	4
11	日			27	火	9 : 00 ~ 13 : 00	4
12	月			28	水		
13	火	9 : 00 ~ 12 : 00	3	29	木	9 : 00 ~ 13 : 00	4
14	水	9 : 00 ~ 13 : 00	4	30	金	9 : 00 ~ 13 : 00	4
15	木	9 : 00 ~ 13 : 00	4	31	土	11 : 00 ~ 16 : 00	5
16	金	9 : 00 ~ 13 : 00	4				
		小 計	27			小 計	33
						合 計	60

月額	48,000円
負担割合	
( 5 割)	24,000円
( 5 割)	24,000円

# 雇 用 契 約 書

宮本光明後援会 代表 宮本光明 (以下、「甲」と言う。) と [REDACTED] (以下「乙」と言う。)  
とは以下の条件に基づき雇用契約を締結する。

- (1) : 雇用期間 : 平成 30 年 3 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までとする。
- (2) : 就業場所 : 富山市八尾町大杉 3387 宮本光明後援会事務所
- (3) : 職務内容 : 宮本光明県議会議員の政務調査活動及び宮本光明後援会活動の諸事務。
- (4) : 就業時間 : 午前 9 時から午後 5 時までとし、この間 1 時間の休憩を与える。
- (5) : 休 日 : 原則、土曜日・日曜日及び祝祭日。
- (6) : 賃 金 : (時給) 800 円
- (7) : そ の 他 : 本契約に規定されていない事項については甲、乙双方の協議により定める。

平成 30 年 3 月 1 日

甲 所在地 富山県富山市八尾町平沢 381

氏 名 宮本光明

乙 現住所 [REDACTED]

氏 名 [REDACTED]

整理番号*	3139	事業概要*	新聞代			
使途項目*	07_資料購入費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費	05_会議費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費	10_人件費
内容						
上記事業に要した経費	経費の内容*	金額(円)*	備考			
	日刊 しんぶん赤旗	3,497				
	しんぶん赤旗 日曜版	823				
	日刊紙 郵送料	1,410				
	《合 計》*	5,730				

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

宮本 光明 様

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497
「しんぶん赤旗」日曜版	1	823
日刊紙郵送料	1	1,410

日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

領収書


5,730 円

2018 年 3 月分

上記の金額たしかにいただきました。  
ありがとうございました。

〒930-0982  
富山市荒川2丁目24-12  
日本共産党富山地区委員会  
TEL076-441-3001

領収日 / 投書



收受 平成 30 年 4 月 4 日  
 決裁 平成 30 年 4 月 5 日  
 処理 平成 30 年 4 月 6 日



整理番号	3241	事業概要	県政調査・活動報告 時局講演会 郵送代		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費	02_研修費	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
		06_資料作成費	07_資料購入費	08_事務所費	09_事務費
					05_会議費
					10_人件費
内容					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考		
	県政調査・活動報告 時局講演会	62,647	2054通 郵メール 2分の1の按分		
	《合計》	62,647			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 30 年 4 月 16 日  
 決裁 平成 30 年 4 月 16 日  
 処理 平成 30 年 4 月 16 日

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

# 後納郵便物等 取扱票(お客様用)

宮本 光明 **後援会** 様

2001026818-000002-  
0000000001-000001

[後納引受]  
1 ゆうメール特別

50g 県内  
061 2,054通  
¥125,294

合計 ¥125,294

〒100-8798 日本郵便株式会社  
東京都千代田区霞が関1-3-2  
取扱日時: 2018年 3月 7日 12:29  
担当: XXXXXXXXXX  
発行No. 180307K3289 端341039117  
連絡先: 富山西郵便局  
TEL: 076-427-1580

取扱局 2001-320100  
後納承認局 2001-320010  
後納お取引番号 0001471798

この控は領収書ではありません。  
各料金明細、合計は実際の請求と  
異なることがあります。

振替払込請求書 兼受領証	
通常払込料 加入費負担	
00180	3 901196
日本郵便株式会社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円
	1 2 5 2 9 4
〒039-2451 富山県富山市八尾町 平沢381	
依頼人住所氏名	宮本 光明 様
料 金	日 附 印 30-04-10 杉原郵便局
備 考	(32126 ) N94110001

この受領証は、大切に保管してください。

- いください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、おなまえ等は、加入者様に通知する場合があります。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



# 宮本光明県政報告会・後援会全体総会

## 時局講演会

日時

3月31日(土)

午後1時～ 全体総会

午後1時30分 講演会

午後2時30分 懇親会(会費1,500円)

※当日受付にて

※ご近所お誘い合わせの上、乗り合わせ、またはご家族の送迎にてご来場ください。  
絶対に飲酒運転はなさらぬようお願い致します。

会場

八尾コミュニティーセンター



講師

衆議院議員

稲田 朋美 先生

(元防衛大臣)

演題

『伝統と創造』

### 稲田朋美氏 プロフィール

昭和34年2月20日 福井県生まれ

昭和56年3月 早稲田大学 法学部 卒業

昭和60年4月 弁護士登録

平成17年9月 衆議院議員総選挙 初当選

●党内では、「伝統と創造の会」会長、法務委員会理事、党組織運動本部 法務・自治関係団体委員長、党副幹事長、自由民主党政務調査会長を歴任。

●国会では、内閣府特命担当大臣、行政改革・公務員制度改革担当大臣、クールジャパン戦略担当大臣、再チャレンジ担当大臣、国家公務員制度担当大臣を経て、平成28年8月からは防衛大臣を務めた。

・尊敬する人物：西郷隆盛

・座右の銘：「高邁な精神で決断し、断固として行動する」

・家族：弁護士の夫と一男一女

# ご挨拶

今冬は例年になく豪雪に見舞われ、県民生活に大きな支障をもたらすとともに、連日の除雪などそれぞれご苦労されたことと推察いたします。

そうしたなか、私は昨年12月から本年2月上旬にかけて、自民党の各種調査会、超党派の議員連盟役員として新年度予算要望の取りまとめ等の要望活動に取り組んでまいりました。

また、国の新年度予算への政策反映のために国・党本部の要請活動や、県の平成30年度予算への党折衝など、多忙な日々を過ごさせていただきました。こうした活動に携われることは議員として極めて幸せなことと感謝の気持ちでいっぱいでございます。

まもなく平成30年度がスタートいたしますが、県民の皆様が幸せを実感できる施策の実現に向けて引き続き努力してまいります。皆様方には変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご案内の通り後援会全体総会を開催いたしますので、何かとご多忙の折とは存じますが皆様のお越しを心よりお待ちしております。

富山県議会議員 宮本 光明

## 宮本 光明 ● 活動の記録

自民党富山県支部連合会 総務会長として県政に取り組んでいます。

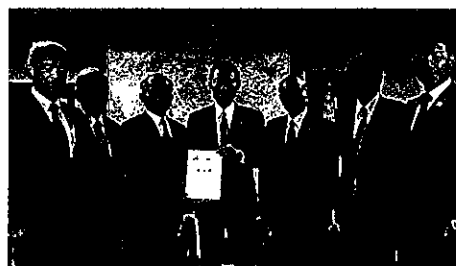
### ■自民党本部・関係省庁への陳情 (平成29年12月6日)



麻生財務大臣・副総理と



二階自民党幹事長と



岸田政調会長と

### ■富山県議会スポーツ振興議員連盟

平成30年度予算に係る知事への要望 (平成30年1月17日)



### ■消防調査会知事予算要望

(平成30年1月25日)



### ■山村議員連盟・土地改良事業の予算要望 (平成30年1月19日)

